

漢 城 新 報

<제 4 권 : 1896년(명치 29년) 9월 ~ 12월>

1896년(명치 29)

9월 : 2, 4, 6, 8, 10, 12, 14, 16, 18, 20, 22, 24, 26, 28, 30

10월 : 2, 4, 6, 8, 10, 12, 14, 16, 18, 20, 22, 24, 26, 28, 30

11월 : 1, 3, 6, 8, 10, 12, 14, 16, 18, 20, 22, 24, 26, 28, 30

12월 : 2, 4, 6, 8, 10, 12, 14, 16, 18, 20, 22, 24, 26, 28

1897년(명치 30)

1월 : 5, 8, 10, 12, 14, 16, 18, 20, 22, 24, 26, 28, 30

2월 : 1, 4, 6, 10, 13, 15

<NO 2 마이크로필름본(1896년-1897년)>

し原公使其
三 日 原公 大君主陛下に謁見と宮内府議院閣議院議長大臣に任ず

四 日 原公 金春卿等放免せられ報告者李世鎮等刑せらる

九 日 我新領事館上棟式を行ふ

十四 日 新任英領事館に着

十九 日 閣議院議長より来る兵站所設置せらる

廿 日 北京城帝居留民規則發布せらる

廿四 日 我軍艦桑千代田の二艦仁川に来る

廿六 日 我軍艦桑千代田の二艦仁川に来る

廿八 日 我軍艦桑千代田の二艦仁川に来る

廿九 日 我軍艦桑千代田の二艦仁川に来る

十一月 我軍艦桑千代田の二艦仁川に出帆

三日 我軍艦桑千代田の二艦仁川に出帆

六 日 我軍艦桑千代田の二艦仁川に出帆

十二 日 我軍艦桑千代田の二艦仁川に出帆

十四 日 我軍艦桑千代田の二艦仁川に出帆

十五日 我軍艦桑千代田の二艦仁川に出帆

十九 日 我軍艦桑千代田の二艦仁川に出帆

廿一日 我軍艦桑千代田の二艦仁川に出帆

廿三日 我軍艦桑千代田の二艦仁川に出帆

全 杉 浦 十 馬
行く水は日毎に變はれども

全 一 清 水 經 義
幾代動るかね老松の影

全 堀 川 遠
田子の浦に映れる三保の松影と

全 堀 川 遠
照らし見るかみか池の松影と

全 堀 川 遠
動かね御代の姿成らむ

全 堀 川 遠
幾千とせ榮ゆく御代は五十鈴の

全 堀 川 遠
流にうつる老松のかけ

全 堀 川 遠
濁りなき御園池に映つるひて

全 堀 川 遠
翠り色添ふ松の影から

全 堀 川 遠
いと深き君のめくみの池の面に

全 堀 川 遠
色さへかへすうつる松かけ

全 堀 川 遠
泥規 天野 文子

全 堀 川 遠
仇波の立ちも懸はかぬ池の面

全 堀 川 遠
千歳の色と契さる松影

全 堀 川 遠
深みと底に千代の色見えて

全 堀 川 遠
御池に浮く老松のかけ

全 堀 川 遠
宇調 斎藤 忠志 郎

全 堀 川 遠
萬代をもちる小さつ枝垂れて

全 堀 川 遠
波間も影の榮はける哉

正風會寄稿
第拾壹會正風集歲旦俳句合體登壇日録之内

題 歲旦隨意
○拾五 聯

○拾五 聯
賀斗餅の中にも去年と今年と

賀斗餅の中にも去年と今年と

賀斗餅の中にも去年と今年と

賀斗餅の中にも去年と今年と

賀斗餅の中にも去年と今年と

賀斗餅の中にも去年と今年と

賀斗餅の中にも去年と今年と

賀斗餅の中にも去年と今年と

賀斗餅の中にも去年と今年と

賀斗餅の中にも去年と今年と

賀斗餅の中にも去年と今年と

賀斗餅の中にも去年と今年と

賀斗餅の中にも去年と今年と

賀斗餅の中にも去年と今年と

賀斗餅の中にも去年と今年と

賀斗餅の中にも去年と今年と

賀斗餅の中にも去年と今年と

報

●歸化受刻 전에에, 요동 고인
 후나히, 이서서청국사람인디 일본
 에, 귀화한 사람이라 일본정부서
 군수공전, 주어서, 년차이, 자손
 보충할것, 있게하니, 그공전을,
 준자이, 賜과, 賜牌과, 牌木林과, 德
 總이, 네스스인디, 서역십이월 사호
 에, 동경부, 전, 난, 말이앗다라
 ●國債償還 청국이, 상무를, 중히
 네기저, 아, 하여, 리자하는, 도의,
 실상강구치, 아니하고, 무릇후자이
 ,잇스면, 다양채를, 빌시, 년년이, 빌
 시더후야서, 본과니가, 가고후야,
 은마가, 되노지, 아지못후갸더니,
 호부소주를, 거한즉, 一班을, 가히불
 지라, 이예니, 하니, 구채본이, 칠천
 만냥, 이상, 이고, 신채가, 또이여
 서, 가중후니, 일천팔백팔, 십년의,
 덕국의, 변은이, 오백만마국의, 니
 가오리반이요, 또구십수년의, 항항
 은형소의, 민은이, 일천만냥의, 나
 가, 칠니요, 또구십오년의, 항항상
 히은형의, 스백만, 본도를, 빌었노
 티, 니가, 또구, 또도달도만고에, 일
 백만냥을, 빌었스니, 니가, 또니미상
 이니, 숨십, 스이의, 본과니를, 귀
 환할리이요, 또구십오년의, 아번의
 , 일천오백과십이만냥을, 빌었사미
 , 니가, 스리, 또구십육년의, 「영덕
 」의, 일천륙과만냥을, 빌었사미, 니
 가, 오리이시이니, 다스십육년스
 의, 본전과, 스조를, 가질리이라이,
 러게, 국채가, 조조더후면, 백년의,
 능히, 요스한비, 아닐가, 두려워하노
 라, △청국이, 요스이, 호부소주를,
 거한디, 후니시되, 구채이식을, 불
 계하고, 재, 의에노, 담은, 아법비
 시, 미년나시이, 공계후면, 오백십
 만냥인디, 一萬의, 두번사算還하고
 「영덕」의, 백년의년의, 利息이, 「영덕」
 구십만냥인디, 미월의, 일차식算還
 하니, 오십년「영」이상은, 저가할앗고
 , 일본변비, 恩賞환하는 거서, 오륙
 백만냥인디, 흥반게손후면, 「영」이
 식이, 숨천「영」의, 「영」지아니하니
 , 슬푸다, 그「영」지아니리오

廣告

謹賀新年 土井 善吉
 簿記學自宅獨習生募集
 ●寄宿生●通學生●夜學生二教授學科如左
 ●簿記部●①簿記②簿記③簿記④簿記⑤簿記⑥簿記⑦簿記⑧簿記⑨簿記⑩簿記⑪簿記⑫簿記⑬簿記⑭簿記⑮簿記⑯簿記⑰簿記⑱簿記⑲簿記⑳簿記㉑簿記㉒簿記㉓簿記㉔簿記㉕簿記㉖簿記㉗簿記㉘簿記㉙簿記㉚簿記㉛簿記㉜簿記㉝簿記㉞簿記㉟簿記㊱簿記㊲簿記㊳簿記㊴簿記㊵簿記㊶簿記㊷簿記㊸簿記㊹簿記㊺簿記㊻簿記㊼簿記㊽簿記㊾簿記㊿
 ●英漢數學●①英漢數學②英漢數學③英漢數學④英漢數學⑤英漢數學⑥英漢數學⑦英漢數學⑧英漢數學⑨英漢數學⑩英漢數學⑪英漢數學⑫英漢數學⑬英漢數學⑭英漢數學⑮英漢數學⑯英漢數學⑰英漢數學⑱英漢數學⑲英漢數學⑳英漢數學㉑英漢數學㉒英漢數學㉓英漢數學㉔英漢數學㉕英漢數學㉖英漢數學㉗英漢數學㉘英漢數學㉙英漢數學㉚英漢數學㉛英漢數學㉜英漢數學㉝英漢數學㉞英漢數學㉟英漢數學㊱英漢數學㊲英漢數學㊳英漢數學㊴英漢數學㊵英漢數學㊶英漢數學㊷英漢數學㊸英漢數學㊹英漢數學㊺英漢數學㊻英漢數學㊼英漢數學㊽英漢數學㊾英漢數學㊿
 ●會社●①會社②會社③會社④會社⑤會社⑥會社⑦會社⑧會社⑨會社⑩會社⑪會社⑫會社⑬會社⑭會社⑮會社⑯會社⑰會社⑱會社⑲會社⑳會社㉑會社㉒會社㉓會社㉔會社㉕會社㉖會社㉗會社㉘會社㉙會社㉚會社㉛會社㉜會社㉝會社㉞會社㉟會社㊱會社㊲會社㊳會社㊴會社㊵會社㊶會社㊷會社㊸會社㊹會社㊺會社㊻會社㊼會社㊽會社㊾會社㊿
 大阪市東區 大坂實業學館
 釣鐘町二丁目 館主 土井 善吉

恭賀新年

漢城新報社員
 河口 禎太
 田中 熊四郎
 石川 半六
 上村 正己
 林 虎雄
 中 嶋 健三
 中 嶋 貫一
 後 藤 松雄
 渡 邊 安太
 淺 野 茂
 杉 浦 十馬
 嶋 田 繼雄
 古 賀 直行
 古 田 楯雄
 堀 川 遠

第壹回月並和歌集 兼題 早梅 雪中竹

寄切本月十五日張
 漢城新報社理
 謳 豐 會

謹賀新年 洋服調進
 御得意萬々藏
 不相變御引立ヲ希フ
 日商附屬品種々御

廣告
 第五十八國立銀行ノ鐵道ノ公告
 一月一日ヨリ株式會社第五十八銀
 ニ増加仕リ候テ從前ノ營業ヲ承繼
 且シ確實ニ銀行全般ノ業務ヲ相營
 被成下候テ陸續御申込被成下度候
 營業科

一定期預金 一割
 一當座預金 一附
 一貸附金 一割
 一割引手形 一附
 一代金取立 一附
 爲替取組
 東京 大阪 橫濱
 長崎 福岡 釜山
 以上
 株式會社第五
 明治三十年一月 京

年頭の御禮申上候

恭賀新禧

附謝平素之疎遠
 併賀高堂之萬福

御題 江のさつろ
 影や動かぬ
 御代の春
 桃月
 大朝鮮國京城
 漢城新報社理

勅題 照くを見るかみう池のさ
 動るか御代の姿するさ
 明治
 丁酉

調進所 京 力武 衛會
石丸鹿太郎
附屬品種々卸小賣

告

テ公告仕リ置キ、以通リ明治三十年
五十八銀行ト稱シ、ハ本金ヲ壹百萬圓
ホテ承繼シ一層御便利ヲ相謀リ懇切
ホテ相償ミ可申候、以舊ニ倍シ御賢顧
下度候

科目

- 一別段預金
- 一當座預金
- 一當座貸越
- 一送金 (電信送金共)
- 一荷 爲替
- 取組先

濱 神戶 赤間關
山 仁川 名古屋

社第五十八銀行
京城支店

君が蕎麥

禮

追伸既往ハ外ノ眷
顧ヲ辱フシ、謝々々
向ホ將來ハ、變リテ
數層ノ厚誼ノ祈ル
百拜
ハみち池のまつ影や
の姿さるゝひ 經義

明治第三拾年
丁酉正月元旦

大朝鮮國京城
清水橋次郎

恭賀新禧
併祈斯道將來之雅福
丁酉元旦
正風會

駄牛馬取扱廣告

一弊所義從來其筋ノ御許可ヲ得テ京仁兩所ニ
取扱所ヲ設ケ京仁間ハ勿論其他何ノ地
不問荷客トモ運搬業罷在候處幸ヒニ各位ノ
御愛顧ヲ蒙リ候段感謝ニ不堪候隨ツテ漢江
水結ノ際層一層ノ御便宜ヲ相謀可申說テハ
身元健カナル馬夫ト健全ナル牛馬ヲ取扱ヒ
御乗客及ビ貨物ニ對シ聊カモ不都合等無之
且約定ノ時期ハ毫モ不違發着可致候注意ヲ
加ヘ廉價ト迅速トヲ旨トシ精々勉強仕候間
自今倍舊御用向仰付段降度此段只當奉懇願
候也
但シ零額無之貨物及ビ小荷物等モ取扱ヒ
可申候
京城羅酒第拾七號地
月日 駄牛馬取扱所
仁川各國居留地廿六号

駄牛馬取扱所

スコット乳菓 是次亞礬酸石灰及
草連を配合したる
レーフル油 乳にして其の好味する事
化を助け得るものあり 肺病氣管支
炎瘰癧及喉咽病に効能あり又
弱の小兒には滋養食物として著しき効
あるはスコット乳菓の右に出
るものなし既に萬國名醫の賞賛を博したれば
誠に用ひて其言の虚あらざるを知り給へ
全國到處の藥舖に賣捌きあれば御最寄りに
て御請求を乞ふ若しこれなき時は下記の特約
賣人へ御問合われ

紐育製藥舖 スコット
及バウン敬白

日本特約販賣店

小西儀助

朝鮮國一手販賣

京城 洋酒 販本商行

少年文集

●正價 ●壹冊(百五十頁)金拾錢 ●三冊前金
三拾錢 ●六冊前金五拾七錢 ●十二冊前金壹圓
拾錢 ●郵費壹冊壹錢五厘宛
●口繪 (寫真銅版) ●獨逸國西陸下 ●東都王
寺之景色 ●近衛節團大演習 ●東京園子坂之菊
●山城保津川之勝景 ●巴里ニツヰニ塔 ●會
致アルバート紀念碑
●評論 眼孔ノ明ナル炬ノ如ク議論堂々向フ
所前ナシ ●雜錄 滿腹皆有金須漢ノ文字 ●文
話及文苑 實ニ是ノ少年作文ノ好技折ナリ
此他惡作女ノ披露アリ 藝業アリ 又詩談雜錄
等皆記事精練材料豐富少年諸君机邊ノ好侶仲
タリ

文藝俱樂部

●正價 ●一冊(三百頁)拾五錢 ●六冊前金
八拾五錢 ●十二冊前金壹圓六拾五錢 ●半四冊
前金三圓貳拾錢 ●郵稅一冊貳錢五厘宛
●口繪 ●双々繪語圖本 版(三島蓀子筆
●一矢百美圖)寫真銅版八
●小 目 録
い の 山田美妙齋
五 の 太 堂 田澤稻舟女史
雲 の 木 雲 亭 主 著
六 想 の 佳 人 水谷不倒生
大 想 の 佳 人 泉 鏡 花
其他 雜錄 ●詞苑 ●雜報記事豐富筆華綢繡
發行所 東京日本橋 博文館
本町三丁目

謹賀新禧

三城敬藏
限部一男
松田辰雄
佐伯達雄
村上三男
安田保治
尾田滿

(明治二十八年三月六日選信省認可)

島田繼雄
後藤松雄

發行所 漢城新報社

漢城新報

報抄錄

●宮廷錄事

△議政府贊政軍部大臣臣閱泳

○宮廷錄事

△議政府贊政軍部大臣臣閱泳

○宮廷錄事

△議政府贊政軍部大臣臣閱泳

○宮廷錄事

△議政府贊政軍部大臣臣閱泳

○宮廷錄事

△議政府贊政軍部大臣臣閱泳

○宮廷錄事

△議政府贊政軍部大臣臣閱泳

○宮廷錄事

●懲役罪犯中謀反竊盜

強盜通奸騙財外年七十

以上十五以下及癱疾人

一併特放以示朝家曠蕩

之典

●市達

○宮內府官制第二十六條改正

●布達

○宮內府官制第二十六條改正

●布達

○宮內府官制第二十六條改正

●布達

○宮內府官制第二十六條改正

Table with dates and events: 明治二十八年三月六日, 大日本神武天皇即位紀念, etc.

長李南熙右...

漢城裁判所...

○解署

理大臣事務

度支部協

辦金永憲

軍部協辦

閱泳

事務

軍部協辦

閱泳

事務

軍部協辦

月三十

是

叶有

事尹庚

解翠

承

初任三
五等)

容珙、任感

商工部

二課目

部(六)

金・五・三

어(以) 慢(以)

설명, 아침에, 원올, 어더하고, 저

五二四及二合三

으막, 스면에, 사름에 소딕, 업는 지

관부로 향하여, 드려오라니, 적은

녀지, 머리를, 산발하고, 발을, 벗고

하녀(하녀) 일(일) 하(하) 본관(본관) 절(절)

이로와 본관이 구지알 유병이
이내 사름이 내 그노조 단옥 구스

로 유별하니, 스승과 가령과를 병치

엿스미, 자원함을 이고 자못함。
호소함과 호족, 조소로 다

의(홍)하(하)를(보)고(경)관(하)와(미)리(나)서(서)

천의 좌 만스 무셔 이 오 나 그 러

복원(復元)의 공로(功勞)

서호거날, 본관알, 소원이, 무슴알이

(iii)

華寇罪案 平靖도 온양군의, 스
 은, 니모가, 지이십하, 은부하더니,
 유월전의, 구구도적들이, 니모의,
 천산벽골을, 가고, 니씨의게, 글을
 보니여, 갈아, 네가만일, 네아비,
 회골을, 차지, 하거든, 은화, 숨서
 만골을, 하여, 지고, 아모소곡으로
 오라하니, 나씨가, 숨만양을, 하야
 가지고 두번, 가서, 차지라, 한죽
 도적이, 담은, 그돈만, 취하고, 백골
 은, 주지아, 하며, 다시, 이십스만
 냥을, 가져, 라하며, 그도적이, 또
 동군의, 스는, 윤참판의, 모를, 굴거
 하니, 판씨와, 맞니씨가, 본군과, 미
 경무청의, 전소하고, 진위군의, 서
 적도의, 증졸, 두명을, 잡아서, 그고
 스를, 취한죽, 그괴슈는, 전보의, 괴
 록한바, 임의, 취박한, 경성서문안
 야현의서, 파실상점하니, 기문규판

여러히, 구스하되, 맛츄닉, 하나도
어더하 지 못하 지라, 스스로, 말하되
셀영, 아츄애, 편을, 어더하 고, 저

도, 그 녀 자, 구살스흔, 눈물, 방방
 하도, 오일하야, 그 전후말을 일하
 이 고하고, 또, 천, 주인자,
 남군이 아니라, 부원, 명부인, 그 사
 림을, 스득하야, 이, 원을, 갑하 주스
 셔하거늘, 본관알, 맛당이, 간혹거
 시니, 다시, 오지말나하니, 그녀지
 뵈비샤거하더라, 그, 의일에, 관소
 등이, 반다시, 죽엇슬줄알고, 초조
 제구를, 다스려가지고, 드러 간죽
 본관이, 임원이안조, 호령이, 엄면
 호지라, 관속등이, 모다놀나고, 대
 이히알더라, 본관이, 가마니, 계
 를더여, 에, 빙일장을, 배풀서, 미
 리, 림을, 반포하니, 스방선비, 구를
 갖치, 모히미, 그, 니동이, 또하, 와
 층예호지라, 빙일장, 뵈이느날, 모
 든선비가, 장더에, 모이미, 본관이,
 선비에게효유하야, 글이, 나니
 본디, 호반이라, 시와, 부를, 모로되
 다만, 오날, 설장한바는, 평성에, 호
 글귀를, 엮고, 그더귀를, 엮지못하
 고로, 모든선비의, 문제를, 시험코
 자하노니, 다스중에, 능히, 이, 더귀
 를, 초오느조는, 반다시, 죽상을, 더
 리라하고, 소음타는, 활소리는,
 현구를, 그림자, 속에, 가을, 되성의
 구을넋도다하야, 크게서, 현재판
 에소리는, 푸른나무근을가온데, 보
 비가, 지나도다할글귀를, 써, 일죽
 몬저받치니, 본관이, 그, 글하, 보
 고, 죽시, 니동을, 잡아드려, 엄형하
 여, 무려알, 더, 니의, 소위를, 아나니
 이글이, 네, 지은비, 아니라, 맛당
 이, 실상을, 고하하하니, 니동이, 그
 속이, 지못할줄, 알고, 수후전말을,
 낫나치, 고하거날, 본관이, 죽시, 자
 더에서, 뛰려죽이고, 곧, 김낭에, 시
 신을, 못제서, 건져나니, 히가, 지너
 엿스되, 이를, 빛치, 산사름, 그흔지
 라, 김낭의, 집에, 명하야, 그부부

합장하니라 (完)

報

秘定諡號

덕헌왕후 시호 능호 전호를 본월 각일노 의정하난디, 즉 일에 ...

大行王后 諡 文成 禮天維地曰文 成禮樂明具曰成

勅首望諡依 洪陵 大行王后 諡 景孝

勅首望諡依 景孝 大行王后 諡 景孝

勅首望諡依 景孝 大行王后 諡 景孝

勅首望諡依 景孝 大行王后 諡 景孝

勅首望諡依 景孝 大行王后 諡 景孝

勅首望諡依 景孝 大行王后 諡 景孝

勅首望諡依 景孝 大行王后 諡 景孝

勅首望諡依 景孝 大行王后 諡 景孝

勅首望諡依 景孝 大行王后 諡 景孝

勅首望諡依 景孝 大行王后 諡 景孝

勅首望諡依 景孝 大行王后 諡 景孝

라강했다더라

●秘則不祭 자고이리로, 국구와, 밋공주와, 응주의, 제슈미를, 덕헌의, 혹은 오십석도, 하며, 후백여석 ...

●山下紀聞 大行王后 諡 景孝

●山下紀聞 大行王后 諡 景孝

●山下紀聞 大行王后 諡 景孝

●山下紀聞 大行王后 諡 景孝

●山下紀聞 大行王后 諡 景孝

●山下紀聞 大行王后 諡 景孝

●山下紀聞 大行王后 諡 景孝

●山下紀聞 大行王后 諡 景孝

●山下紀聞 大行王后 諡 景孝

●山下紀聞 大行王后 諡 景孝

이, 아니

●山下紀聞 大行王后 諡 景孝

●山下紀聞 大行王后 諡 景孝

●山下紀聞 大行王后 諡 景孝

●山下紀聞 大行王后 諡 景孝

●山下紀聞 大行王后 諡 景孝

●山下紀聞 大行王后 諡 景孝

●山下紀聞 大行王后 諡 景孝

●山下紀聞 大行王后 諡 景孝

●山下紀聞 大行王后 諡 景孝

●山下紀聞 大行王后 諡 景孝

●山下紀聞 大行王后 諡 景孝

한성부, 종서주동

관소
 (卽稿未完)

社
告

이
을
에
지

今四本社所報に地方諸君에 便利함
經路衙門 이고 蜀道送達함을
하였다니 蜀商 蜀衙門에서 認可되
리 蜀道線沿道에 諸君이 社報價 一期一圓
五分과 選稅七錢五分 을 에 은 先給이
보지사면 田稅 田稅 田稅

特別廣告

居留民一般

昨年十二月二十一日勅令第三百九十八號ヲ以テ
渡韓取次ニ關スル明治廿九年 勅
令第二百四號ハ廢止セラル
タルヲ以テ自今起テ許可證ニ代ルヘキ居住證
明書ヲ要セザルニ付心得ベシ
右告示ス
明治三十年一月八日
正 京 城

一等領事加藤增雄

右領事ヨリ達スル候ニ付此段廣告ス
明治卅年
一月六日
居留民總代役場
總第二号

居留民一般

實屋長補法令施行 則第一號乃至第三号様式
并ニ第五號様式中 實屋買入主證人買受主及讓
受主ノ肩書ニ何處 何村 何番地ト云フヘ何處何
番地何戸号ト改正ス
右相達候事
明治三十年一月六日
正 京 城

一等領事加藤增雄

右領事ヨリ達スル候ニ付此段廣告ス
明治卅年
一月六日
居留民總代役場

雜報

●我公使館の新年宴會 我公使館にて例
により去る五日卯 新年宴會を催せり來會者は
公使、領事兩館員 公使附武官、守備隊將校
通信部員等にして 餘興には福引等ありて中々
盛會ありしと云
●陸軍始 本口は陸軍始なるを以て警守備
隊は午前十時發砲 砲に於て 風調の嘉祥と云
す也云々

山改確定

既に記せし如く 山改審判の出張は既に三
回に及びたるが去る三日付を以て愈々東門外
十里なる 清凉里 末道寺背後の 緩陵
(太王太妃趙氏の陵附近に確定し更に現任
及以前任の議政、總領使、軍部、度支部の兩
大臣及び特選官の差遣はし再應審判せしめたる
後封墓とすとの詔勅あり右審判員の一行
は同日直ちに出張 看番の上復命し陵地附近の
看房は宮内府より 官費にて移建民家は毎間
銀四十兩と下知して取り毀たしむることゝ
なりたり

謚號 陵號 殿

大行王后の 謚號は事變前既に一たび確定し
勅號を得て 謚號を益し奉りしが今度貴政金
永壽氏の上疏により更に確定することゝなり

日官金永壽氏とて吉日を推擇せしめられし
に去る六日吉なりとのことにて同日を以て現
任議政、前任議政、政府堂上、府部協辦以上、
館閣堂上、掌禮院堂上、掌常司提調及び長打
御ふて參内會議をなし 謚號 陵號 殿號各
々三づつを議定し即日金永壽政より上奏
教裁を請ひしに左の如く 勅定あらせられた
る
●殿號 文成 經天緯地日文
●陵號 洪陵 禮樂明具日成
●謚號 孝 洪孝

特赦の詔勅

大君主陛下が兼て至仁にあらせらるゝことは
内外人民の共に感喜指がさる所あるが本月三
日又左の詔勅を下し特に在監の老人廢疾を放
免し玉へ
詔きて曰く刑法之固より輕重すべからず而
れども老弱廢疾の此の邪害に値ひ枉害苦楚
する其の哀矜の意に在て亦念はざるべから
ず懲役罪犯中謀反竊盜強盜通奸賭博の外七
十以上十五以下及び廢疾の人は一並に特放
して朝家職罰の典を示す
建陽一年一月三日 議政府 金永始

●慶運宮の護衛兵 錦廷にては目下親衛隊
中より援援して儀式の訓練を爲しつゝある八
百の兵卒を以て一大隊を編成し近衛隊と名け
専ら慶運宮を護衛せしめんとの議ありて親衛
隊中之付き不平を唱ふるもの頗る多き由は
記載せし所あるが此程閱軍部は齊しく親兵
あるに一は親衛隊と云ひ一は近衛隊と唱へ
此名を異にし且つ其の一隊を以て専ら宮闕の
護衛に當らしめば双方の相互に相猜嫌して弊
害を生ずるの慮なしとせず若か右八百の兵
卒は之を以て新に親衛第六大隊を編制し他の
各隊と輪流交替して宮闕を護衛せしめんに
はとの説を唱へ各大臣とも略々之に同意し居
るやの傳あり

●宮内府官制の一部改正せらる
當宮廷中に學士、大學士等の官名を建つる
ことゝするべしとの議にて記載せし所あるが本
年一月四日布達第二十一號を以て愈々左に通
り宮内府官制第二十六號中を改正せられたり
一奎章院と奎章閣を改稱し卿學士と改稱す
一經筵院と弘文館を改稱し卿太學士と改稱
す
一典書司と太醫院を改稱し長副長と都提調
少卿と改稱す
都提調 勅任(現任又は前任の議政若くは
少卿と改稱す 宮内府大臣中にて之を兼ぬ)

●勅任(正二品以上)
少卿 奏任(秘書院丞春坊兼)
●宮内府吏の異動 宮内府特選官鄭範明氏
は大醫院都提調に、三品許義氏は掌常司副提
調に、秘書院丞鄭世源、王太子宮侍院院務事
金昇圭の二氏は大醫院少卿に何れも去る五日

任命せられ大醫院都提調鄭氏は宮内府特選官に
宮内府特選官金昇圭氏は大醫院都提調に、從一品
李淳義氏は掌常司副提調に、奎章閣學士趙東潤
氏は弘文館副提調に、宮内府特選官金宗圭氏
は奎章閣學士に何れも去る六日任命せられ
たり

●朴内閣又た初めらる 此の程泰相夏する
もの上疏して又た内閣大臣朴定陽、侍從院侍
從金鴻燾、平壤觀察使李容弼の三氏を彈劾せ
るに付き朴内閣は不日辭表が奉呈して自邸
に引籠るべしと傳ふるものあればさる吾が
輩の聞く所にては去ることなるべしと云
ふ

●法官の處罰 例の親衛隊兵卒裁判所暴行
事件に關して漢城裁判所檢事崔文毅氏は本官
を免せられ同判事洪福德氏は罷責せられ同判
事尹庚圭の罰俸三個月に處せられたり
●流罪に處せらる 別項に記載せし如く韓
鳳鶴氏は兵卒の裁判所暴行事件に關して本職
を免せられしが發は流一年に處せられ全羅道
萬頃郡古群山に定配せられ兵卒徐完成、黃致
順、安元成は何れも流終身に處せられ黃海道
長淵郡白翎島に定配せられたり

●監獄署長囚せらる 監獄署長趙錫九氏は
不法行為多しとの議を以て此の程捕縛せら
れ監獄署の獄舎に囚せられたりと聞ふ
●訴訟受審手續改正の噂 高等裁判所に控
訴をすするものは訴訟狀を原訴訟並に原裁判の
判決書と添へて差出すべし非れば一切受理せざ
るの規定あるが由來各地方裁判所に之種々の
弊習ありて理由なく訴訟狀を沒收し又には判決書
を與へざる等の事往々之れあり 漢城裁判所
へ向は此等免れず去れば原裁判に服せずし
て高等裁判所に控訴するもの己を得ず原訴
狀並に原判決書を添へ差出ば控訴手續に背く
の故を以て直ちに却下され爲に冤枉を蒙る
もの多きとの事あるが趙法部は今度特に同裁
判所を訓令し從來の控訴手續を改め今後控
令原裁判訴訟狀並に判決書と添へて一々受理する
ことゝあしたりと傳ふるものあり

●法律起草委員會撤罷の噂 法部にては野
澤顧問の辭職近在り且つ同會にて起草中
の法律多く時世を迂格すと云ふを以て本月内
に撤罷することゝありたりと傳ふるものあり
●韓法復舊の噂 是迄當國の硬貨は仁川
港典國局にて鑄造し來たりしが其の前にては
別に利益あると云ふを以て今度別に監官を定
め器械を用ひて舊制により朝鮮工匠を以て白
銅貨及び赤銅貨を鑄造し毎月三十萬圓づつを
上納せしめ其の餘額を鑄造人に入ふることを
すべしとの説あり

南廷哲疏本 (續)

一水壘狀は悉に宜しく復舊すべき事
臣聞く古人の君に事ふるや日に四方水旱盜
賊の憂を取りて之の上に憂を今や然らず我
君として之を聞かしむるを欲せざる者は何
ぞや君權是に由りて下替し民情以て上達す
るを以て細故に非ざるなり臣謂ふ此の例復舊
するは斷じて止むべからざるなり
一治逆の律を申嚴し以て亂朝を折くを請ふ事
爾來逆節屢萌而國より民志未だ靖からざる
に由るも而も亦た逆を治する嚴からざる

と以ての
給予權を
諸公舊規
を昭にし
け綱と整
ふり
一訓を各郡
を以て上と
する者は一
兩家の全
各分を以
てさし
間舊習を
り宜しく
に托し下
者は尤も
一訓を驛山
臺及人の
を得ざる
臣嘗て罪
疾首、并
びざるを
盡し禁せ
る也
一各地無名
浦村邑市
るものあり
朝に罷
して其實
も無き耳
完さしめ
而して傲
さらんや
べからざる
一各郡所在
の井に諸郡
のしむる事
近日京監
是其始公
子授かり
して終
京中開闢
り得て以
監あり爾
てせよと
民の痛若
を割て盡
の科ある
を知らざる
農にあら
せず彼果
るのみ、各
めて以て
代數に減
く均し
●毛利公費去
は先頃より
四日夜終
●監原領事官
たる監原領
に來任せし
●警官の平壤
軍部及び木

●警官の平壤
軍部及び木

と以ての故耳 予日孔子春秋を作りて亂臣
賊子懼ると凡の前後通達を干犯するものは
諸公新親を申明し嚴に從て懲理し以て法紀
を昭にし以て明を過りよ此實に倫を扶
け綱を登へ以て人心を淑くするの一大關
あり

一訓を各郡に發 凡と梓類の開化に藉托を
得て以上と凌ぎを犯し紀を干し風俗を敗壞
する者は一切懲罰する事
國家の全安を維持する所以の者は徒に紀綱
各分と以ての而て邇來堤防一類收拾す
べきあり亦細部に非ざるなり所謂ふる郷里の
間舊習を改め強を以て弱を凌ぐ者は固より
宜しく痛懲すべく無類悍類の妄りに開化
に托し下を以て上を凌ぎ分を犯し紀を干し
者は尤も一切治せざる可らざるなり

一訓を諸山各邑 發 凡と民有の田畠應
墓及人の共に在る所の大路は毀壞侵犯する
を得ざらしむる事
臣等て罪を關に待た此禁絶實に民の痛心
疾首、奔走呼号する所以の者往々聞くに忍
びざるなり國務めざる可らずと雖も此禁
絶を禁せざるは亦人心を收拾するの一
端也

一各地無名の難民 更に申訴をせし禁絶する事
浦村邑市役所一列し一江にして三所四所
あるものあり一にして再税三税あるものあり
朝に罷り暮る復し日に加はる月を増す而
して其實を究れば則國の利する所の者幾
も無き耳徒に難の類として其給養の欲を
充さしめて商賈を困り得ず外債を償還し
而して敗者の一に國家に歸す事痛恨せ
ざるなり臣等 惟此一事亟に宜しく痛懲せ
べきなり

一各郡所在の驛 屯土に京監を差送する勿
れ并に諸郡の主人に令して税を定め以て納め
しむる事
近日京監四散 所在に擾を爲す屯と驛土と
は其始公田と云ふと雖も民皆父傳へて
子授かり彼等て此買ふ者年あり時々然と
して終養をせし幸にして成熟すれば彼の
京中難民の流に若干緩と納税し善治を圖
り得て以て去り郷曲に誨令して日く我は京
監なり爾等驛の税を刈り我に割くは半を以
てせよと仰す 市育の資一朝にして之と夫
民の痛苦煩冤 寧ろ極むならんや其の半
を割て盡く之と公に屬するさへ宜ましく恤
の科あるべきに似たり況んや之と何人ある
を知らざる所のものに屬するとや彼は則ち
農にあらざるに食し此は則ち農を作して食
せず彼果して何の功あるか此亦た何の罪あ
るか只、各郡に令して宜きを量り税と定
めて以て納めしむる則ち必ず京監を困る
に均しく其害を蒙るべし (未完)

●毛利公費去 萬長州秋藩主毛利元徳公
は先頃より心算に罹り居られたるが去月廿
四日夜終に薨された

●慶原領事官 今度仁川在勤を命ぜられ
たる慶原領事一補は去る五日入港の南越丸便
にて來任せしなり

●警官の平壤行 當地の我警察署在勤堀田
警部及び木暮、丹羽、大川の三巡査は一昨六日

●第五十八銀行の營業繼續披露
銀行滿期前處分方に依り本年一月一日より私
立銀行となりたる當地の株式會社第五十八銀
行支店は其の營業繼續披露の爲め昨夜より三
夜を連ねて羅南山亭に於て盛大なる宴會と
開き善にて昨夜は公使、領事兩館員公使館附
武官守備隊將校通信部員總代役場員新聞記者
等招待せり是夜は本夜は居留民の重立つ者、
明夜は韓人と招待する筈なり

●當地公立小學校 本日より開校
消防夫出初めの景况 去る四日當居留地
消防夫の出初式を行ひしことは已に前号に記
せしが今其概況を記せんに當日午前第九時火
の見ゆの警報の響くと共に三十名の消防夫之
瞬間に總代役場に馳け聚まりて勢頗ひと爲し
組長の進めの号令の下に威勢よく押出たは留
田書記之れに附き添ひ先づ公使館に至りて火
災當時の消防の模様を演し就中梯登りの藝の
如き其趣意頗るなること觀る者をして現察せ
しめざるは少し右了りて領事館に至り同様の
の演技を爲し夫れより路順に従つて近邊と神
廟とを午前十時過ぎに總代役場に至り役場に
廻りし午前十時過ぎに總代役場に至り役場に
は例の如く頭香を備へて消防夫一同を饗し總
代場地景春氏一同に向つて其既往の勞を賞
し將來を獎勵せる一場の演説を爲せり右要應
終はりて消防夫は役場の前面に於て巧妙なる
演技を爲ししれより居留地内各町を押廻はし
て同様の藝を爲し遂に守備隊會館に至りて演
技午後三時頃より至りて引き上げ同四時頃
より井門樓に於て祝宴を開けり招きに應じ
て宴席に列せしは總代場地景春氏以下役場員
諸氏、山口太兵衛、潮上貞助、商業會所理事
松田行藏諸氏にして皆番の席上演説杯之れを
果ては痛飲快舞一同非常の歡を盡くし遂に
夜半に至りて退散せり聞か所に依れば此日消
防夫の出初めと祝宴の爲め諸所より増りし祝
儀の金高は百數十圓の多きに達したりと云ふ

●人耶鬼耶 城内華洞に金某といへる士人
あり性質無類の曲者にして食婪飽餓事なく仁
を爲せば當りての語を金某と心得る公人

●正風會賞與披露
第拾壹會の成績に依り賞與する左の如し
本紙一ヶ月 柳南 無名氏
賞花二組半 仁川陸軍運輸通信部
全組 素心 無名氏

●特別廣告
當商業會所會員半數改選候補左ノ諸氏當
選候補開此後廣告ス
明治廿九年
十月
當選會員
和田 常一 山口太兵衛 左近富太郎
堀上 貞助 藤田 眞三 岩下 彌助
佐々木清磨

●京城商業會議所
本會ハ明治二十八年九月ノ設立ニヨリ二十九
年十二月ニ至り第一回普通科卒業試驗施行候
處成績頗る好真ニシテ左ノ卒業生を得タリ
熊本 上村正巳 瀧見昌雄 生駒甚太郎
佐賀 中島健三 佐賀 高村 甚一
故ニ本會益々發達シ學生ノ爲授業科ヲ左
ノ通り改正シ一月十一日ヨリ開會志願ノ諸
氏此際入會アルヘシ
一學科 五十錢
二學科以上兼修 七十錢
明治卅年
一月四日
京城商業夜學會

●居留民總代役場
明治卅年
一月六日
菊池 景春
本日ヨリ居留民總代トシテ就任事務ヲ取扱
フ
右廣告ス
明治三十年一月四日
京城居留民總代役場



日本郵船株式會社 瀛船仁川廣告

仙臺丸 長崎 香港 行
一月十四日 船長 香澤行 日入

兵庫丸 釜山 馬關 神戶 行
一月十一日 船長 ウチノタ 日入

長門丸 長崎 釜山 元山 浦島 行
一月十九日 船長 ウチノタ 日入

伏木丸 馬關 神戶 行
一月十九日 船長 日入

越後丸 馬關 神戶 行
一月十九日 船長 日入

駿河丸 入港 釜山 馬關 神戶 行
一月十九日 船長 井上猪三郎 日入

肥後丸 釜山 對馬 長崎 馬關 神戶 行
一月十九日 船長 村井 保 日入

玄海丸 芝罘 行
一月十四日 船長 茂木 彌之 日入

日本郵船株式會社 仁川支店

大坂商船會社 瀛船仁川廣告

南越丸 一月十四日 同 日入 日入

隆成丸 釜山 馬關 神戶 大坂 行
一月十四日 同 日入 日入

筑後川丸 釜山 馬關 神戶 大坂 行
一月十四日 同 日入 日入

大坂商船會社 仁川荷客取扱所

御旅神戶屋
朝鮮仁川各國居留地
第貳拾六號地

上等 金壹圓
中等 金七拾錢
下等 金五拾錢
下宿 金五圓
但室内熱氣ノ上相談ニ應

第一銀行京城出張所
新刊發賣
朝鮮王國
總論地理部
會部
社

謹賀新年
簿記學自宅獨習生募集
簿記部
英漢數學
文學

大阪實業學館
大坂市東區
釣鐘町二丁目
館主 土井 善吉

天然痘
發生ノ徵有之ニ付每日午前
第九時ヨリ十二時迄本院内ニ於テ
種痘ヲ
施行ス

紛失廣告
一紙文書座小切手
日附 Potin 1116 號
金額 一四、百六十

第一銀行京城出張所
新刊發賣
朝鮮王國
總論地理部
會部
社

朝鮮王國
總論地理部
會部
社

要錄
總論地理部
會部
社

發行所
東京市京橋區
日吉町四番地
民友社

廣告
第五十八國立銀行ノ廣告
一月一日ヨリ株式會社第五十八銀行
ニ増加シテ株式會社第五十八銀行
且ク確實ニ銀行全股ノ業務ヲ承繼
被成下候ニ陸續御申込被成下度候

定期預金
一割附金
一當座預金
一貸附金
一割附金
一當座預金
一貸附金
一割附金
一當座預金
一貸附金

謹賀新年
洋行
謹賀新年
洋行

日本大等壹唐津石
京泥泥

荷着
日本村田式銃

年頭の御禮申上候
溫飽蕎麥玉
卸賣大勉強

品
附

六報抄錄

●高等裁判所案

(續稿)

우피고, 二지현에, 덕훈의 말을 가
감흥야, 처자감단훈, 스건은, 검스

지판소

우피로, 도민회에, 퇴원위령스건은
검사의, 공소에, 유하야, 이를심리
하니피고가, 지국오백스년, 팔원문

상
디
에

로 공전을 보충하고, 민막을, 표구
하였다. 나, 철거구 회합족, 승도에
죄법도 증거가, 무할설더러, 보공

구막등 천오빈
하라호 부조히
에 구이
담을이

人財物
者准枉法
人枉法
야
건약
지파

그부어
심야에
흐면
서서방
제야
흐야

에와서 갈아타 드러가 오거라 러오라 드러오 그부인 러워나 잇서

지여귀
여인니
날, 축하
즈, 되야
너중일
그히조
남녀유
애오신
할거
덕배시

은지하
부터
그여인
아타아
추후에

[illegible]

이영환, 이영환, 이영환

이, 1990년 1월 1일

사이니갈

受財人
受財人

히, 착슈하
라, 하가르

서학교, 건
설노, 입문

죽, 승도, 보

李氏傳

그부인나, 갈아타, 위안사름이, 심야에, 어둠을, 차자가난지, 가려 하면, 가벗서, 웃지하야, 이문전에, 서서방황하 난고하니, 그여인이, 그 제야, 머리, 쓴거설, 벗고서, 대답 하야, 갈아타, 어둠로, 가다가 길을 잃코, 갈바, 하지못하야, 뒤문전 에와서, 이나이다하니, 그부인이, 갈아타, 그괴서말고, 뒤집으로, 드러가자니, 이여인나, 짜라드려 오거날, 그부인이, 방문을열고드 러오라하니, 이여인이, 문밖에서, 드러오지, 아니하고, 휴져하거날, 그부인이, 갈아타, 뒤집이, 형제어 러워, 다른방을들고, 담은방하나이, 잊서, 언너등거하니, 조공도, 웃지여과지하고, 드러오라하거날, 이 여인나, 드러와서, 한가으로, 안거 날, 축하에, 자셔이보니, 나히이십 즘, 되야보이고, 자식과, 티도가, 찬 녀중일석난디, 몸에입기난, 소복이 극히조초 한지라, 니성이, 갈아타, 남너유별이라하얏스나, 임의뒤집 에오신, 이오나, 말씀하야, 웃더 할거, 아시오라, 감이못잡나니, 어 디계시며, 무슨일노, 어디가시며, 웃지하야, 저랏듯, 홀노아모골물서 웃분터, 날르짜라, 오섯난잇가하니, 그여인이, 피석하고, 뒤답하야, 관 아디, 아조은, 뒤답할말씀습소나나 휴추에, 자연아실거시니, 그리안

니성이, 신종에, 막오피여여고,
그부인다려, 갈아되, 그여인이, 다시
드라올년지, 모로거니와, 만일다시
오면, 필필무슨, 연고가, 잇난거시
니, 아모커나, 되두를, 브리라고고,
니성부부, 셔로말하고, 잇스나, 또
시량이, 읊셔셔, 아참을, 일우지, 못
하고, 잇스니, 어런자식은, 비급품
을, 이그지, 못하야, 어미를, 부루고,
올거날, 니성부부, 이모양을보고,
아모리, 생각하되, 어되가셔, 돈한
품, 변통치, 못하고, 기리한식만,
던차에, 자고나가든, 그여인이, 밧
그로서, 드러오거날, 니성이, 갈아
되, 어되로, 갖다가, 오난잇가하니,
그여인이, 말하되, 어되잠간, 갖다
왔나이다, 조곰있더니, 밧그르, 소
바리가와셔, 찾거날, 니성이, 나가
보니, 쌀이한바리, 왔난자라, 또그
뒤으로, 남기흔바리, 오거날, 니성
이, 어인일인지, 아지못하야, 안으
로, 드러와셔, 이말늘흔즉, 그여인
이, 갈아되, 나가나가셔, 구쳐하야,
가쳐온거시니, 다드려오라, 하거날
니성이, 생각하되, 피이하나, 아즉
괴흔을, 이그지, 못하난, 지경이라,
웃지염치를, 도라보리오, 아모려나
나무와, 쓸바리를, 다드리니, 잠시
군급을, 면하얏난지라, 그여인이,
인하야가지아니하고그부인과갓치

하기를, 여러날 하되, 종사 그 여인의
 이 허난, 모로난지라, 일일은, 그 첩
 이, 니싱다려, 갈아터, 어덕로, 이 스
 를, 혼자 자할거날, 니싱이, 말하
 디, 어덕로, 이 사 하얏스면, 조출줄
 은아나, 빈흔, 사람, 저물어, 있
 서야, 이 스도 하겟난디, 저물어, 어
 디 있냐 하니, 그 첩이, 갈아터, 저
 물이야, 있던지, 읍던지, 니말디로
 만, 하여라 하고, 슈일후, 이 스턱일하
 야, 그날이, 당하니, 이 스하야, 가거
 날, 니싱과, 그부인은, 어인얼얼지,
 아지도, 못하고, 그 첩가 자하난디로,
 따라가니, 복춘어디, 가더니, 이 느
 큰집으로, 드러가거날, 니싱부부, 드
 러가서보니, 문방제구며, 제간법절
 이, 큰부자에 집도, 그에서, 더할슈,
 읍난지라, 니싱이, 그 첩다려, 말하
 디, 이 누에집이며, 주인은, 어덕로,
 갔냐 하니, 그 첩이, 우어갈아터,
 이집이, 우리집이요, 제간임자가,
 우리어날, 또 주인이, 어덕잇소리오
 하거날, 니싱이, 심중해, 심이괴이
 여하나, 그 첩이, 그리하냐고로, 그
 제야, 자서이, 도라보니, 일용사물
 이, 읍난거시울고, 심지어, 노비재지
 라도, 여일하거날, 부인인, 부인호,
 방에잇고, 첩은 첩호, 방에잇서서,
 세상애, 그럴거시읍더라, 미안

● 蕃人東遊

서, 법부 평비중으로, 일천원을, 진
릭은 작고로, 법부 회계국장, 나병은
씨가, 판남하기의, 곤난하다하니,
의심컨딘, 와설인듯, 하더라 △당방
에, 각항 잡세를, 일절 혁파할일노,
여러번, 조정신축이, 잇더니, 근일을
다시, 드르니, 궁정부와, 학정부로
부터, 각항 잡세를, 일절 징설하야,
씨국용을, 등기로, 정하얏다하니,
진부난, 아지못, 할너라

● 肅行御史 金山군에 스난, 거민의
그들을부터, 갈아타, 소위경상도, 압록
형어사, 조아모가, 본딴복도사를,
상고벽로, 지나간, 갑오년에, 법상
도예가서, 형상하다가, 김산군, 김
현장에, 일으려, 동학당을, 맛나서,
돈과지를을, 몰수, 겁탈하고, 불
도상고, 동행일도, 또호일레로, 지
을을, 다견탈, 하얏난디, 근자에, 어
사를, 도둑하야, 가지고, 지방관에,
출척이제의수종의, 잇서서, 밧은(관
리가, 그우에, 난사름이, 읍난지라,
갑오년에, 일어발인, 물건과, 그
동행하던, 부도장사에, 일어바린,
물건을, 일일이, 그석에, 등도에, 처
척에게, 다물이어, 밧고, 일변으로,
곳곳지, 쌀을무역하야, 곡석갑시,
등고하니, 원망하난소리, 파다하
더라

● 贊政南廷哲疏本

지난달, 남찬정이 상소에, 시폐
를, 조진하얏스미, 그말을보니, 다
시병에, 절충한지라, 이제전문을
, 화에갓조괴록하노라

伏以臣廷棟竊聞不諧時務惟自聖時處艱難際乎
有朝夕之慮所謂痛哭流涕尙屬緩發衷情所敢不
能自己何於病伏之中妄有所奏議而側聽幾日未
蒙如何處分其言之不足備採擇可知已更何敢開
口論列重犯遺囑之誅設第臣於前日伏睹我
下倦々以民惟邦本々固邦寧屬斯登 謹請
竊自惟念 聖念及此生民之福也凡在廷紳士
欲仰體頤頤所以贊揚 休命設臣雖不材願其
則贊政了知而不言臣則有罪嗚呼民數之日久矣
始也權倖於征歛末乃漸析於亂離私而無安生
黎之志公而無衛國死長之心於是乎令之而不
禁之而不止雖有良法美規其如不從焉何哉

贊政南廷哲疏本

所切意者十事劃一開察朴付呈上殿 臣等
 臣此章今政府會議諸實施以至悅民心盡固邦
 本焉仍伏念臣一病三朝未復瘡痍真元漸敗精神
 窮蹙竭力就刑實無其望且臣先父母墳墓久不在
 有風樹之悲霜露之感無以自抑雖緣病苦纏綿不
 能自力亦以微名在身不敢擅離故耳玆敢冒悚恭
 瀆伏乞 聖明俯燭實情將臣所帶之任亟許還免
 俾公私稱幸焉
 一各道狀 啓監宜復舊事
 臣聞古人之事君也日取四方水旱盜賊之奏々
 之于上今也不然不欲使吾君問之者何也 君
 抑由是下替民情無以上達非細故也臣謂此例
 復舊斷不可已也
 一請申嚴治逆之律以相亂誦事
 通來逆節屢萌而由於民志未靖而亦以治逆不
 嚴故耳孟子曰孔子作春秋而亂臣弑子懼凡前
 後于犯惡逆者請申明舊規從嚴辦理以昭法紀
 以遏亂萌此實扶倫整綱以淑人心之一大關鍵
 也
 一發訓各節凡悖類之藉托開化以下凌上犯分于
 紀敗壞風俗者一切嚴禁事
 國家所以維持全安者能以紀綱名分而邇來開
 防一壞莫可收拾亦非細覺也臣謂鄉里之間不
 俊舊習以強後弱者固宜痛禁無賴悖逆之妄托
 開化以下凌上犯分于紀者尤不可不一切鎗治
 也
 一發訓鐵產各邑凡有田畝室廬墳墓及大路人
 所共由處不得毀壞侵犯事
 臣嘗侍罪關西諗實此弊美民之所以痛心疾首
 奔走呼號者任々有不忍聞焉 臣職雖不可不
 務此弊雖不可不禁亦收拾人心之一端也
 一聽獄公平 法上趙秉式씨 가, 근일
 에, 옥수죄정이후에, 공평한뒤, 주
 의할야, 일야로, 고등제 판소, 근
 무하야, 벌노이, 소재에 도라가서
 자난날이, 읍시니, 옥수죄인드리,
 비록죽어도, 원형출이 읍다하더라
 ●棠陰抄 자로로, 한성제 판소로,
 부터서, 비록민소죄인이라도, 감옥
 소에, 죄수하얏더니, 근일에, 표법
 부가, 한성제 판소에, 훈령하야, 민
 사로, 옥중에, 죄수한자난, 아을다
 다, 재판소로, 읍기여, 가두었다하
 다라
 ●風聞失實 전일신보에 기록한바
 풍문실실일즉은한문을인하야국문
 으로번역하난스이에그르케번역하
 거서인단고로곳쳐번역하야두번을
 이나니전삼백삼십오호제가단제가
 항제 판판리이동지하에제 판판김의
 도씨가쿠손송빈이잇서서 측명
 을도부하고송스를이리고자하미김
 의의, 남
 하얏다
 앓난지
 민이추
 아다라
 로씨도
 로김씨
 되송민
 으로씨
 위할신
 우에인
 사아니
 임하야
 르더라
 ●賊盜 죽군에
 도사로
 하야
 몇만명
 하라고
 가, 이
 이포박
 인종,
 은한
 번, 심
 할라
 러서, 판
 에, 등
 등, 팔
 칩하후
 ●火賊大 씨가, 그
 처의, 는
 었더니,
 사름상
 니씨더
 영장하
 서, 사
 의게, 문
 니의, 남

10. 10.

등, 팔십을, 그 등으로 요압야, 언
 칭호 후에, 다 을 나, 방면하였다
 라

●火城大關
 한월오일에, 장단군에
 화적이, 송야, 드러와서, 지산
 을, 노략할야 가져갔다, 향더라

●妖言亂道
 川군의, 수는, 李根學
 씨가, 그친손, 동군마교촌, 부근
 처의, 누덕섬, 안의, 장소를, 차
 었더니, 그마 할민인들이, 염병의,
 사름상하는, 만라고, 청탁하고,
 나씨더라, 일, 글아되, 그친손,
 영장한, 후로, 일들이, 염병을, 하야
 서, 사름이, 만히, 상하고, 무너
 의, 게, 운복한, 그덕의, 찬산을, 등
 니의, 남장한, 따달이라 하니, 청컨

할슈, 읍난지라, 김아모가, 무슨
하나를, 니여셔, 최씨가 삼년전에,
전장하나를, 팔앗난디, 그전장산,
스름인즉, 예 산군에 스난, 니씨가,
김아모가, 처판찰부에, 고하니, 판
찰부에서, 다시니씨를, 포박하야, 김
아모에든, 최씨빚슬, 독증하니, 니
씨가, 여러번, 판찰부에, 정하와도,
나과흔지라, 또고등지 판소에, 정하
야, 절업호, 훈령을, 으더셔, 판찰부
에, 부치니, 판찰부에서, 그훈령을,
보고셔, 더욱, 니씨에게, 독촉하니,
니씨가, 방금에, 두번지, 고등지 판소
에, 정하다하니, 최씨에, 빚스로, 전
장산, 니씨가, 무슨관계함이, 잇난
고, 하더라

詞藻

謹天
米溪大師韵
冬夜
無名氏

飲物混成天地明。梅花一笛月三更。下樓靜立
游雲處。聽是無聲似有聲。

又

夜燈耿々片心明。欲探真香坐五更。抱一始知
天地大。盡看流水盡鞋聲。

米溪曰：風韻超絕。說中第一首爲最善。如斯雅什，則予亦不辭屢次拜受。

同上

咏鷹

知雄守雌異群禽。溪谷覺層巖登臨。休道飽揭凱且附。由來此物是豪心。

又

五爪如鉤空亦貪。或時生擒復品鱗。縱觀出沒山林裏。此是揚揚得一心。

米溪曰：讀唱之誼不可不謝。

咏鷹

柳 光 均

雄姿猛氣不凡常。志在難驕遠自揚。明如電掣
爭降快。利似刀鋸五爪剛。掃殘楚野風霜窟。

米溪曰禽獸之詠不同尋常詠物要在遠實而不陷實此作格同

經路는야常路衙門으로郵遞送達す。물舊
하얏더니曩商工部衙門에서이認可되스
리郵遞樣沿道에諸君은社報價一兩一兩二錢
五分과選稅七錢五分을세은先路으로
보시사. 官民의모두이유

特別廣告

第一号

居留民一般

昨年十二月二日勅令第三百九十八號ヲ以テ渡韓而締ニ關スル明治廿九年勅令第三二四號ハ廢止セラレタルヲ以テ自、渡航許可證ニ代ルヘキ居住證明書ヲ要セサ、儀ト心得ベシ

明治三十年 月六日 在京、城

一守領事加藤増雄

右領事ヨリ達 有之候ニ付此段廣告ス

居留民一般

實業取締法令(行刑則第一號乃至第三号模式并ニ第五號様)中實業買入主證人買受主及讓受主ノ肩書ニ、郡何町何番地トフルハ何洞何番地何号戸ト正ス

在京、城

一守領事加藤増雄

右領事ヨリ達 有之候ニ付此段廣告ス

菊池 景春

本日ヨリ居留民總代トシテ就職シ事務ヲ取扱フ

店留民總代役場

明七日ヨリ南へ門通土地丈量候ニ付テハ從來戸番掲記ア一、分ハ番號ヲ追ヒ通知可及候得共番號無之、分ハ自然脱漏可相成ニ付右地主ハ至急當役場へ出相成度此段廣告ス

店留民總代役場

雜報

朝鮮公使内定の説

岡部長蔵子原氏代りて朝鮮駐在公使に任ぜらるゝことに内定し不日發表せらるべき由内地より通信に見ゆ

以て宮内大臣より同行を要請せまに由るなり

●大臣更迭の噂 近頃又大臣更迭の噂と傳ふるものあり曰く掌禮院卿岡永義氏は内務大臣に任せられ各部大臣中にも多少の更迭と見るべし

●協同病院に就す 先の頃協同病院に衛氏何か不平の事ありて病を稱して引入居れりとの噂ありしが今聞ク所によれば右説傳のよしにて氏は陰曆冬至の日參内して爵宅の後持病の胸痛を發し打臥せしより今病床中にありて起さずと云ふ

●フ氏宮内顧問官と兼るの噂 度支部顧問官フタクワン氏は宮内府の經費制規に違反するもの多きやにて自から同府顧問官と兼ぬ之と管理べしとの噂あり

南廷哲疏本 (續)

一京外の各官を嚴飭し別に禁盜を行ふ事 京外竊盜の患近ごろ又た熾張、白晝人を劫かし商旅阻絶し推運艱難、聽聞慘酷あり而して京司は則ち一盜を應る毎に月一限りて懲役す未だ始より好生の典に非ずんばあらざる然れども鐵門を出づれば輒々復盜を爲す故に如し各郡は則ち權輕力弱にして敢て詞捕せず拿獲をなせども必ず京司に報じ以て裁奪を俟つ而して毎常罰案多し夜卒反りて其罪を受く是に由て盜賊横行すとも相成りて殺せし道路頗然良民安んぜず是宜し別法を設け必ず禁じて乃ち己むべき者なり自今盜賊を告發して確據あるものは舊例に依て施行し外道は即ち先づ斬じて後ち其罪を許さば悉くは事宜に合はん

一別は各道觀察を飭し凡そ中等ノ陳屍臺取と民財の法外橫歛とは並びに一々摘發報罷せしむる事

近ごろ聞ク守宰或は舊例あれば則ち改め又た斯方を取りて入下し其の端皆從し巧に名目を作りて民財を橫歛すト定開郷の類代如き又た稍々舊に復すと云ふ並に當に一切嚴禁して以て民情を舒ふべし

一成均館養士費區畫の事

唐の大學々生増して三千員に至る史之と書して以て美事とす今縱とひ是の如くすること能ざるも亦た宜しと増員する所以と圖るべきに却りて見在六十人中に於て又た其の半数を減せんと謀るも云ふ是れ豈に聞かしむ可らざるものなり或は諸語悉く所屬の學田中に就き宜しと量りて還付し或は屯墾土中一二處を以て畫付して以て賑養の資と爲すは悉く已むべからざるなり

一關西の江邊七邑結戸布宜しきを量りて裁減すべし事

江邊七邑土地瘠薄、從前の結帳極めて少、毎結銀三百文戸米二斗を収むるのみ近日新たに結布を定む他邑に在ても未だ皆て舊故に非ざる此七邑は則ち稍々輕しと云ふと雖も過重の虞なきに非ず又た之に加ふに戸布を以てすれば則ち民情誠に苛む可まざる語道の觀察に下詢し宜しきを量りて裁減せば悉くは極限の政に合はん臣此道に於ては是宿所の地其民情を察知する此の如し並に此に仰き請ふ

己上十事臣が愚見を以てするに民一農商務心を收拾すべきの要に似たり乞ふ政府に一選信省下して會議せしむるよし府縣以て不可となす之んば各諸部に令し政府上教と奉して會議したる後施行の意を以て措辭して各道に發訓し之として各郡に頒下せしめよ則ち民國の幸甚なり (完)

明治三十年度總決算の概要

明治三十年度歳入支出總決算案は愈々客月廿六日を以て衆議院議員へ配布せしが今同案案を見るに歳入二億三千九百七十萬五千八百一十四圓にして歳入剩餘七萬六千四百五十九圓にして歳入剩餘七萬六千四百五十九圓にして歳入比すれば歳入四千九百二十八萬八千九百八十一圓歳出五千六百八十七萬二千五百一十一圓増加せり(臺灣は關する豫算は特別會計と設置せる趣にて右總決算中へは算入せざるものと知るべし)左に明治三十年度總決算の概要を摘記せん

(甲)歳入

經常部	一、二、四、一〇、二、四四
內譯	
一租稅	九〇、〇八四、四五九
一印紙收入	七、五二五、六一六
一官業及官有財産收入	二、二八〇、五九八
一雜收入	七九五、三八六
一預金利息收入	一、七二四、一八五
臨時部	一一八、三四〇、三三四
內譯	
一官有物拂下代	五五七、八三一
一雜收入	二九八、七六七
一公債證券製造及發行費收入其他八、三五七	
一製鐵費補足金	二、〇九九、五九
一鐵道守備費償却金	七五〇、〇〇〇
一地方分府補助金	三六一、三〇〇
一公債募集金	五九、二八六、〇〇〇
一前年度繰入金	一〇、五七三、七八三
一賞金、繰入	四四、四一、一七七
歳入總計	二、三三九、七五〇、五七八

(乙)歳出

經常部	一〇九、三三〇、二七〇
內譯	
一皇室費	三、〇〇〇、〇〇〇
一外務省所管	一、四九四、八一五
一內務省所管	六、四九〇、九八三
一農商務省所管	三八、六七〇、四三九
一陸軍省所管	二九、一二九、三七六
一海軍省所管	九、八七〇、二八九
一司法省所管	三、五五二、〇三七
一文部省所管	二、〇〇五、三七五
一農商務省所管	一、四二四、二九五
一拓殖省所管	一、六七一、七四七
一臨時費	二、〇二〇、九一四
內譯	
一外務省所管	一、一三、四一九
一內務省所管	六、五八八、四七〇
一農商務省所管	一〇、八二一、六九九
一陸軍省所管	三〇、〇八八、七九七
一海軍省所管	六八、一三六、八八二
一司法省所管	二、〇二七、四四一
一文部省所管	五三三、一八五

一一三、四一九
 向ひ同部經中より一千圓を進納すべき旨
 命あり法部へ計局長李命倫氏は其の辨別方
 付き大に困難し居るとの風説あるが多分何
 の訛謬なるべし
 ○八八、七九七
 漢陽府の訓令
 漢城府は改口前戸籍法に關して左の訓令を
 一三六、八八二
 二〇七、四四一
 一三三、一八五

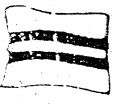
●補欠選挙（釜山）釜山府知事會より
月二十二日補欠議員の選挙をせしに永野
助野田福太郎の二氏當選せり又全二十五日
は委員の補欠選挙となせしに保家定八、馬
邦太郎（以上土木委員）植木義三郎（衛生委員）
の三氏當選せり

●世は逆様 石が流れて木の葉が沈み無

特別廣告

恭賀新年

一月一日 在東京 平原隼雄



日本郵船株式會社
汽船仁川廣告

仙臺丸 長崎 香港 日本
一千八百四噸 船長 香澤 仁

兵庫丸 釜山 馬關 神戶 日本
八百一十一噸 船長 ケチルター

長門丸 長崎 釜山 元山 浦鹽 日本
千八百九十九噸 船長 ケルインソン

伏木丸 日本 日本
馬關 神戶 行 船長 香澤 仁

越後丸 午前九時出帆 日本
馬關 神戶 行 船長 香澤 仁

駿河丸 入港 釜山 馬關 神戶 日本
六百一十九噸 船長 井上 落三郎

肥後丸 釜山 對馬 長崎 馬關 神戶 日本
八百一十二噸 船長 村井 保

玄海丸 芝罘 日本
七百一十四噸 船長 茂木 綱之

日本郵船株式會社 仁川支店
大坂 神戶 仁川 廣告

南越丸 一月一日 港 同 日出港
釜山 神戶 大坂 行

隆成丸 釜山 神戶 大坂 行
釜山 神戶 同 日出港

筑後丸 釜山 神戶 大坂 行
釜山 神戶 同 日出港

大坂 神戶 仁川 荷客取扱所



御旅神戶屋
第貳拾六號地

上等 金壹圓
中等 金七拾錢
下等 金五拾錢
下宿 金五圓
但室内熱氣ノ上御相談ニ應ス

弊館御泊料左ノ通り相定メ極々丁寧切
切強仕リ候間倍舊御愛顧幸願

一上等 壹圓
中等 七十錢
下一等 五十錢
外下等 三十五錢
田原旅館

謹賀新年 土井 普 吉
簿記學自宅獨習生募集

簿記部 農工商會社 銀行 鐵道 製造
普通學部 英漢數學 今般尙文學
部及速記 二部 簿記學部 銀行
會社 特別生 二十日間卒業 郵券貳發送

大阪市東區 大阪實業學館
釣鐘町二丁目 館主 土井 普 吉

目下 天然痘 發生ノ微有之ニ付每日午前
第九時ヨリ十二時迄本院内ニ於テ 種痘
施行ス

漢城病院
紛失廣告 壹枚
一致文當座小切手
日附 PCTH TH 六六 番号 J1001

振出人 J. MICHELESTETH
受取人 CHINAMAN YONG

第一銀行京城出張所
新刊發賣
第四期君、德富一郎君序 菊池謙吉

朝鮮王國
總論 地理部 白頭 白頭 白頭
會部 社會 白頭 白頭 白頭
會部 社會 白頭 白頭 白頭

發行所 東京市京橋區 民友社
日吉町四番地

廣告
第五十八國立銀行ノ發售フテ公告仕
一月一日ヨリ株式會社第五十八銀行
ニ増加仕リ候テ從前ノ營業ヲ承繼シ
且ツ確實ニ銀行全般ノ業務ヲ相營ミ
被成下候テ陸續御申込被成下度候

營業科
一定期預金 一別
一當座預金 一當
一貸附金 一當
一代金取立形 一當
一割引手形 一當
一東京 大阪 橫濱
長崎 福岡 釜山
以上 爲替取組
明治三十年一月 株式會社第五

謹賀新年 洋服調進
御得意萬々歳
不相變御引立テ希フ
絨附附品種々御
JAPANESE, COAL, DEALER,
本日大等壹唐津石
京城泥規

年頭の御禮申上候
溫飽蕎麥王 五拾五以下 壹錢
卸賣大勉強 五拾五以上 壹錢
着 二連新式銃
日本村田式銃
廣 品 屬 附 銃
銃 銃 銃 銃 銃 銃 銃 銃 銃 銃

告

テ公告仕リ置キ... 明治三十年
十八銀行ト稱シテ本金ヲ壹百萬圓
ニテ承繼シ一層御利ヲ相謀リ懇切
ニ相營ミ可申候... 舊ニ倍シ御賢顧
下度候

科目

- 一別段預金
- 一當座預金
- 一送金 (電信送金共)
- 一荷爲替
- 取組先

山濱 神戶 赤間關
仁川 名古屋

社第五十八銀行
京城支店

石丸鹿太郎
京城力武商會
附屬品種々卸小賣

津石炭販賣所
木村健夫支店
京城泥規

品 屬 附 銃 和 護 漢 履
會 商 泉 長 西洋服各種
子 帽 履 履

以下 壹錢八厘 岩源
以上 壹錢六厘 岩源

第壹回月和歌集
兼題 早梅 雪中竹
寄切本月十五日限
漢城新報社謹 謳豐會

競賣廣告

一羅洞假芝居小家
外ニ雜品

右來ル十二月午後一時ヨリ競賣仕候間御望ノ
諸士一同所へ御來臨被下度候也

岩下商店

東京流行新行

中山高帽子	中山打帽子	中折帽子	大黑帽子	梔形帽子	海軍帽子	學供帽子	小メ帽子	メリヤス	毛メタ
子	子	子	子	子	子	子	子	子	子

店商屋龜 峴泥城京

御披露

一茶碗むし
一小田卷むし
一歌哉句そば
一稻荷うさん
一うさんそば
一善哉
一御調子

此外御香いろく

右に各々よう開業仕升たよ就て之稱一杯
勉強致し并併うし風味はナカへに
御客の御譽に取る程には出來かね
升るがホンの熱ひが取得に去て御
風呂の返へり道に一寸一盃かきか
内よりも御暖うわれと蕎麥湯の熱釜
去くも希ふものは

南山湯の泉う道
君が蕎麥

廣告

一日本紡績木綿
一朝鮮人士腰帶

右品は朝鮮各諸君に從便を위하야만히
泥峴四谷武藏地大塚前方の地輸入すや물을
건은 상품을 欲함을 고 講利로 호응성호
나 四方諸君多難을 荷치 아니하시사 시
를 先만 바라옵

大日本岡山縣兒島郡秀天村

시방 泥峴大塚

慶房居

高田平次郎

銘酒販賣廣告

一菊正宗 一春駒
一金露 一文明一
一澤龜

其他醬油類各種

右ハ是マア營業罷在候處各位ノ御愛顧ヲ蒙リ
日ヲ増シ營業ニ赴キ候段難有奉謝候就テニ
坂地鹽造元ト特約シ御小賣共大廉價ヲ以ツテ
販賣仕リ向ホ小賣ハ毎日店員ヲ差遣シ御用向
爲相伺候間五合以上ハ樽或ハ德利等御便利ニ
隨ヒ持參可爲致候ニ付多少ニ不拘價々御注文
奉願上候

但御便宜ニ依リ各酒類ハ切手モ差出可申候

京城泥規

月日 佐藤酒店

紙捲煙草 十本入 吸口付

ピーコック 金四錢

右入敷品切中ノ違本日新着仕候

泥規 龜屋

新聞定價 一週月貳錢 貳月貳錢 貳月貳錢 貳月貳錢

廣告料 五號活字貳拾字計壹行壹圓金六
錢但し行數及回数により御引仕
料金は悉皆前金にて可申受候事

發行所 漢城新報社

發行所 漢城新報社

報

●因討北事

洪駿을 면의 조, 등침을, 방하고자, 하여서, 저 한번의, 스자를, 청구금 등으로, 파고하여서, 시찰하야온주, 능상국장, 다모상성과, 양마, 호포드셔물을, 다옥으로, 하얏더라말은, 항일본의, 임의가조아, 기록 하얏거니와, 이제들으니, 궁정으로, 본타원을, 보되여, 옥석을, 합당도, 단논의, 구하여서, 장차 모다, 본바느란다하고, 단천군은, 이에청옥과, 화옥이, 조리소손이다라

●議政告退

의정부, 의전, 김공, 병서씨가, 작일의, 다시사지상소를, 올니고, 물너스가, 스저기, 도라가서그본일의, 유택되얏고, 판청정, 응선씨가, 다시 의정스무를, 현명하얏는데, 김의정의, 상장고리함이, 실상심습차이다라

●日下志聞

閔泳巖씨가 장차, 뒤부 디신, 한다노, 말은, 임의, 전보의, 기록, 하얏거니와, 이제또전하는저, 이셔글아디, 박니부가, 장차, 駐劄國全權公使를, 임한다하고, 金宗漢씨는, 본타원군보 泳巖씨로, 더부러, 지가, 장합하여서, 왕년의민군부가집권, 하얏설테의, 일의크고, 조근거시, 용시, 반시, 김씨로, 더부러, 의논하야, 처하며, 서로더부러, 한몸이, 되고로, 이번의, 장차뒤 부디신을, 의하야, 국사를, 공제할 뜻서라니, 이말이, 전설과, 다른고로기록, 하야, 써들니노라

●白首請罪

증언어스의, 李容鎬는, 노성한선비라, 니고용, 모니사름에, 모의에, 참여함으로써저, 자일, 오하, 露韓合謀본의, 고등저, 조소의자수, 청죄하얏는데, 니어스란, 사름은, 본타원정이의, 팔자고, 박하능문, 고, 辯論의능하, 약속하야서, 문인이, 슈빅

명이더니, 전하의, 徐光範씨법부디신 하얏설테의, 일죽이, 잡피여, 옥에 나리여서, 법리로, 더부러, 誹謗시, 괴운이, 무지키, 갖치배치여서, 법리가, 능하, 당하지, 못하얏더니을, 이, 이번, 니근용모단사름을, 모의하는데, 니어스가, 모주가, 은듯 되야서, 세상의, 전하는, 말이, 詔를, 짓기는, 니어스의, 초한바, 이라하고, 또張元善이란, 자아잇서스, 니어스로, 더부러, 한가지로, 자현하얏는데, 동씨가, 일어를, 잘하야서, 등변하기로, 써위엄한다더라, 무릇, 유죄한자, 가, 자현하얏즉형벌을, 일등을, 감함은, 법늘의, 명정함, 바이라, 조선의서, 自肅정죄하자이, 잇지 아니, 하더니, 니어스로, 부터비로소, 잇더라

●局長見

엇던사름의, 면하노말을, 드르니, 저작 일아춤에, 경무령, 총무국장, 안환씨가, 아라사공관

●大臣被囚

전의정부, 친정법부디신 韓圭, 高씨작일미명에, 경니의, 계포박, 되여고등, 재판소에, 저수하얏다하고, 그무슴죄범이, 이셔서, 집현전, 지모로거니와, 엇던사름이, 면하기를, 리근용씨, 현선 화제인에, 결년이라하고, 또종설에, 하기를, 어전경무스, 李維祺씨, 도잡혔다하니그말은, 맞지못하노라

●贊政南廷哲疏本

(承前)

一各地無名雜稅更爲苛罰禁斷事
浦村邑而稅所雖列一江而有三所四所者一物而有再稅三稅者朝罷暮役日加月增而究其實則國之所利者無幾耳徒令閭閻之煩元氣之耗之私而商賈不得暢旺外噴而爲而吸敗之怨終歸國家寧不痛恨臣謹惟此一事亟宜肅禁也
一各郡所在驛土屯土勿差送京旅并令該郡主管定稅以納事
近日京監四散所在爲擾屯與驛土其始雖曰公田而民苦父傳子授彼債此買者有年矣盼々然終歲作苦幸而成熟彼京中開羅之流慶將若于錢圖差帖以去號令御曲我京監也則則第

察制我以半仰事俯育之資一朝而失之民之痛苦煩冤寧有極哉制其半而盡服之公似宜在體恤之科冗賦之於所不知何人說彼則非農而食此則作農而不食彼果何功哉此亦何罪哉只令各該郡量宜定稅以納則必無成於京監所納之歛而許多農民庶可以均其澤矣

●嚴防京外各官另行禁斷事

京外驛役之患近又熾長白書行劫商旅阻絕推埋冤家悶鬱而京外則每隨一盜眼月愈役未始非奸生之典與出戰門而役爲盜則各郡則權極力不致詞捕獲或拿獲必報京司可以獎裁判而每多翻案校卒反受其罪由是盜難橫行而相戒不發道路緜然民不安是宜另行設法必禁乃已者也自今盜發有確據者依舊例施行外道則許以先斷後啓恐合事宜也
一另飭各道觀察凡守宰之限況禁販賣民財之法外檄欽此令一摘發報罷
近聞守宰或有舊例不改而又取新式入下其筆倍捷巧作名目橫欽民財如卜定開鄉之類又復藉端復舊云並當一切嚴禁以舒民情焉
一成均館委士費區劃事
唐之大學學生增至三千員史書之以爲美事今繼不能乃於六十人中又謀去其半云是不可使關於國者或就該館元有學田中量宜還附或以屯驛土中一二處劃付以爲該館之資恐不可已也

●論財周急

하남촌스는, 순검의, 박씨가, 교등스는, 김승지, 영석씨의, 알고주린다는말을, 듣고, 친이, 가서, 본즉, 과연듯던말과같은지라 또그가옥이, 불일니르, 문어질지경이라, 허순검이, 곳오실금을, 되려서, 그집을, 아여주고, 또전냥으로써, 시량을, 스셔주었다더라

●果川驛警

과천군, 갈현의서, 일전의, 강도수십명이, 들출하야, 국씨의, 한리의, 관동두명이, 부를넋스미, 관동조는, 곳쌍의, 업드리게, 하야서, 도적이그사름의, 주의와, 저고리를, 벗기고, 물건유우를, 두질지음의, 등자가, 겁을내여서, 도주하니, 무리도적들이, 쫓아가서, 그등자를, 붙잡아, 다가듯코, 그관한자의, 오리를, 들녀서, 등자를, 걸

박하

지아

이노

도음

나하

무서

적이

을니

하야

저놈

저라

러지

그관

고을

니가

는서

갈현

그관

의차

능히

하게

●紫女

과거

코인

니부

하얏

니명

스이

인하

일거

영하

니쳐

능모

도로

가명

를박

타살

의여

가나

거지

된고

더라

●梨花

한자

의비

民之痛
宜在觀
其而食
設只令
所納之

방하고, 몸을 두지여, 보아도, 도모
지, 아모지물, 업는지라, 그도적
이, 노할야, 글, 뒤, 몸의 지닌, 물건
도음사, 웃지, 야서, 등망하였, 나
나홀죽, 동자, 글아타, 겁이, 고,
무서워서, 그다하얏노라, 하니, 도
적, 그결박을, 풀고, 동자의, 두손
을, 너여노라하니, 그동자가부들이
하야서, 두손, 너여노았더니, 도
적놈이, 팔을들어서, 그손을, 못난
지라, 그동자가, 정신을, 날코업드
러지며, 이렇듯야요야도, 맛참너
그관자의, 모든두쳐보지, 아니하
고, 물너가니, 그사람이, 도적놈, 멀
나가가를, 기다려서, 비로소, 일어
느서, 그동자르구원하야, 다리고
갈현주막의, 이르러다라, 그씨의
그관환자가, 은선이심원을, 불두덩
의, 차고싸의, 이르러서, 양팔함을,
늘리면, 열서니, 두는자들이, 이
하게, 너기더라

고, 그뒤를, 다라서, 그집문의, 할이
미, 그비녀가, 그따라움을, 보고, 마
음의, 심회의심하야서, 꽃운을, 구
게닷드니, 허모가, 억지로, 문을열
너드니, 최상공이, 꽃술검의, 고
급하야서, 그허모를, 함무청의, 잡
야, 가두었다더라

도음의, 부부가, 밋고서, 그말되로,
숨일송경한후, 십일이, 지니미, 사
로함술도, 또한전과, 갖치, 사거늘,
다시무녀를, 청하야, 춤추며, 술맛
달기를, 바니, 가히한성하고, 가히
우유은, 날이더라

阻絶推
月窓役
舊舍部
可以侯
鐵樹行
行設法
律例施

財之法
入下其
之類又
爲

○ 婦孺姑婦 황해도, 연안군, 비시
처가, 자식이, 인단되, 지작연동간
의, 동니김모가, 비시의, 업스씨를,
타서, 비가의, 처로더부러, 잡을
다가, 비가의게, 등시포착이되여,
비시가, 김모를, 구타하미, 김모가,
또한비모을, 구타하년지라, 김모의
부가, 철심노을이요, 또병의으로,
전도만류한지, 심여일후에, 김가의
부가, 본병이, 복발하야, 치스하니,
김가가, 청탁하기를, 비가의게, 피
라치상이라하고, 본군의, 정소하니
군수가, 그사체를, 금시하죽, 피라
치상하거시아니라 하니, 김가가,
또관찰스의게, 정소하고, 좌우청측
하야, 간부의다, 못간부를, 연안군의
정박하엿다가, 곧방면하고, 본부
는, 본군의, 종선금고되엿서니, 비
가의, 팔십노모가, 무의무탁하야,
관찰스의게, 호소하죽, 지교년의,
이의법부의, 보하엿서니, 법부에가
정소하미, 가하다, 하거늘, 법부에
정호지가, 정연하도록, 지령이되
리지, 아니하년지라, 작연이월, 되
스시에도, 비씨가, 방면하물, 부득
하니, 비씨의, 노모가, 고등지판소
의, 정소하다하더라

○ 告白 뒤일부타, 본호성신
보에, 萬國公法을, 간포출타이은데,
되더만국공법이, 라는것은, 지금
세게상, 여러나라의, 상관되여, 피
차고제하는법과, 각국법들이, 엇더
할것을, 그록하거시오나, 무론누구
시든지, 지금각국교제하는것을, 당
하야, 유지호제군자는, 아나불수업
난거시오나, 아모조록, 명심하야,
보시기를, 바라옵네다

美事今
不可使
遂附或
不忿不
收錢三
未王許
之應而
之觀察
之地

○ 華女聚財 양 유군,鄭倫大가, 한
과거하느, 계슈가, 잇스니, 노히점
인인들이, 아란답더니, 그집고음의,
니복이라하느, 이, 그과부를, 잘들
하얏다가, 승야, 도주하야, 그근처,
니명화의, 집에, 숨어서, 또사람을,
스이노아, 정운의, 집비녀를, 유
인하야, 갖스죽, 니복이란자는, 가위
일거양득이라, 두미인을, 다리고,
영수먼리, 도주하고, 또니명화의,
니처성두자이, 정씨의, 우준함을,
능모하야, 니복이를, 호송한후의,
도로여쭈씨를, 귀첩하야, 글아타, 네
가, 명, 식이, 스부로, 씨계슈를, 중가
를, 밋고, 암미하, 스스니, 맛당어, 니를
타살하리라, 하, 가음을, 파쇄하후
의, 여간전곡을, 무슈이, 탈취하야
게, 가니, 정씨가, 부하고, 원동학을, 니
와, 그지못하야서, 씨씨지, 귀정이못
된고로, 또고등지판소의, 호소하다
더라

○ 舞祝酒甘 중서, 슈표교, 근처당
등의, 스는, 토옹이, 잇는되, 술상스
로, 씨위업을, 하더니, 근일의, 술맛
시심이, 시여서, 두어항아리를, 신
싸닥으로, 팔지못하야, 토옹의, 부
부가, 마음의, 심하, 근심하야서, 무
녀와, 밋판슈의게, 문복하엿더니,
다글아타, 그술맛서, 신근인인죽,
귀신의식과함이라, 청전되, 귀신나
부비를, 되려서, 숨일송경을, 하조,
시던술이, 가히달서지라하느, 그

○ 廣告 新開紙一張價 一錢三分
一兩價 一兩二錢五分
三兩價 三兩五錢
六兩價 六兩七錢五分
地方購買者 每月郵遞稅七錢五分
이 요 餘數及回數로 寄차서 간
슬 덜 하고 此 廣告 費 선도 금 1

○ 社 告

○ 米溪 山吉 盛義
眼見衣冠千古榮。時非難奈屋生荆。雪空野
梅無色。笛自掠雲月有聲。胡蝶欲與仁政殿。
漢王不返洛陽城。向誰狂說經綸事。莫復邦人
來正名。 正字 去聲

○ 社 告 呂氏春秋有何事漢江自沒
澤。野有遺賢宛認城。朝無柱石諸莊仁。誰說
能解吾詩意。到處欲與新斯人。假令九重懸萬
乘。乘龍奈何李氏半千春。

○ 社 告 紫山 毛利部實錄
地隔巷街與自開。浮雲飛鳥絕塵寰。風雲木寬
萬重樹。雪巖溪陽十里山。懸崖鑿壁天外動。
意兼月影夢中遊。養心只有半實誠。古道如環
際照頻。

○ 詞 藻

○ 米溪 山吉 盛義
眼見衣冠千古榮。時非難奈屋生荆。雪空野
梅無色。笛自掠雲月有聲。胡蝶欲與仁政殿。
漢王不返洛陽城。向誰狂說經綸事。莫復邦人
來正名。 正字 去聲

○ 社 告 呂氏春秋有何事漢江自沒
澤。野有遺賢宛認城。朝無柱石諸莊仁。誰說
能解吾詩意。到處欲與新斯人。假令九重懸萬
乘。乘龍奈何李氏半千春。

○ 社 告 紫山 毛利部實錄
地隔巷街與自開。浮雲飛鳥絕塵寰。風雲木寬
萬重樹。雪巖溪陽十里山。懸崖鑿壁天外動。
意兼月影夢中遊。養心只有半實誠。古道如環
際照頻。

○ 社 告

○ 米溪 山吉 盛義
眼見衣冠千古榮。時非難奈屋生荆。雪空野
梅無色。笛自掠雲月有聲。胡蝶欲與仁政殿。
漢王不返洛陽城。向誰狂說經綸事。莫復邦人
來正名。 正字 去聲

○ 社 告 呂氏春秋有何事漢江自沒
澤。野有遺賢宛認城。朝無柱石諸莊仁。誰說
能解吾詩意。到處欲與新斯人。假令九重懸萬
乘。乘龍奈何李氏半千春。

○ 社 告 紫山 毛利部實錄
地隔巷街與自開。浮雲飛鳥絕塵寰。風雲木寬
萬重樹。雪巖溪陽十里山。懸崖鑿壁天外動。
意兼月影夢中遊。養心只有半實誠。古道如環
際照頻。

○ 社 告

○ 米溪 山吉 盛義
眼見衣冠千古榮。時非難奈屋生荆。雪空野
梅無色。笛自掠雲月有聲。胡蝶欲與仁政殿。
漢王不返洛陽城。向誰狂說經綸事。莫復邦人
來正名。 正字 去聲

○ 社 告 呂氏春秋有何事漢江自沒
澤。野有遺賢宛認城。朝無柱石諸莊仁。誰說
能解吾詩意。到處欲與新斯人。假令九重懸萬
乘。乘龍奈何李氏半千春。

○ 社 告 紫山 毛利部實錄
地隔巷街與自開。浮雲飛鳥絕塵寰。風雲木寬
萬重樹。雪巖溪陽十里山。懸崖鑿壁天外動。
意兼月影夢中遊。養心只有半實誠。古道如環
際照頻。

○ 社 告

○ 米溪 山吉 盛義
眼見衣冠千古榮。時非難奈屋生荆。雪空野
梅無色。笛自掠雲月有聲。胡蝶欲與仁政殿。
漢王不返洛陽城。向誰狂說經綸事。莫復邦人
來正名。 正字 去聲

○ 社 告 呂氏春秋有何事漢江自沒
澤。野有遺賢宛認城。朝無柱石諸莊仁。誰說
能解吾詩意。到處欲與新斯人。假令九重懸萬
乘。乘龍奈何李氏半千春。

○ 社 告 紫山 毛利部實錄
地隔巷街與自開。浮雲飛鳥絕塵寰。風雲木寬
萬重樹。雪巖溪陽十里山。懸崖鑿壁天外動。
意兼月影夢中遊。養心只有半實誠。古道如環
際照頻。

○ 社 告

○ 米溪 山吉 盛義
眼見衣冠千古榮。時非難奈屋生荆。雪空野
梅無色。笛自掠雲月有聲。胡蝶欲與仁政殿。
漢王不返洛陽城。向誰狂說經綸事。莫復邦人
來正名。 正字 去聲

○ 社 告 呂氏春秋有何事漢江自沒
澤。野有遺賢宛認城。朝無柱石諸莊仁。誰說
能解吾詩意。到處欲與新斯人。假令九重懸萬
乘。乘龍奈何李氏半千春。

○ 社 告 紫山 毛利部實錄
地隔巷街與自開。浮雲飛鳥絕塵寰。風雲木寬
萬重樹。雪巖溪陽十里山。懸崖鑿壁天外動。
意兼月影夢中遊。養心只有半實誠。古道如環
際照頻。

○ 社 告

○ 米溪 山吉 盛義
眼見衣冠千古榮。時非難奈屋生荆。雪空野
梅無色。笛自掠雲月有聲。胡蝶欲與仁政殿。
漢王不返洛陽城。向誰狂說經綸事。莫復邦人
來正名。 正字 去聲

○ 社 告 呂氏春秋有何事漢江自沒
澤。野有遺賢宛認城。朝無柱石諸莊仁。誰說
能解吾詩意。到處欲與新斯人。假令九重懸萬
乘。乘龍奈何李氏半千春。

○ 社 告 紫山 毛利部實錄
地隔巷街與自開。浮雲飛鳥絕塵寰。風雲木寬
萬重樹。雪巖溪陽十里山。懸崖鑿壁天外動。
意兼月影夢中遊。養心只有半實誠。古道如環
際照頻。

○ 社 告

○ 米溪 山吉 盛義
眼見衣冠千古榮。時非難奈屋生荆。雪空野
梅無色。笛自掠雲月有聲。胡蝶欲與仁政殿。
漢王不返洛陽城。向誰狂說經綸事。莫復邦人
來正名。 正字 去聲

○ 社 告 呂氏春秋有何事漢江自沒
澤。野有遺賢宛認城。朝無柱石諸莊仁。誰說
能解吾詩意。到處欲與新斯人。假令九重懸萬
乘。乘龍奈何李氏半千春。

○ 社 告 紫山 毛利部實錄
地隔巷街與自開。浮雲飛鳥絕塵寰。風雲木寬
萬重樹。雪巖溪陽十里山。懸崖鑿壁天外動。
意兼月影夢中遊。養心只有半實誠。古道如環
際照頻。

○ 社 告

○ 米溪 山吉 盛義
眼見衣冠千古榮。時非難奈屋生荆。雪空野
梅無色。笛自掠雲月有聲。胡蝶欲與仁政殿。
漢王不返洛陽城。向誰狂說經綸事。莫復邦人
來正名。 正字 去聲

○ 社 告 呂氏春秋有何事漢江自沒
澤。野有遺賢宛認城。朝無柱石諸莊仁。誰說
能解吾詩意。到處欲與新斯人。假令九重懸萬
乘。乘龍奈何李氏半千春。

○ 社 告 紫山 毛利部實錄
地隔巷街與自開。浮雲飛鳥絕塵寰。風雲木寬
萬重樹。雪巖溪陽十里山。懸崖鑿壁天外動。
意兼月影夢中遊。養心只有半實誠。古道如環
際照頻。

○ 社 告

○ 米溪 山吉 盛義
眼見衣冠千古榮。時非難奈屋生荆。雪空野
梅無色。笛自掠雲月有聲。胡蝶欲與仁政殿。
漢王不返洛陽城。向誰狂說經綸事。莫復邦人
來正名。 正字 去聲

○ 社 告 呂氏春秋有何事漢江自沒
澤。野有遺賢宛認城。朝無柱石諸莊仁。誰說
能解吾詩意。到處欲與新斯人。假令九重懸萬
乘。乘龍奈何李氏半千春。

○ 社 告 紫山 毛利部實錄
地隔巷街與自開。浮雲飛鳥絕塵寰。風雲木寬
萬重樹。雪巖溪陽十里山。懸崖鑿壁天外動。
意兼月影夢中遊。養心只有半實誠。古道如環
際照頻。

雜報

國葬期日の確定

山陵の封葬に關するを以て去る九日總護使・山陵部監・宮内大臣及び掌禮院卿等會議の上議し陰曆一月二十五日山陵の工事に着手し同四月五日開葬を終るとに決定したる由

●山陵造營の材料 東門外なる清涼里に造營せらるべき

●山陵奉寄 去る十日は裕陵・哲宗大王忌辰の祭日に付き皇親國戚皇太子金宗主・差遣は主計院を奉寄し留まりて祭事監督をなさしめ併せて山内の諸陵とも奉寄せしめられたり

●移御の延期 大君主陛下は本月初頃慶運宮へ移御あらせらるゝ筈なりしも同宮の設備に充てらるゝ筈の露式に依て延期せられつゝある軍隊が未だ護衛の務を爲すに充分熱心せざるを以て其熱心なるまで延期せられたりと云ふ

金議政の辭表

聞届らる

罷り記せし如く議政金炳伯氏の辭職は幸ふし運動がすべく之れに下すに前後兩回の討論を以てし之を論ずるに十回の批教を以てせられたるも猶堅臥して起たざりしに客月末移御の風説世に流布すると共に官報號外は意外にも同氏の出動を傳へ爾後日に登壇事務を取り居りたるが何故かや俄かに第十三回の辭表を上り大君主陛下は本日左の批教を下

御裁可あらせられたり

發則金議政 則金議政、殆若不相孚、而朕未可聽也、會議不決、而無務議、以權制、其於休戚之義、若曰然、不爲愛、則朕又未可愛也、若恐如此、不得已、已爲勉勵、卿其諒之

論朴内部

下る

既に記せし如く朴内部は初め金顯琪等に彈劾せられ領ひて了た蔡相及に彈劾せられたる爲が終り辭表を出し自邸に引き籠り居れるが去る十日 大君主陛下より左の特諭を下して其出動を催せたり

向日金顯琪之投劾、直不過奏率、而謂以情察愾、一却公務、已非白重之道、況蔡之下、無變動、分義實難、豈容若是、

●内部大臣朴正陽、使之嚴防親訪、

●而後別項記の如く金議政の辭職は同日閣下届けられたるを以て朴内部の引入中費政尹

●容善氏に彈劾政事務を命ぜられたり

●大臣風説の 前號の本紙に劉泳陵氏内

●大臣に任せられんを由を登載せしが今

●大臣所に依れば内部大臣朴正陽氏駐劄國

●全權公使に任せられ金宗漢氏其後を要ぐなら

不軌事件關係者の自首

老婦を以て當地に名高き前の御史李容毅氏は不軌事件の關係者なりとて再昨午午前十二時半比高等裁判所に自首したり氏は學問博く文章を能く、辭論に長じ數百人の門弟を有し京地民間に在ては頗る勢力ある人するが聞く處に依れば不軌事件には謀主となり夫の所謂偽造詔勅は乃ち氏が草する所なりしと云ふ又張元善なる者も李氏と同じく自首せしが氏は日本語と善くし平生通譯を爲し居りし人の由なり是迄智國の人に自首せしものあるを聞かず李、張二氏の自首は實に之の高矢たり

●安恒氏 一昨日露館内の行在所に參内し何か上奏をせせしと云ふ

韓主高氏捕縛

せらる

前法部大臣韓主高氏は昨日早曉捕縛せられたり其の原因は例の不軌事件に關してをらん云ふ又他の事に因るものと云ふ未だ詳かからず又前警務使李鍾健氏も捕縛せられたりと云ふ

元年度の決算

當國總務元年度の歳出入決算之數入二百六拾五萬八千八百八拾五圓八拾六錢四厘歳出二百四拾七萬五千五百五拾二圓二錢四厘なり然るに從來百萬圓餘の剩餘金あるに由り之に本年度の差引殘金拾八萬六千六百三十五圓六拾五錢を加へて來年度に繰越す筈なりと云ふ

●權在衛氏 法部協辦する同氏は豫て病氣にて引居たるが昨日より出動せり

●李判尹の歸郷 漢城府判尹李采淵氏之展墓の爲め郷里慶尚道漆谷に赴くに付き再昨日辭表を差出せしに 大君主陛下よりは辭職に及ばず便宜往來すべしとの詔下りたるを以て昨日當地を出發せ去由なり氏は當地より仁川に至り仁川より漢城にて釜山に上陸し其れ陸路を取る筈なりと云ふ

●裁判官の異動 法部參贊官兼任裁判所所長判事李熙憲氏は頗る依りて兼官を免せられ法部參贊官馬駿榮氏は高等裁判所預備判事に兼任し法部主事韓鍾欽氏は漢城裁判所檢察に任せられたり

●崔文鉉流亡 裁判所兵卒暴行事件に關して捕縛せられたる檢察崔文鉉氏は裁判の上告六十應役一年に處せられしが特旨を以て流一年に減り黃海道豐川郡板島に定配せられたり

●特赦の罪 懲役罪犯人中韓日恩詔により特赦せられたる者は左の人々なり

年々十以上の者

安錫喜、柳公先(私通罪)、李教雲(略人罪)、鄭長漢(犯禁罪)、

梁錫森(使酒拒捕罪)、李秉燾(私通罪)、朴彭

前掌令蔡相夏疏本

前掌令蔡相夏あるもの上疏して朴定陽、金鴻燾、李容熙三氏を彈劾せし趣は前號の紙上に記載せしが今其の疏本を得たれば左に記載す

伏して以て臣愚昧品を以て才疎學淺に文は絲毫の愧有て武は隨處の才乏し何ぞ世に參三并立するに足らんや素より管て習知する者は惟々忠孝の二字而已毎に慷慨の志を懷き常に交付の忱に切なり容て愛君の誠六馬の後に在らず然れども言は其の位に非ざるの嫌あるを以て嗚咽して今に至る而るに切に國勢の奮黃髮衰を見れば累卵疊石を置かず實誼が謂ゆる痛哭流涕長太息も猶汗漫に屬を嗚呼痛哉我乙未八月十八日之變千古に迴て來た開か。萬邦に在つて觀ず惟ふに將相大臣冤を含み痛を忍び難言なきは惜むに勝るべけんや今我夫々萬國の風俗殊なりと雖も天地棄の性は則ち一なり苟くも人心人殊ある者孰れか其父母の管を痛まざるや且所謂公法あるものは萬國通用の規あり而して何ぞ獨り我國に行はれざるや此れ乃ち本國朝廷顧慮畏忌、敢て怒りて敢て言はざる者なり春秋の法、懲未だ復せざれば罪未だ克はす罪未だ克はざれば服除せず現今禮月已に過ぎ拜已に度る復讐の論、時日は急なり伏して惟ふに聖明聖かに雷霆の威を奮ひ日月の明を煥發し此意を以て十部に下詔し各國に確固に公法を按じて以て討を行ひ聲を同へ義を共にし天下を震動せば則ち三百年の舊習一新朝をくを得、是れ我が億兆の願なり一國の幸なり伏して惟ふに陛下誰を憚りて久しく此をなさざるや蓋々國勢の振弱に至るは他に非ざるなり實に人を用ふる謹まざる官爵公をすして以て之を訓教養成するは由るなり且つ近日の事を以て之と論ずるに朴定陽更部銓衡任重を以て賢愚を問はず概ね姻親阿近の者をして用ふ而して初めより慶詢延訪の意を以て方且つ因封未だ克はざるに直ちに面辭を行ひ勝と士林に得、而して恬然就官是れ大臣愛國の事也と謂ふ可けんや且つ譯語の誤臣を以て大寵厚澤を蒙り公器を操弄し己を肥やし星を潤はす者あり奸狀既に露はれ終る畏れ忌みず(是れ金鴻燾を指すならん)且つ所謂起復出仕の徒廉を冒し絲毫貪り禮を廢し親を忘る漸く長す可らざるなり或は觀察の任重きを以て務を整理に委して官を讓する者之れあり(李容熙氏を指すならん)夫れ人を用ふる謹まざれば禍亂を馴致す前號疏に非らず而して復た舊轍に循ふ異日禍を爲す庸んぞ量る可けんや伏して願は 陛下淵然として深思し廓然として決斷し凡と阿近を引用し(朴氏、已を肥し星を潤し(金氏起復出仕する者)幸氏)は一平原に於て然る後治綱乃ち立つ今より以て往人を擇んで職に任じ後を遠け廉を興し復讐を以て一大公敵と爲し富強を以て急先の務と爲し以て中興

●我が 宗

●城部新

●一昨日

●日語學

●任教師長

●の演說等

●て退散し

●と云ふ同

●は長島

●昌株、女

●の軍部下

●て客月

●期して入

●京城學

●校長及職

●入學生の

●在教之六

●迄の者も

●乙二組

●來作文、

●更らに歴

●並に教授

●いふ本月

●算術等日

●毎週一回

●る由る

●將令朝

●氏以上

●安田氏

●商業夜

●舉行せり

●東洋の形

●亞細亞工

●國兵事

●の記する

●は總計五

●三部に分

●殆ど竣工

●橋工事と

●難と着手

●千百哩

●部則ち

●スクより

●だ確定に

●は鳥蘇里

●明言し居

●り四年の

●明治三十

●領事館の

●得より

漢城新報

明治二十八年三月六日... 陰曆丙申十二月六日

前日... 申... 申...

告白

우리우리가... 告白... 告白...

官報抄錄

宮廷錄事... 官報抄錄... 官報抄錄...

行喪忌方丙方... 行喪忌方丙方... 行喪忌方丙方...

各國便宜駐劄兼理使事... 各國便宜駐劄兼理使事... 各國便宜駐劄兼理使事...

以興慶節爲稱... 以興慶節爲稱... 以興慶節爲稱...

正一品金炳始... 正一品金炳始... 正一品金炳始...

出仕有人... 出仕有人... 出仕有人...

出仕有人... 出仕有人... 出仕有人...

此日 八月廿一 上奏 政府參政 憲卿恩愛 念公私私 官諭以

전권공사, 친밀관, 아등을, 임하야 서, 영도아의 집오, 각국의, 전왕을, 피명하야, 불을, 편의, 깨우고, 스스 를, 남리하야, 동씨가, 출강하기전 의인, 군부의, 신을, 임하야다더라

취하자드되, 그명도, 구자한정() 을, 천하의, 공유할, 함으로, 알어 서, 아국은, 소아제아국, 을, 취하고영 국은, 이금부를, 변한다느, 일절은, 저나번의, 오국회제로, 더부러 면의 하얏다더라

곳치, 길호물, 근심하엿도다, 팔우 회, 임혈을, 스랑하미, 삼촌의, 스라 지는것으로, 거울속에, 아미를, 티 하미, 구장이, 쓴것으로도다, 하날 이, 창창하미, 하소간이, 하기에, 하 고, 귀신의, 명명하미, 알의지못하 는도다, 니마음이, 돌아아나, 가 이, 구으르지못하고, 니마음이, 못 처아나니, 가이, 것지못하느도다, 적막한공구에, 누가, 회포를, 위로 하리요, 그림자를, 초빙해, 호강, 이 지못하느한이, 간절하도다, 엿저다 형이, 하날이, 호비를, 빌니스, 군지 강림하시니, 아람답다, 반악에, 선 종이요, 성하다, 조도의, 욕도로다, 순분의의를, 도라보지아니하고, 상 중의모임을, 본받고자하니, 무군의 항실곳치를, 혐의치아니하고, 만 일, 상여의, 종유를, 드리워, 써, 삼 성의, 아람다운인연을, 미지면, 엿 지, 천지의, 미서, 아니리오, 스정 이, 필박하느바에, 염우를, 무를쓰고 감이, 복심을, 퍼노니, 다형이, 덕 음을, 제쳐소서, 하엿더라, 소년의, 본의, 안회를, 스랑하느사람이라, 일죽, 그안회로, 더브러, 명서하되, 방외에, 범선하면, 지아들이라, 써 서, 좀머니에, 내었느지라, 이제, 그 글을보고, 묵묵히성각하되, 편시에 말을, 좃고자하죽, 안회에, 신을, 일어, 버리고, 그말을, 좃지아니

公使 日(十二) 大臣 工部通信 郵通信局 以上一月 官 等(一月) 觀이가

신과, 찬정이 의정부에서, 회의하 얏던그의노인죽, 민문부를, 전권 공사를, 임할 리아, 하더라

●總發機關 인천항의, 주전한다느 말은, 임의, 천호의, 기록, 하얏거니 와, 이제다시, 조제이, 들으니, 경성 女의와, 성년의, 주전도모, 하는자 가, 여덜과인되, 각사당파를, 나루 어서, 혹오륙명드, 되며, 혹십여명 이되야서, 정부의, 청축하야서, 하 가를, 웃고조하기로, 경영하얏고, 그중의, 일과인죽각지부의, 등지하 디, 탁지부, 의논이, 일으되, 지금적 동전, 진느거시, 간절치아니하다하 야서, 담은사화와, 빅통전만지여서, 써, 각각의, 통하느거시, 가하다하 엿스며, 미월에, 상납제의를, 일만 오천원으로, 써정하야서, 지금조치 을, 기다린다더라

부자의말습에, 스름이, 신이업스면 세상에, 서제못하다하엿고, 종스 조의, 말습에, 군조지되, 조단호부 부라하엿스니, 초라리, 청상에게, 원을, 밋칠지연정, 너조에게, 연악 을, 저버리지못하리라하코, 이에, 그봉흔글과, 보닐주호를, 돌려보너 니, 청상이, 또, 오절서를, 지여보너 니, 그글에, 글이, 어더곳, 나귀탄 손이, 소소리, 비를, 띄고온고, 창을 겨하야, 한업은, 스름, 불술, 두세잔 일너라

官 等(一月) 觀이가

이십팔만, 파천구빅팔십일원이요, 數出多가, 오선죽빅, 팔십칠만, 이 빅오십, 일원인되, 티만도의, 용비 인죽, 장창다, 써, 특별이, 회제하야 써, 판단할고도, 회안숙의, 손남하지 아니, 하얏다더라

●總發機關 남서권임순검니국현 서는본대부정, 스름이라, 그서순검, 들의, 도장을, 미양무승일이잇스면, 그 세에, 두고딩기, 는고로, 이권임순검니 모가, 그여러순검에, 도장을, 가지고, 중 노의, 스름본부, 자셈추의, 제말하기를, 여러순검이, 쓴다, 고돈, 여러천금을, 엿 어, 가지고, 도망하엿느디, 지금, 그셈추 는본대, 순검의, 제빗주기를, 만이, 하느 고로, 주었느디, 여러순검들이, 돈쓰느 줄은, 몰나시나, 그도장이, 마작, 는고로 그돈을, 다보급하리라, 하더라

●總發機關 南西권임순검니국현 서는본대부정, 스름이라, 그서순검, 들의, 도장을, 미양무승일이잇스면, 그 세에, 두고딩기, 는고로, 이권임순검니 모가, 그여러순검에, 도장을, 가지고, 중 노의, 스름본부, 자셈추의, 제말하기를, 여러순검이, 쓴다, 고돈, 여러천금을, 엿 어, 가지고, 도망하엿느디, 지금, 그셈추 는본대, 순검의, 제빗주기를, 만이, 하느 고로, 주었느디, 여러순검들이, 돈쓰느 줄은, 몰나시나, 그도장이, 마작, 는고로 그돈을, 다보급하리라, 하더라

官 等(一月) 觀이가

지니, 간, 하십일월, 이십스일, 글의, 글아티, 요트, 일보관방스인이, 덕국 서을, 빅림의, 잇는자, 함고의, 하얏 스되, 일전의, 아국신니고라, 슈공 작이, 아라스, 황제의, 명을, 받들고, 國都京都남야, 의, 는가서, 오국황제 를, 보앗느디, 그스명인죽, 모든강

●總發機關 南西권임순검니국현 서는본대부정, 스름이라, 그서순검, 들의, 도장을, 미양무승일이잇스면, 그 세에, 두고딩기, 는고로, 이권임순검니 모가, 그여러순검에, 도장을, 가지고, 중 노의, 스름본부, 자셈추의, 제말하기를, 여러순검이, 쓴다, 고돈, 여러천금을, 엿 어, 가지고, 도망하엿느디, 지금, 그셈추 는본대, 순검의, 제빗주기를, 만이, 하느 고로, 주었느디, 여러순검들이, 돈쓰느 줄은, 몰나시나, 그도장이, 마작, 는고로 그돈을, 다보급하리라, 하더라

●總發機關 南西권임순검니국현 서는본대부정, 스름이라, 그서순검, 들의, 도장을, 미양무승일이잇스면, 그 세에, 두고딩기, 는고로, 이권임순검니 모가, 그여러순검에, 도장을, 가지고, 중 노의, 스름본부, 자셈추의, 제말하기를, 여러순검이, 쓴다, 고돈, 여러천금을, 엿 어, 가지고, 도망하엿느디, 지금, 그셈추 는본대, 순검의, 제빗주기를, 만이, 하느 고로, 주었느디, 여러순검들이, 돈쓰느 줄은, 몰나시나, 그도장이, 마작, 는고로 그돈을, 다보급하리라, 하더라

官 等(一月) 觀이가

천정, 군, 을, 보앗느디, 그스명인죽, 모든강

●總發機關 南西권임순검니국현 서는본대부정, 스름이라, 그서순검, 들의, 도장을, 미양무승일이잇스면, 그 세에, 두고딩기, 는고로, 이권임순검니 모가, 그여러순검에, 도장을, 가지고, 중 노의, 스름본부, 자셈추의, 제말하기를, 여러순검이, 쓴다, 고돈, 여러천금을, 엿 어, 가지고, 도망하엿느디, 지금, 그셈추 는본대, 순검의, 제빗주기를, 만이, 하느 고로, 주었느디, 여러순검들이, 돈쓰느 줄은, 몰나시나, 그도장이, 마작, 는고로 그돈을, 다보급하리라, 하더라

●總發機關 南西권임순검니국현 서는본대부정, 스름이라, 그서순검, 들의, 도장을, 미양무승일이잇스면, 그 세에, 두고딩기, 는고로, 이권임순검니 모가, 그여러순검에, 도장을, 가지고, 중 노의, 스름본부, 자셈추의, 제말하기를, 여러순검이, 쓴다, 고돈, 여러천금을, 엿 어, 가지고, 도망하엿느디, 지금, 그셈추 는본대, 순검의, 제빗주기를, 만이, 하느 고로, 주었느디, 여러순검들이, 돈쓰느 줄은, 몰나시나, 그도장이, 마작, 는고로 그돈을, 다보급하리라, 하더라

●萬國公法義
凡例

凡例

회 의 (公法會議) 한글을 지엿스나 공

邦國이론 두글자가 비록, 응용하
나, 이 글에, 말한것은, 만승으로
부터, 쟁, 박승지국가지, 다, 열이
라, 청후였고, 만일, 邦이라한것스
, 후우연히, 자주하는, 나라를가
라쳐, 말한것시오 邦論과, 쟁, 하
러나라히, 합하여, 하나라히, 되
것은, 邦으로쎄, 각국을, 일출한자
, 상래가, 된지라

각국의, 정사하는규식이, 불일하
야, 인군의 위를 더되로던하야,
인군의 권이, 무한자라도有하고,
복모를, 더사로연하야, 군권이 無
한자도有하니, 이 두자를, 다, 군주
의나라라, 일이고또 박성들이, 만
가지로, 나라인군을, 칭거하
그인군의, 지위하는현수의 한도.

무릇 군권이 한이 없느냐라 의정부를 설치하 아니호대가 업서스 그대신들이 다 인군의 黜陟을 말미암고 군권이 하 이잇느냐라와 밋민정하는 나라 의 설치하바 국회도 또호 의정 원이라 칭하는 나라

詞藻

夢笑廬記
鹿峯
千葉
昌胤

者。即夢爲龍魚也。貪婪之徒。夢陷穢之富。功名之士。夢霸國之榮。中牛夢。遂化萬物。一喜一憂。一苦一樂。所夢迥異。其爲一夢也。中之人。則均也。安知無醒人之開口掩腹。而笑其偶發。今生亦夢中之人也。以夢中之人。爲夢中之笑。予未解其何笑也。雖然。生之多笑。荀彧之餘。困睡而然者。乃知其所以笑者。延或解。而真笑出也。字句明。而意義通也。還華如雪。而佳話立成也。則生之笑矣。予唯恐不夜々永日繼也。鴉呼生學成行修。而立一夢塲中。寶見生可笑者。則夢發始覺。今之夢災。將變爲醒笑之慶也。姑記以敘之他日。生或以予言。爲痴人說夢乎。亦笑而不問也。中洲三爲穀評曰。鴉弄夢笑兩字於筆舌之間。而南宮廉之傳丸。亦不能及。鴉呼才士哉。修山川北長驅拜曰。此篇文人弄狡猾耳。妖亦可以戒世人矣。余肯時亦在此塲中。而不自悟。今則以醒覺者。鴉呼老矣。回顧一生。做復底事。慙々愧々中。

昨日は一日... 地より巡視... 未だ捕縛されしは...

●租税検査官... 農商工部にて各道各郡の... 租税及び恩給...

●開城近... 本邦人の遭難... 突如として...

●十二月末現在戸口表... 右の人口と原籍府縣を區別すれば左の如し...

●十二月末現在戸口表... 表の如し(京城日本警察署調査)...

●十二月末現在戸口表... 表の如し(京城日本警察署調査)...

●十二月末現在戸口表... 表の如し(京城日本警察署調査)...

●十二月末現在戸口表... 表の如し(京城日本警察署調査)...

●十二月末現在戸口表... 表の如し(京城日本警察署調査)...

●十二月末現在戸口表... 表の如し(京城日本警察署調査)...

●十二月末現在戸口表... 表の如し(京城日本警察署調査)...

●十二月末現在戸口表... 表の如し(京城日本警察署調査)...

●十二月末現在戸口表... 表の如し(京城日本警察署調査)...

●十二月末現在戸口表... 表の如し(京城日本警察署調査)...

●十二月末現在戸口表... 表の如し(京城日本警察署調査)...

●十二月末現在戸口表... 表の如し(京城日本警察署調査)...

●十二月末現在戸口表... 表の如し(京城日本警察署調査)...

●十二月末現在戸口表... 表の如し(京城日本警察署調査)...

●十二月末現在戸口表... 表の如し(京城日本警察署調査)...

●十二月末現在戸口表... 表の如し(京城日本警察署調査)...

●十二月末現在戸口表... 表の如し(京城日本警察署調査)...

●十二月末現在戸口表... 表の如し(京城日本警察署調査)...

●十二月末現在戸口表... 表の如し(京城日本警察署調査)...

●十二月末現在戸口表... 表の如し(京城日本警察署調査)...

●十二月末現在戸口表... 表の如し(京城日本警察署調査)...

●十二月末現在戸口表... 表の如し(京城日本警察署調査)...

●十二月末現在戸口表... 表の如し(京城日本警察署調査)...

●十二月末現在戸口表... 表の如し(京城日本警察署調査)...

●十二月末現在戸口表... 表の如し(京城日本警察署調査)...

●十二月末現在戸口表... 表の如し(京城日本警察署調査)...

●謹慎の意を表す... 皇太后陛下の崩御に付臣民の分として哀痛謹愼の意を表する...

特別廣告... 居留民一般...

居留民一般... 居留民一般...

居留民一般... 居留民一般...

居留民一般... 居留民一般...

居留民一般... 居留民一般...

各 位... 宮崎佳太郎... 一等領事加藤増雄...



日本郵船會社 瀛船仁川廣告

越後丸 一月十四日 午後四時出帆
馬關 神戶行

仙臺丸 長崎 香港行
一月十六日 出帆

兵庫丸 釜山 馬關 神戶行
一月十八日 出帆

長門丸 長崎 釜山 元山 浦項 釜山 神戶行
一月十九日 出帆

伏木丸 馬關 神戶行
一月十九日 出帆

駿河丸 入港 釜山 馬關 神戶行
一月十九日 出帆

肥後丸 釜山 神戶 馬關 神戶行
一月十九日 出帆

玄海丸 芝罘行
一月十九日 出帆

日本郵船會社 仁川支店

信濃丸 一月十三日 入港 同十四日出港
釜山 馬關 神戶 大阪行

舞子丸 一月十五日 入港 同十七日出港
釜山 馬關 神戶 大阪行

南越丸 釜山 馬關 神戶 大阪行

川荷客取扱所
大阪商船會社
釜山 馬關 神戶 大阪行

御旅神戶屋
朝鮮仁川各居留地
第一貳拾六號地

上等 金壹圓
中等 金七拾錢
下等 金五拾錢
下宿 金五圓

第一等 壹圓
第二等 七拾錢
第三等 五拾錢
下等 三十五錢

田原旅館

謹賀新年
簿記學自宅獨習生募集

英漢數學
大阪實業學館

天然痘發生ノ徵有之ニ付毎日午前
第九時ヨリ十二時迄本院内ニ於テ種痘ヲ施行ス

紛失廣告
一歐文堂座小切手

第一銀行京城出張所
新刊發賣

朝鮮王國
總論 地理部
會部 社會部
歷史部

廣告
第五十八國立銀行ノ續行ツテ公告
一月一日ヨリ株式會社第五十八銀行ニ增加仕リ候テ從前ノ營業ヲ承繼ス且ツ確實ニ銀行全般ノ業務ヲ經營被成下候テ續續申込被成下候

營業科
一定期預金
一當座預金
一貸附金
一割引手形
一代金取立

東京 大阪 福岡 釜山
以上
株式會社 第七

謹賀新年
洋服調進

JAPANESE COAL DEALER
本大等壹唐津石

溫飽蕎麥玉
卸賣大勉強
壹錢

漢城新報

明治二十八年三月六日... 大日本神武天皇即位紀元二千五百五十七年

한글원시... 皇太子殿下

告

우라 무리가 스 품을, 머금고, 국 상종의, 잇스미, 신자의, 분의에

官報抄錄

●官廷錄事... 議 奏即接江原道判判所稟請及漢城裁判所

備依昨例國葬費十萬元

支那總督外支出以當及期取用恐好故 議上 奏建陽二年一月十三日奉 旨依奏

官報抄錄

●官廷錄事... 議 奏即接江原道判判所稟請及漢城裁判所

雜報

의, 기지한, 선비들이, 지를을유며, 서자용을, 들기를, 청하는지, 심하

을유며, 지, 심히 히일스이 거번의, 되, 서로 아래와, 군현은 티, 미양 하고, 巡幸 천하이니 라, 향하 배수, 에, 바다 료선이, 원이하가 십스리, 선아후쳐 요, 그맛 다그아, 일본신호 조노, 청 요, 제승 원손, 와, 동궁 청국상히 조노, 청 제철조 간아요, 국스이일 서, 養民 다, 씨비 의도, 피 교라더라 가, 심히 일전으로부 더서로교번소의서씨리 스며, 그 지의용골등 긴요한거리의비설하고 순검무사으로하야금번갈어가며 잔다더라△천향의서의국어학교 와지교를지느간심알스부터기하하

하든, 것서고, 또그하느는, 글아디, 학습원인, 皇族과, 家臣사제를, 온전이가, 라치 는, 거실너다

皇太子전하 서 어리실씨의, 일 죽이, 또한 스번느가서, 학습원의, 취학사성이라, 회원의, 비호느, 글 이, 세가지느, 느왔스니, 글아디, 大學 學堂요, 글아디, 中學校요, 글아디, 大學 學堂이, 그뒤에 과인족, 제국대학으로, 더부러, 그 度각, 더강가트느, 그러 느, 그 政務의, 방국의, 교제하느, 법, 비호느, 말하미읍섯더니, 그 일의, 院로「위독마」공작이, 일노 써하되, 가의 添加치, 아니치, 못하리 라하고, 이의, 전공교수를, 임하고, 승년을한가야, 서양의, 파송하셔 하야금, 의, 歷史를, 전공하야서 그귀조함의, 기다려서, 하야금, 學 院講堂의, 하느, 국제법과, 다못의 교수를, 온전이, 강할교, 라더라

●敎授日語 清國소보에 하셔되 총리아문 館에서각국언어와문자 를가라쳐의하느되호느일본언어 비호느것슨답다더니근일일본서나 라형세가날마다성하고항구의부두 가날노열니교장사의리가날노성하

미장창교섭을사무가반닷사다른나 라버덤만후지라하셔총리아문의 여라고고등교들이성각이아에밋쳐서 일본말비호기에급급하느근일에총 리아문동편에싸출사서학교를짓고 일본교사를정하느일본말과문자를 비혼다하더라

●銀行倒閉 아메리가주합중국西部 의서지정이우필결하느그곳은형 을폐지하자 심히만흔데그중에두은 형소가잇스나그것도임의자진하엿 다하더라

●藥物補腦 인천항경무서의서 일전으로부 더서로교번소의서씨리 스며, 그 지의용골등 긴요한거리의비설하고 순검무사으로하야금번갈어가며 잔다더라△천향의서의국어학교 와지교를지느간심알스부터기하하

하든, 것서고, 또그하느는, 글아디, 학습원인, 皇族과, 家臣사제를, 온전이가, 라치 는, 거실너다

皇太子전하 서 어리실씨의, 일 죽이, 또한 스번느가서, 학습원의, 취학사성이라, 회원의, 비호느, 글 이, 세가지느, 느왔스니, 글아디, 大學 學堂요, 글아디, 中學校요, 글아디, 大學 學堂이, 그뒤에 과인족, 제국대학으로, 더부러, 그 度각, 더강가트느, 그러 느, 그 政務의, 방국의, 교제하느, 법, 비호느, 말하미읍섯더니, 그 일의, 院로「위독마」공작이, 일노 써하되, 가의 添加치, 아니치, 못하리 라하고, 이의, 전공교수를, 임하고, 승년을한가야, 서양의, 파송하셔 하야금, 의, 歷史를, 전공하야서 그귀조함의, 기다려서, 하야금, 學 院講堂의, 하느, 국제법과, 다못의 교수를, 온전이, 강할교, 라더라

●敎授日語 清國소보에 하셔되 총리아문 館에서각국언어와문자 를가라쳐의하느되호느일본언어 비호느것슨답다더니근일일본서나 라형세가날마다성하고항구의부두 가날노열니교장사의리가날노성하

미장창교섭을사무가반닷사다른나 라버덤만후지라하셔총리아문의 여라고고등교들이성각이아에밋쳐서 일본말비호기에급급하느근일에총 리아문동편에싸출사서학교를짓고 일본교사를정하느일본말과문자를 비혼다하더라

●銀行倒閉 아메리가주합중국西部 의서지정이우필결하느그곳은형 을폐지하자 심히만흔데그중에두은 형소가잇스나그것도임의자진하엿 다하더라

●藥物補腦 인천항경무서의서 일전으로부 더서로교번소의서씨리 스며, 그 지의용골등 긴요한거리의비설하고 순검무사으로하야금번갈어가며 잔다더라△천향의서의국어학교 와지교를지느간심알스부터기하하

야는데교스는일본사름의「암나후 티랑씨」가하얏느되동씨「가평일」의독 신하고 續學한지라일노써학도를 訓練 하니학도들이「마연」항중하야충하고 신출선박가만크 學課인즉일이학교 절례를모바더셔학도가 다 營業하기 를근고하게하야서임의 능하얏느바 의정통하다더라

●新聞事實 전호에, 금지현, 오세 창씨의, 피하연단, 말은, 추후, 자서 히드르죽, 조곰도실상이, 음은헛말 이니, 근일동설아, 참만더라

婦冤死害貞男

(三)

소년이, 그글을보고, 또, 답하지아 나하니, 청상이, 위연한말, 죄를, 하 늘에, 어뎃스니, 하느이, 망쳐하셔 고, 업슈이노이를, 사름에게, 보앗 스니, 스람이, 브리미라, 한번, 죽을 슈박게, 다른드리, 업다하고, 인하 야, 병드러, 누으니라, 명은, 소년, 주인의노을을, 하직하고, 그을떠느후 청상의병이, 점점침중하와 죽을 지경에, 일의미, 그부되, 죽을가, 두 러위하와, 주야의약에, 골몰하니, 청상이, 울며, 고하야, 글은, 소년 의병이, 출체, 잇스오니, 비록, 편자 의, 의원과, 신동씨의 약이며, 판의 의점이 잇셔도, 엇지출길 업스오 나, 부절업서, 노력상심치, 마르소 서하거늘, 부되, 지삼, 그곡절을, 무 르되, 청상이, 부득이하와, 전후스 를, 낫낫치, 고하니, 부되, 울어, 글 은, 네, 에느 어그였스나, 그스이, 불상한지라, 엇지참아, 안드셔, 그 죽으믈, 보리요하고, 죽시, 영문예, 드러가, 감스에게, 비이고, 그늘의, 전후정세를, 세하이, 알외니, 감시, 그아들불너, 그언어를, 말하고, 과연, 그러한일이, 잇고업스믈무르 테, 하답하야, 글은, 과연, 그일이, 잇느니이다, 감시, 쓰지저알, 엇지, 그말을, 좇지아나하얏느다, 소년

이, 문득, 잠어니로서, 그안하와, 명 서한글을, 되드러면, 고하야, 글 은, 이언약이, 잇느고로, 그말을, 좇지아나하얏느이다하거늘, 감시, 크게부지저알, 너의흔비, 참, 지조 사이로다, 부하지간에, 일사회담이 무어시장부의, 평형형스에, 관계 흔비, 잇스리오, 조곰도, 마음예, 머 무르지말고, 맞당이, 속히, 가, 그, 가금가련한, 정을, 위로하라, 소년 이, 맞충되, 듣지아나하니, 감시, 티 로하와, 쓰지저알 너의, 형스와, 소 결이, 저러하니, 엇지능히, 문무간 에, 공명이되와, 가정을, 보전하리 요, 되집이, 망하리로다하더라, 그 후, 청상이, 인하야, 원을먹음고, 죽 은지라, 소년이, 평성, 평안하느일 은, 미하이, 마를지여, 되일이업 고, 과거보기를, 헛느나, 한번도, 맞 치지, 못하느지라, 심중에, 고이히, 녀이더니, 감시를, 당하와, 장중에, 드러가, 문필을, 극히, 치성하와, 볼 시, 시관이, 맞춤, 청상에서, 비회하

더니, 한, 서상이, 글장을, 가지고, 드러와, 방철즈음에, 출연, 소복하녀 지, 공중에, 서서, 머병을, 기우려, 글장을, 더러이고, 인하야, 간디, 업 거늘, 시관이, 크게, 고이히너와, 그 글장, 봉지를, 떼이고 일하을, 보나, 고인의, 아들이라, 파장을, 파후후, 집에, 도라와, 그소년을, 츠즈, 지넌 바를, 말하고, 일너글은, 그뒤, 반 다시, 평상에, 원을, 제천계집이, 잇 서, 이러릇, 마를, 지으니, 비록, 만 번파거를, 보아도, 필경, 맞쳐지못 하고, 한가, 정년만, 하비하리나, 다 시, 과거볼성가를, 두지말나하니, 소년이, 그말을듣고, 크게, 뒤웃쳐 하나, 맞쳐지못하리라 인하야, 과거를, 폐후가산여, 점점랑피하고, 처 지, 구물하니, 일선이, 의탁할곳이, 업서, 신을, 삼으며, 저리를, 쳐, 잔 명을, 보존하다가, 필경, 주려죽으 므, 면치못하니, 상부원혼아, 지극 후독하더라

報

●大體整理 道이 미국의 서역령

으로 하여... 소교하는... 파가 소등... 아을나야... 법을청하... 섬의교하... 위원을파... 파송할위... 기등부명... 하기를어... 음을출출... 이글을도... 덤종안에... 원의그릇... 어치아니... 서로맛나... ●國學取士 성균관, 학도, 육십여

명중의서... 시험을어... 시험에... 아리와가... ●經學 王野訓 黃圭孫 尹谷求 盧鳳藻 以上六十五分

申有善 吳煥日 以上六十四分 李啓學 六十三分 蔡編儀 六十三分 ●法部官話 법부지선, 도병식씨가

의신임명... 임의위지... 의논도... 간섭이... 권씨가... 스진도... 차이나... 도, 사... 관코저... 위, 국... 설에... 도, 장... 하다가... ●高等裁判 京上도, 비안군수,

김용제씨... 일도, 자... 京上도, 비안군수, 김용제씨

일도, 자... 京上도, 비안군수, 김용제씨

집회의서... 말은, 임의... 가지, 미... 유전만... 관으로... 알에, 또... 성에, 고... 죄로, 지... 의, 뒤... 로, 훈... 사하... ●案發錄聞 京上도, 비안군수,

모가, 그... 부윤의... 석을, 도... 아서, 창... 에, 덩... 홀, 본... 니의말... 다하거... 면서, 이... 즉, 덩... 의게말... 하게, 하... ●陳貞女遺囑 京上도, 비안군수,

니, 천... 금나히... 총면하... 의, 스... 영이란... 아, 들... 기기, 를... 로써, 청... 의, 구... 런, 하... 몸가지... 하기를... 루한되... 거술조... 술, 들... 비록하... 구고의... 구고의...

구고의... 구고의... 구고의...

구고의... 구고의... 구고의...

병이잇스... 를, 그... 이하야... 를하야... 겁하며... 승하다... 니, 위... 가, 빠... 식을, ... 니, 하... 라, 하... 스니, ... 못할줄... 아티, ... 성이, ... 성으로... 니, 그... 설하야... 종신도... 이, 세... 도, 그... 음스니... 다, 청... 지아니... 람다운... 게, 하... 이, 근... 을도다... 맛은자... 아러서... ●鄧氏遺囑 京上도, 비안군수,

으로세... 작년송... 부로, ... 독천근... 고추슈... 야서, ... 표지르... 써유천... 설, 유... 도사... 다라△... 스니그...

으로세... 작년송... 부로, ... 독천근... 고추슈... 야서, ... 표지르... 써유천... 설, 유... 도사... 다라△... 스니그...

으로세... 작년송... 부로, ... 독천근... 고추슈... 야서, ... 표지르... 써유천... 설, 유... 도사... 다라△... 스니그...

으로세... 작년송... 부로, ... 독천근... 고추슈... 야서, ... 표지르... 써유천... 설, 유... 도사... 다라△... 스니그...

萬國公法義

第一篇 論公法源流邦國權位

第二章 論公法紀綱

邦國之交際有通所以理之人民之權利有通例以
衛之出於理而見於事邦國願以聯絡人民恃以相
安是爲公法

이 법을 知(知)고, 이 법을 認(認)함은
형(刑)이 別(別)이 있스니, 다(多)의 徒(徒)와 和(和)
고, 형(刑)치 아니함은, 있셔도, 읍(邑)은
것과, 갓(恰)스니, 오직 認(認)하야, 비로
소, 능(能)하신 卒(卒)하고, 힘써 行(行)하느니
공(公)법(法)의 三(三)은 三(三)연(連), 비록, 各(各)國(國)交(交)接(接)을
유(有)장한 것(事)은, 인(人)하야, 뒤(뒤)의, 卒(卒)
이 있스니, 다(多)의 公(公)법(法)이라, 實(實)은 바
자(自)는, 典(典)外(外)로, 必(必)常(常)을, 숨(숨)으느, 그

러는 그 법을 삼고하면, 또한 이
에 틀지 아니 함이요, 사람의權利
가 본디, 어느바자를 인하여, 공
법斷定한디, 도라가지, 아니함이,
업는연고, 라갈씨가, 글아디, 박
국에, 임의, 法律이, 있어서, 법성을
다시리는 것은, 通行之例가, 응당
서, 交涉事宜를, 함이, 이케일
은바, 공법이, 되져, 사람의, 본
디잇는바, 원리가, 有化之國에, 이
서, 各, 各의, 하야, 保護치, 아니함이
음는거시, 本身體得自由와, 같고, 미
敬事天을, 우리, 權이, 다공법의
함이라

認公法與否非聽各國自便蓋邦國之說原以人性爲本豈可推諉而不行仁義哉

만일 고법(高法)일이 되, 다방(多防)의
감심(監心)고, 일을 복하는 것을, 힘(力)으로
從否를, 각자(各者)自便한 것만들은, 條約
條約(條約)외의, 다必行(必行)한, 責이, 必
타이오, 公條約(公條約)明文(明文)이, 있더라도
또한必遵(必遵)할 責이, 必를 타이라 공(公)법
을, 가히 좃지 아니, 하지 못할 것은
、다自然(自然)한, 理의, 인(人)한, 公法(公法)
라, 西曆(西曆)일천팔백일십팔년의, 條約
오디국(奧國)의, 艾克司(艾克司)의서, 公約(公約)을, 條約
의(義)에서, 이예문(義文)서, 公法(公法)을 숨가
는, 조(條約)조(條約)를, 제(條約)외의, 公法(公法)의, 우의
公法(公法)이라, 지금(條約)公法(公法)변(條約)변(條約)인(條約)인(條約)약(條約)을
의(義)는, 되, 고루(條約)公法(公法)으로, 서(條約)本(條約)本(條約)
습(條約)어서, 무(條約)릇(條約)피(條約)차(條約)의, 交際(條約)事務(條約)事務의
후(條約)他(條約)國(條約)往來(條約)往來로, 더부러, 公法(公法)당(條約)당의
條約(條約)條約(條約)하야, 違約(條約)違約(條約)을, 못(條約)하(條約)게(條約)하(條約)야, 公
은, 公法(公法)으로, 하(條約)야, 公法(公法)永(條約)享(條約)享(條約)平(條約)平(條約)等(條約)等(條約)의, 하
야, 條約(條約)條約(條約)條約(條約)하(條約)하(條約)는, 條約(條約)條約(條約)條約(條約)을, 면(條約)케(條約)하(條約)야

各國之交誼漸厚視天下如一家此心愈誠則公法之理愈廣公法之權愈重蓋公法之有權者賴人之心服也

有化之國既莫不贊仁義之心自曾推此心施於天下
是以公法之消惟賴教化寔盛之國以行之

교회 의 뜻 서 임 의 義性 한 디 잇 스
즉 교회 의 돌흔 거 시 반 다 시 교
법 의 出 하 는 지 라 다 귀 공 법 은 주
性 법 이 라 그 런 고 로 교회 가 우 승 을
한 나 라 의 든 반 다 시 맞 당 아 조 성
을 期 行 하 야 기 護 하 는 나 라

公法造出於泰西，孝教譜而始行於西方，然不獨
於西方亦不混於西教。蓋公法主乎人性，宜於人而
與佛法蓋無涉。處始元創述則精各國立法家暨學者
大旨，揭蓋公法不分於教，無論東教西教，傳教釋教，
均目爲一體，而毫無歧視也。

公法雖出於歐洲而歐洲諸國不能私之蓋萬國共之也

공법의, 흥한거시 「羅國」 田耳
二葉의, 그공호가, 낮한함이니, 다
의, 이죽아, 분하여, 제邦의, 되
앗시니, 공법이, 행함의, 토하여, 는
「일본과, 청국과, 토이기, 등」라
이, 또한가치로하얏더라

人跡所至莫不有公法在蓋莫不有權利焉然公法
不惟於邦國自主之權無損且爲保障而維持之
만일 그 序를, 논한즉, 先은 방곡이,
잇고, 後는, 공법이, 잇슬지라, 次
음의, 各國사름이, 惟知有己而自立爲
ियो, 다른나라사름, 보기를, 仇讐
갓치, 할새아닐너니, 그후의, 教化
日(舊)始知萬民同爲(一)家而以友誼相待矣

(第一章未完)

月照冰魂雪欲勻。梅花開在一帶春。近來只恨
羅浮夢。莫復貪人愛美人。

新橋流水去深宵。愛見村梅不負時。暗處着花
惹曉雪。一林春隔北窗攔。翠羽不來
映綺羅。雪爲誰寄。微笑詩人瘦。翠羽不來
春若夢。返魂香在或裝枝。
斷雲處。去來深宵。春入孤山果幾時。雪頭梅花
難辨得。東風一色隔溪枝。

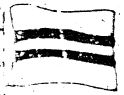
居留民總代役場

從三位勳三等 中村 元

從三位勳三等 中村 元

超以下五名は何れも罪を免れて今尚ほ未決中

道地方へ



日本郵船株式會社
汽船仁川廣告

越後丸 一月一日 午後四時出帆

仙臺丸 一月一日 午後四時出帆

兵庫丸 一月一日 午後四時出帆

長門丸 一月一日 午後四時出帆

伏木丸 一月一日 午後四時出帆

駿河丸 一月一日 午後四時出帆

肥後丸 一月一日 午後四時出帆

玄海丸 一月一日 午後四時出帆

日本郵船株式會社 仁川支店

信濃丸 一月一日 午後四時出帆

舞子丸 一月一日 午後四時出帆

南越丸 一月一日 午後四時出帆

大坂市東區 大坂實業學館

川荷客取扱所

大坂市東區 大坂實業學館

大坂市東區 大坂實業學館

大坂市東區 大坂實業學館

大坂市東區 大坂實業學館

大坂市東區 大坂實業學館

大坂市東區 大坂實業學館

大坂市東區 大坂實業學館

大坂市東區 大坂實業學館

大坂市東區 大坂實業學館

大坂市東區 大坂實業學館

大坂市東區 大坂實業學館

大坂市東區 大坂實業學館

大坂市東區 大坂實業學館

大坂市東區 大坂實業學館

一上等 壹圓
一中等 七十錢
一下等 五十錢
外下等 三十五錢

田原旅館

簿記學自宅獨習生募集

簿記部

英漢數學

部速記

會社

大阪實業學館

天然痘

種痘

漢城病院

新着廣告

カル、ス煎餅

飯たこさくら煮

肴入ふき日本煮

福神漬

新刊發賣

朝鮮王國

總論

地理部

社會部

歷史部

發行人

日吉町四番地

民友社

溫飽蕎麥玉

卸賣大勉強

壹錢

廣告

一定期預金

一當座預金

一貨附金

一代引手形

一割取立

一爲替取組

東京 大阪 橫濱 釜山

以上

明治三十年一月

株式會社第五

京

洋服

大日本

等壹唐津石

京坂泥親

着荷銃

日本村田式銃

屬附銃

溫飽蕎麥玉

卸賣大勉強

壹錢

壹錢

壹錢

壹錢

壹錢

壹錢

壹錢

富抄錄

●勅令 開國五百四年度第八拾壹號 勅令
中務務使以下服制은 左가 改正添入事 (一)
月十四日第七號) 第一條 常衣表에 左開古
第一美는 添附事 第二條 夏衣表에 左開古
第二美는 添附事 第三條 警務使以下常條
裝은 左開을 第三와 가 常衣表之次에 添
入事 第四條 警務官常相表樣章欄內에 伯
近衛警務官用裝號 九字와 總巡常相表欄內에
但近衛總巡用黃 八字는 添入事

第一表
吊式
惡機
地質
機耕絨
釣草
李花鋼鉤
袖草
不仰根
左右各五個
長六寸一分
長止兩端開大口

目四拾六號官立公立小學校教員俸給의 條

蘇武妻主管副尉李承幹父憂를丁憂지復

॥ ॐ नमो भगवते वासुदेवाय ॥

야, 드되여써, 죽음으로, 아리소니

모라가니 영복이 드노하오오

小
說

모라가니, 영의대, 의로왕, 임하, 서행이 드른채, 이, 호, 구를

佛蘭西國

雜報

● 水權關係
각일의, 법상 도씨가
스직상소를, 니엿다논뒤, 그근안
죽, 아모고문표이, 한전법부, 포박
된, 날노써, 헐는하야, 좌중의, 연설
하야, 글아뒤, 그씨가 장구하게, 입
하는, 니가법부를, 스하는, 양단간
의, 재판동정, 다하야셔, 도씨가,
그런교로, 일전부터, 법부의는, 근무
하고, 고등지하소의는, 근무를, 아
니하다가, 자지일의, 일으려셔, 파
연스직소를, 올것다하니, 우리는, 그
진위를, 아지못하는, 씨일의, 판계
할, 바이, 지덕한교로, 아직중설을,
의지하야, 기록음

● 又上勅疏 玆 작일의 엇던사름이
잇서셔, 박닌부를, 탄소하였다니,
이란희한자는, 전일의, 여러번, 탄
희한자로, 더부더, 다 이, 한때를, 일
우어, 괴여 이, 박닌부를, 체임한, 연
후의, 굶치고자 한다더라

●馳使解縛 許敬武公、李龜健州、포박할날도, 별순미, 진천군으로, 내려가다,는말은, 남의전보의, 을냈거니와, 전한법가, 임의방면이, 되고, 나서도반드시, 그상경하기를, 기다려서, 모든방면이, 될고로, 스스로를, 파송하여, 진천으로, 쫓차가서, 그니씨의, 조박하는날을, 정지하얏다니, 아직조설을, 의지하여, 기록하노라

●老臣下獄

馳使解譯하였다. 일수는 겨우 그리록 하
여 맛치 았다. 니츠연이 또 괴별을 들으
니 갈아 디지는 고심 일전 경무스니
종건씨 가 잡히 셔 올노을노와 셔검
무청으로 들어 갔다. 니경무청으로 복
타고 등지 판소크이 송하 았다. 더라

郡守下獄 저작일호 오 의 웃던사
 름이와서전호 나난티문으로붓터스
 교호는이드려서경무청으로알호하
 야가난티그뒤에별순검이사오명의
 짜라가거날그구를잡아가난거셔
 무른니티답호야말아티지금할일구

슈라 일으나 그성명도아지못하코무
순죄로잡피여서오난지모른다하더
라

●獨立機關
관입법을 일일이 철학도
다리지작일에서문밖동암관에모이
여서로의논의알으니법부관리
故을출업임으로종슈치아니하고익
의지인을쓰니삼이법이아나라우리
무리난불가불訴冤을게교가있다하
더라

이 만은 고로, 지나간, 십삼일에, 버
정을, 삼고, 부에, 모집을, 앓다, 더라
● 痿痺染病 무릇 천하, 방국의, 쯤
속이 각々, 달녀서, 다 자연히, 나

는것이니, 날노써, 저를, 웃지말지
라, 동방의, 예노, 남녀가, 저리를
갓치 아니하고, 옷설, 했디의, 갓치
거지, 아니하니, 웃지감히, 몸을서
로, 부듯치리요, 서인의, 남녀가, 이
속히, 아는자는 서로만는면, 반다시
接吻하는,례를, 행하니, 接吻이라, 호

는 거슨, 곧 속담의, 親愛라, 西人으로
보기는, 母親愛한 거서, 이 게 아니면,
능히, 그 說을, 보지 못한다 하느니 만
조션사 음이, 이런 거동, 있스죽, 들
네고, 짓거리지 아니 할, 을 서서,
변괴로, 녀기는, 그러하느, 이례는,
담은, 서의 만행하고, 동의는, 형치
못하느, 이 거슨, 義와 利가, 싸는 원바
이라, 이례를, 인하여서, 병을 일으
차, 가, 있스니, 또 한 가 하, 한 심
도다, 미국 「칼동팔스주」의, 一羣熱
이 있어서, 전염이, 심히 쉬워서, 만
연하기를, 심히 나쁜지라, 그 까의, 生
生 蜀夷의, 防疫法을, 방문을, 생각하
서, 일으되, 이 병 전염하는 거서, 한
사람의, 말미암아, 백의 연, 公, 백
의 말미암아, 천의 연하여서, 맛참
가히, 셀 수가, 읊스니 그 시작은, 다
남녀 接觸을 난의, 말미암아, 는 거
라, 그러는, 또 하로, 앞참의, 법을 배
푸려, 금지하면, 接觸을, 줄치, 아니
할 줄 아니라, 제가 반다시, 능치 못할
거시오, 또 인성의 어귀 여질, 거시오

만일 그 뒤로, 接續하게를, 일한후
그병이, 전염하는, 것식, 可切바를,
아지못할지라, 함몰며, 남녀의, 情慾
을, 잡되게하면, 더욱막기, 어려워
서, 오히리지, 못할지라, 하여서, 한
善法을, 상각하여서, 簡難하는, 要目
을, 지여서, 後接續한후의, 이물노,
양치질, 하고, 입술을, 닦으면, 其의
가히, 전염하는, 병을, 면할지라, 의
논하는지, 가, 일으되, 본디, 천하고,
소량한거스로, 써, 接吻하는, 곳치되,
이예, 不信으로, 써, 양치질하니, 出爾反
爾가, 례의, 일년거서, 심하다, 其앞서
나, 接續된, 아와, 노이, 도한후, 두하
도다

○開導事錄要記
 〓 濟州府志卷之四
 유세하는 규척을 배푸려서, 향
 인이 노로백을 건너면, 민명의 선
 가바든, 의예, 철전석, 징세를 더바
 드니, 이 유세, 하는 것은 해도 지방의
 군향을, 하게 하고, 민전의, 각가감
 독, 한명씩 두니, 그 감독한지가, 문
 서 몇천금으로써, 지방의 대장파, 및
 관찰사의게, 청하여서, 써히락을, 맞
 고, 또 징세입슈, 몇천금을, 문서작
 성후, 이에 가히, 수세할야서, 그
 문서받친, 돈을, 충슈하기로, 작정
 하였더니, 서울스는, 전규환, 이란
 사람이, 녹도감독을, 하여가지고,
 회도의, 가서, 위선그 녹진의, 감독
 을, 파는고로, 지령사람, 丁明燾이가
 범심년독월, 심오일의, 돈이 천양
 으로써, 반년세금을, 정하야, 문서받
 치고, 하구되, 진의감독을, 하야서,
 슈세하기를, 녹월십오일노, 부터철
 월십팔일까지, 한달쯤되야, 해주사
 를, 김치조가, 도감독, 전규환을, 압
 세하고, 녹진감독을, 모다사퇴하니
 정명섭이도, 사퇴하는중, 참예한
 지라, 인하야 스스로하되, 누가임의
 제의를, 선임하고, 슈세는, 한달의
 지되지 못하야, 사퇴를, 맞냈으니,
 웃지원동처 아니하리오, 불가불그
 선남이돈을, 추며하리라하고, 진씨
 와, 감씨, 두곳의, 가서, 그 돈을, 되라

한 다, 하 더
지, 못 하 고
방 더, 더 대
쥬 지, 아, 아

邦國設立法
法與之無礙
爲正也

예전의
세아
있섯더
이 되
海盜로
이거슨

동방
禁止外
한다
일체로
萬國利害攸
盟約以定通
歲而定亦不

萬國既無新法惟賴教化
下也

가나하
田 가나하
가마하
하양하
고 하하
구 하하
한하하
하하하하
하하하하
會議以定禮
宗國會議
夏陽中務
諸君이시라

九三三

었사니,
 그가 불그
 고, 진씨
 을, 나라
 邦國會議가, 두가지가, 잇스니, 國君
 親臨王國하는것시, 한가지요, 遣使會
 臨하는거시, 두가지라, 그국군니
 , 친림하는자는, 팔아득, 君主會니

邦國會議가 두가지가 잇스니、國王
親臨主臨하는것시、하가지요、遣使會
臨하는거시、두가지라、그국군니
、천립하는자는、팔아되、君主會니

솔씨가 일으되, 방국의 종속이
 꾀를 통용하니, 공법이, 또한 설의의
 꾀한다. 하교(敎)씨가 이르되, 무
 료通行한느, 절녀가, 만일, 열차의

古^レヤ^レタ^レニ^レ農^ノ商^ノ工^ノ師^ノ匠^ノ所^ノ用^ノ에^レ서^レ인^ノ爲^ノ可^レ되^ス
 리^ニ蜀^ノ選^ノ練^ノ帶^ノ邊^ノ에^レ諸^ノ君^ノ은^レ社^ノ設^ノ價^ノ一^ノ兩^ノ一^ノ百^ノ二^ノ錢^ノ
 五^ノ分^ノ과^レ選^ノ稅^ノ七^ノ錢^ノ五^ノ分^ノ을^レ예^ノ은^レ先^ノ給^ノ으로^レ
 보^노니^니시^日면^日日^日에^レ보^노니^니음^음

古^レヤ^レタ^レニ^レ農^ノ商^ノ工^ノ師^ノ匠^ノ所^ノ用^ノ에^レ서^レ인^ノ爲^ノ可^レ되^ス
 리^ニ蜀^ノ選^ノ練^ノ帶^ノ邊^ノ에^レ諸^ノ君^ノ은^レ社^ノ設^ノ價^ノ一^ノ兩^ノ一^ノ百^ノ二^ノ錢^ノ
 五^ノ分^ノ과^レ選^ノ稅^ノ七^ノ錢^ノ五^ノ分^ノ을^レ예^ノ은^レ先^ノ給^ノ으로^レ
 보^노니^니시^日면^日日^日에^レ보^노니^니음^음

...the ... of ...



日本郵船株式會社
船名 仁川丸
廣告

越後丸
一月一日 午後四時出帆
船長 香澤行

仙臺丸
一月一日 出帆
船長 香澤行

兵庫丸
一月一日 出帆
船長 香澤行

長門丸
一月一日 出帆
船長 香澤行

伏木丸
一月一日 出帆
船長 香澤行

駿河丸
一月一日 出帆
船長 香澤行

肥後丸
一月一日 出帆
船長 香澤行

玄海丸
一月一日 出帆
船長 香澤行

日本郵船株式會社 仁川支店
大坂商船株式會社 仁川支店

信濃丸
一月一日 出帆
船長 香澤行

舞子丸
一月一日 出帆
船長 香澤行

南越丸
一月一日 出帆
船長 香澤行

大坂商船株式會社 仁川支店
船名 仁川丸
廣告



朝鮮仁川各國旅館
館名 神戶屋
第一貳拾六號地

上等 金壹圓
中等 金七拾錢
下等 金五拾錢
下宿 金拾錢

一等 壹圓
二等 七十錢
三等 五十錢
下等 三十五錢

簿記學自宅獨習生募集
簿記部
英、漢、數、學、外、文、學
部、速、記、部

大阪實業學館
館主 土井 善吉

新着廣告
東京カル、ス煎餅
飯たこくら煮

漢城病院
施主 土井 善吉

新刊發賣
朝鮮王國

總論地理部
會部

發行所 民友社

廣告
第五十八回立銀行
營業科

一定 期預金
一當 座預金
一貸 附金
一割 引手形
一代 金取立

東京 大阪 釜山
長崎 福岡
以上

日本村
新式銃

壹錢

告

五十八銀行... 資本金... 總額... 利息... 手續...

業科目

- 一別段預金
一當座預金
一當座貸越
一送金
一荷爲替
一取組先
一橫濱
一釜山

合社第五十八銀行

京城支店

石丸鹿太郎

津石炭販賣所

太村健夫支店

和泉商會
護漢履
長履
西洋服各種

豆錢八面

第貳回月歌集

兼題 冬月 祈禱
寄切本月三十日限
會員 剪中

紙捲煙草 十本入 吸口付
ピーコック 金四錢
右入敬品切中ノ送本日新着仕候

東流新行
中山高帽子
中打帽子
鳥折帽子
中大帽子
大軍帽子
海軍帽子
學校帽子
小供帽子
新着帽子
毛メリヤス
サルマタ

御披露

茶碗むし
小田卷むし
歌哉句そは
稻荷うんば
うんば
善哉
御調子

勉強 教を升けし風味はナカク
御譽に預る程には出來

升るがハンの熱ひが取得に去て
風呂の足へり道に一寸一盃

内より御暖りあれと熱釜
けふ 君が蕎麥

廣告

一日本紡績木綿
一朝鮮人士腰帶

右品ニ朝鮮各諸君... 泥硯四拾貳號...

大日本岡山縣兒嶋郡秀天村
市 泥硯大塚
慶房居

高田平次郎

銘酒販賣廣告

一菊正宗 一春駒
一金露 一文明
一澤龜

其他醬油類各種

右ハ是マデ營業能ハ候處各位ノ御愛顧ヲ蒙リ
日ナ増シ繁榮ニ赴キ候段種有奉深謝候就テニ

但御便宜ニ依リ各酒類ノ切手ニ差出可申候
京城羅洞 佐藤酒店

◎浪花藥齒磨一手販賣

一煉齒磨 一大罐入

一玉子形 一函入

●浪花藥齒磨の良否々第三回内國
勸業博覽會の賞狀及び諸君

●今般製造本舖と特約あり極て廉價
と以つて 卸小賣仕候間多少ノ均はら

御求りの上益々御評判の程願上候
泥硯 曾我商店

新開定價
一 貳錢 貳錢 貳錢
三 貳錢 貳錢 貳錢

廣告
發行所 漢城新報社

發行所 漢城新報社
朝鮮京城漢南會安坊路福安

宣報少錄

奉旨監製
南都監製督依已例開鑄事
崇禎監製老
付官參事李達永前主事申昌仕
下之寶鑑上
大清乾隆二年一月十七日奉

▲任智陵奉事 和陵奉事 金源性 ▲任義陵奉事 李象魁 ▲任懷遠奉事 李元

이 증좌하고, 한주권을 달고 한신
스되, 百戰事須臾, 且安採西廬, 이라

국악의 본
라니 망
조항, 유

다 보 가
에 의 로
크 자 강
고 하 앙
로 양 자
차 함 창
이 토 창
로 된 일
한 것 간
의 한 에
정 판

[illegible]

자서이름지하니
합열군슈
이

나라에 암천교수(暗天敎授)로
군민인 니아모에(尼亞摩俄)를
가르치니

피박이 되었다. 그러

구진말을, 전영서로, 소호호제
호익수가 하우중행을지나, 영하

[illegible]

사작의 성을 올고, 성부로 도라다만 단
흔과 누려가, 십자가 집안 안을

오년스월의, 야롱잔과가, 설조각,
낫다하니, 이게다야생, 혼알아라

잡음의을노다네, 육월일이잇섯다

나려 올 듯 가 보냐고 은사를 준다

나, 슬뿌다, 별성의
느, 굿치리요

詞藻

與米溪老詩伯 顧孝 十韻
米溪老詞伯。下日秋遊叙。而賤謫朱倉。臥床呻吟。惶悚祈命。強登臺額。叨賦二首。慙無奈斯。

痛勒氣。言不如意。況殊我。難于詞。更難發。敢
違陳子後說。詩云他山之石可以攻玉。幸不
比焉。竊叩節答。幸甚。莫大焉。

米溪老詞伯所愛梅花之贊

叩還傾聽。得意先生讀易聲。
楚々香風送月明。珠簾半捲坐三更。何來遙
見美人影。林下時聞鶯一聲。

米溪曰。我嘗忘之伴梅花一二株。今也臨
開。使我翹翹清香。惟與高人清玩爲歸。

耳忽驚有賊羊曰猶未也

社告

○ 國鐵線沿道諸君の社報價一兩二錢
○ 又 農商工部衙門에서 이認可된
○ 又 官廳에서 이認可된

五分과 遞稅七錢五分을 세 은 先給으로
보내시면 日田에 보지옵

느긋치리요

1990

米溪老詞伯。下日秋趨。而發恙未愈。臥床呻吟。惶悚祈命。益甚。謂。切氣二首。惟無奈。斯病動氣。言不如意。況珠璣于。而。病。臨于。後。詩云。他山之石。可以攻玉。幸不。此。加。幸甚。莫大焉。

花影橫斜籠雪界。滿庭幽月明更。到門不
叩還傾聽。得意先生讀易聲。

米溪曰。我嘗念之伴梅花一二株。今也盛開。使我難耐清香。惟在吳商人弄瓦爲婦耳。忽焉有鹿豕所類命題以讀之。整夜爲竟梅花之增色設一段。

社
告

上
卷
五

今日本社報云、地方諸報諸君、如便利하고
 爲後하야當時時用이므로爲送送하야
 方야하야 爲工部用하야 이爲하야
 이爲送送沿道에 諸君이 社報一報二報
 五分과 選稅七兩五分을 이爲하야 先給으로
 爲하야 爲하야 爲하야 爲하야 爲하야

決氏は此
しに日清條約は、
...

●我小學校の
...

●我小學校の
...

●我小學校の
...

●我小學校の
...

●我小學校の
...

●我小學校の
...

●我小學校の
...

●我小學校の
...

●我小學校の
...

●我小學校の
...

●我小學校の
...

●我小學校の
...

●我小學校の
...

●我小學校の
...

●我小學校の
...

●我小學校の
...

●我小學校の
...

●我小學校の
...

井にオー
...

●我小學校の
...

●我小學校の
...

●我小學校の
...

●我小學校の
...

●我小學校の
...

●我小學校の
...

●我小學校の
...

●我小學校の
...

●我小學校の
...

●我小學校の
...

●我小學校の
...

●我小學校の
...

●我小學校の
...

●我小學校の
...

●我小學校の
...

●我小學校の
...

●我小學校の
...

●我小學校の
...

●京城輸出入月報

Table with 4 columns: 品名 (Goods Name), 数量 (Quantity), 金額 (Amount), 備考 (Remarks). Rows include various goods like rice, oil, and other commodities.

Table with 4 columns: 品名 (Goods Name), 数量 (Quantity), 金額 (Amount), 備考 (Remarks). Rows include various goods like rice, oil, and other commodities.

●我小學校の
...

●我小學校の
...

告

日公告任... 候通リ明治三十年... 第五十八銀行... 資本金ナ壹百萬圓... 業務ナ相營ミ可申...

業科目

- 一別段預金
一當座預金
一當座貸越
一送金
一荷爲替

取組先

橫濱 神戶 赤間關
釜山 仁川 名古屋

會社第五十八銀行
京城支店

石丸鹿太郎
京 城 力 武 商 會

津石炭販賣所
木村健夫支店

銃銃銃銃
附 屬
和 泉 護 漢 履
商 會 西 洋 服 各 種 子

品
壹錢八厘
壹錢六厘
岩 源

一大極上精白米
大勉強
平岡米店

第貳回月歌集
寄切本月二十日限
調豐會

紙捲草 十本人 級一付
ピーコック 金四錢
右入敷品切中ノ處本日新着仕候

泥 龜 屋

着新子帽形新行流京東
中山高帽子
鳥打帽子
中折帽子
大黑帽子
海軍帽子
學供帽子
小メリヤス
毛メリヤス
サルマタ
店商屋龜 覬泥城京

御披露
茶碗むし
小田卷むし
歌哉句そは
稻荷うどん
うどんそは
善哉
御調子

勉強 御譽 風味
風呂の運へり道一盃
熱ひがき

君が蕎麥

日本新續水經
朝鮮人土腰帶
右品ニ朝鮮各地方... 泥覬太家

慶房居
高川

牛儀在後之四七日ノ見... 古 城 梅 溪

辱知諸公

廣 告

丸倉第八支店
解雇廣告
福山伊兵衛

浪花藥齒磨一手販賣
煉齒磨 一大罐入
一玉子形 一函入

卸小賣仕候御多少ノ拘はらず
卸 會 我 商店

發行所 漢城新報社

告白

官報抄錄

進香圖

報 案

[illegible]

雜報

● 雜報 ● 自前次... 自前次... 自前次...

● 自前次... 自前次... 自前次...

● 自前次... 自前次... 自前次...

● 自前次... 自前次... 自前次...

● 自前次... 自前次... 自前次...

● 自前次... 自前次... 自前次...

● 自前次... 自前次... 自前次...

● 自前次... 自前次... 自前次...

● 自前次... 自前次... 自前次...

● 自前次... 自前次... 自前次...

● 自前次... 自前次... 自前次...

● 自前次... 自前次... 自前次...

● 自前次... 自前次... 自前次...

● 自前次... 自前次... 自前次...

● 自前次... 自前次... 自前次...

● 自前次... 自前次... 自前次...

● 自前次... 自前次... 自前次...

● 自前次... 自前次... 自前次...

● 自前次... 自前次... 自前次...

● 自前次... 自前次... 自前次...

● 自前次... 自前次... 自前次...

● 自前次... 自前次... 自前次...

萬國公法義

第二章 論公法所轄者

公法所轄者乃邦國也

무릇 나라의 이름과, 같은지라, 법률, 안하야, 말하면, 이름이, 배...

서는 법도의 공법이, 있는 나라

인정에, 정령이, 서로, 다름이, 아...

나라

국민변에, 임명관을, 사하고, 추장...

라

는

바

라

는

바

라

는

바

라

는

바

라

는

바

라

는

바

라

는

바

라

는

바

라

는

바

라

는

바

라

는

바

라

는

바

라

는

바

라

는

바

라

는

바

라

는

바

라

는

바

一 병
 國服
 하야 모든 나 이 난호야 서
 피츠 왕 나호드로 공법이 나
 나 공법은 구 모든 나 람 보 호

族之人聚居一方語言文字雜同而無通行法記
者按公法不得謂之爲國如有知人放陵陷抑他國
亦可代爲辟明公法之義從中干預以爲保護

社
告

湖濱瑣錄

이요 條數及回數로 處치 せん

슬덜맞고 此廣告復선도금。

●外國公使館の敬吊

を過ぐるときは三四錢或は四五錢を投じて行
くと云ふ

親也へか見故かゆきの夜兩人 終四橋月
●和歌も 延喜會吟咏歌は次襲に覆る



日本郵船株式會社 瀛船仁川廣告

越後丸 一月一日 午後四時出帆

仙臺丸 一月一日 出帆

兵庫丸 一月一日 出帆

長門丸 一月一日 出帆

伏木丸 一月一日 出帆

駿河丸 一月一日 出帆

肥後丸 一月一日 出帆

玄海丸 一月一日 出帆

日本郵船株式會社 仁川支店

大坂商船株式會社 仁川支店

舞子丸 一月一日 出帆

信濃丸 一月一日 出帆

南越丸 一月一日 出帆

大坂商船株式會社 仁川支店

仁川荷客取扱所

朝鮮仁川各區居留地

神戶屋

上等 金壹圓

中等 金七拾錢

下等 金五拾錢

下宿 金拾貳圓

仁川各區居留地

仁川各區居留地

仁川各區居留地

漢城新報社謹啓

一等 壹圓
二等 七十錢
三等 五十錢
外下等 三十五錢
京畿泥鰌 田原旅館

第拾三會正風集

題梅黃鳥餘寒

豐秋園瑞穗宗匠樂撰

寄限 二月五日

賞與 天位漢城新報一ヶ月分地位賞花三組

詠草 居處雅興及通稱ノ明記ヲ乞フ

投込所 正風會

天然痘 發生ノ徵有之ニ付毎日午前

種痘

漢城病院

新着廣告

飯なこさくら煮

肴入ふき日本煮

福神漬

泥鰌 龜屋商店

朝鮮王國

總論地理部

會部

領要錄

發行所

日吉町四番地

民友社

廣告

第五十八國立銀行ノ儲蓄ヲ公告仕
一月一日より株式會社第五十八銀行
増加仕テ銀行全額ノ業務ヲ承繼シ
且ク確實ニ銀行全額ノ業務ヲ承繼シ
成下蒙ラシテ儲蓄申込被成下候

營業科

一定期預金

一當座預金

一貨附金

一割引手形

一代金取立

爲替取組

東京 大阪 橫濱 釜山

長崎 福岡

以上

株式會社第五

明治三十年一月

京

洋服製造所

本等壹唐津石

着 鈺

廣 鈺

告 鈺

溫飽蕎麥玉

卸賣大勉強

壹錢

壹錢

告

日ソ公告仕リ置候通明治三十年
五七八銀行ト稱資本金ヲ壹百萬圓
業ヲ承繼シ一層便利ヲ相謀リ懇切
ニ務メ相營ミ可申間萬ニ倍シ御賢顧
成下度候

業科目

- 一別段預金
- 一當座預金
- 一當座貸越
- 一送金 (電信送金共)
- 一荷爲替
- 一取組先

横濱 神戶 赤間關
釜山 仁川 名古屋

會社 第五十八銀行

京城支店

所

京 石丸鹿太郎

品種々御小賣

津石炭販賣所

京城泥塊 木村健夫支店

獵

銃銃銃銃
銃 附 和 護 漢 履
屬 泉 長 履
商 西 洋 服 各 種
會 帽 子

品

壹錢八厘 壹錢六厘 岩源

廣告

一大極上精白米 大勉強 平岡米店

第貳回 月和歌集
兼題 冬月 新題
寄切本月三十日限
漢城新報社謹 謳豐會

議會開會中一時歸朝ス
山田 俊次
內藤 直

紙捲煙草 十本入 吸口付
ビーコック 金四錢
右久敷品切中ノ感新着仕候
泥 龜屋

着新子帽形新行流京東
中山高帽子 中山打帽子 中山折帽子 大軍帽子 海軍帽子 小學帽子 小供帽子 毛メリヤス サルマタ
店商屋龜 岨泥城京

御披露

茶碗 小田卷 歌謡 稻荷 善哉 御調子
此外面着いろく
右と左より開業仕升たれ就て之精一杯
勉強 御譽 風味 出來 熱 御 風呂 熱釜 御暖

南山湯の呉り道 君が蕎麥

日本紡績木綿 朝鮮人土腰帶
右品ニ朝鮮各諸君ニ從便ニ御用ス
泥硯四拾貳號地大家尼坊ノ御入
仁恩堂ヨリ御用ス
右品ニ朝鮮各諸君ニ從便ニ御用ス
右品ニ朝鮮各諸君ニ從便ニ御用ス
右品ニ朝鮮各諸君ニ從便ニ御用ス

麿房居 高田平次郎

生誕佳節三十四日ノ見込ヲ以テ一時歸朝致ス
就テハ拜禮ノ爲メ參上仕ル可キ旨ノ趣旨便ノ
都合ニテ本日突然出發欠禮ノ段ハ不意御了承
被下度向不在中本院ノ監督ヲ小竹一等重警ニ
屬托シ病者ノ治療取扱候間此段併セテ御通告
申上候也
實化醫院主

尋知諸公 古城梅溪

廣告

弊店義部合ニヨリ當分休業仕テ候間御用向ノ
諸士ハ廣嶋中島本町丸倉本店へ御照會被下度
此段廣告仕候也
京 城

丸倉第八支店 解雇廣告 福山伊兵衛

一月二十日 丸倉第八支店
浪花藥齒磨一手販賣
煉齒磨 一函入
一玉子形 一函入

●浪花藥齒磨の良否を第三回内國
勸業博覽會の賞狀及び需要
諸君の御實驗より明かすに敢て贅言せず
●今段製造本舖を特約せし極で廉價
と以つて 卸小賣仕候間多少の物は
御求りの上益々御評判の程に
泥 曾我商店

發行所 漢城新報社
發行所 漢城新報社
發行所 漢城新報社
發行所 漢城新報社
發行所 漢城新報社

附 錄 一

日曜表	
陰曆	陽曆
廿二日	廿三日
初一日	廿四日
廿九日	卅一日
	初一日
	十五日
	十七日

라환가

● 山山記
인위군, 방스인, 함고
의, 하얏시되, 수원과, 양성과, 밋본
군의, 큰보, 일 끝곳시, 잇스니, 전봇
터, 허지방, 이 민들이, 서로그 보를,
슈축하여서, 써 농스의, 유익하게,
하는싸하라, 십년전의, 이보의, 슈
세하는, 절래, 잇더니, 후를써가,
경기도, 어스, 하얏실씨의, 그슈세를
, 허파하얏신, 인민의, 송성이자
스, 더니, 지금또, 그보의, 슈세하
기로, 작정하여서, 그일끝곳보의, 물
티는, 전토는, 미, 두낙의, 한양식,
징제, 하는고도, 허기백성들이, 자
못기우지, 아니하야, 한다더라

呂高기를
 리기로 유명하던, 장승업이가, 수이
 전에, 세상을, 이별하였다는니,

젓도다

●廣州風物 仁鏡과 주성도의 백성들이 성안에 수목을 모다 잘 벌하되 광주부윤이 금단하되 못하야니 하거늘 부윤이 관리를 시거나 무버하는 곳에 가서 헛충을 노흐며 금단하게 하엿되니 그 백성들이 서로 모혀의 논하되 우리가 모다 이영문관속으로 관록만 바라고 살다가 갑오이후로 우리 등이 모다 구실이 떠러지고 농사 할 수도 업고 장사 및 천도업도 업도니 나물도 버히지 못하게 하니 치운동절에 죽기는 일반이니 각기 장작 할 못식가지고 모혀서 가부를 결말하자 하되 부윤이 할 일 업서나 무버하든 명령을 하엿다더라

●偷兒入室 再時日、中語曲撥、佳

호, 崔主簿라, 호는, 집에서, 舍廳을, 開
鎖하고, 出入하느니, 盜賊이 白晝에, 越牆
而入하야, 汁物을, 盡取하야, 갔다, 하

더라

無何翁問答

(二)

무하오이, 글이되, 디리의 말이, 생
이, 힘하야 스름의, 회복을, 전히 디
리에, 부치고고로 상수를, 달하져,
엄하기전에, 몬져, 산디를, 말하미,
비비이, 잇스니, 그, 과연, 그러하
나, 그러치, 아니하나, 네가, 및지
못하노라, 오유조, 글이되, 천, 디
인, 삼지느, 할, 리쳐라, 임의, 천리
잇슨죽, 반다시, 디리잇고, 임의
디리잇슨죽, 인리, 잇느니, 잇지
디리의, 잇고, 업스물, 의심하리
요, 무하오이, 글이되, 나, 비록, 지극
히, 어리석으나, 잊지, 글이되, 디리
업다하리요, 마단, 디리의, 말하미, 나
이제, 그디를, 위하요, 말하리라
하날의, 조에, 알니고, 따이, 죽에,
알니고, 스름의, 인의, 낫스니, 되저
날, 일나 제형하고, 달은, 밤에, 현하
미, 디위를, 당하미, 달고, 처위를, 당
하면, 처우미, 비, 비, 을, 제에, 비, 오고,
별, 달, 제에, 별치, 나니, 비록, 대의

의귀함이므로 그 도를 변치 못

고 비록 노예의 천, 함으로 노고
절을 못치지 못하며, 비록, 금, 혹은
금지 아니하며, 비록, 속하나, 속지
아니한야, 지극히, 공변되고, 스스
- 업스문, 하물, 리치요, 돌면, 산
이, 되고, 나즈면, 들이, 되어, 파리,
하면, 초목의, 무성치, 아니하고, 거
를, 진즉, 비물이, 농성하야, 공을, 실
으면, 공이 나고, 배를, 심으면, 배가
나며, 씨아, 산을, 하되, 원망치, 아
니하고, 파서, 우물을, 하되, 노야하
지, 아니하며, 왕도를, 밟하되, 밟가
하지, 아니하고, 뵈성의, 가하되, 스
평하지 아니한야, 지극히, 공변되고
스스- 업스문, 사, 리치요, 군의,
신공하며, 부조, 조효하고, 함, 사
공하며, 부화, 부순하고, 군조는, 화
성을, 다스리고, 소인은, 오스, 스름을
섬겨, 정애, 어그미, 업고, 배에, 함
함마, 잇는거슨, 스름애, 리라하느
파, 사와, 스름애, 세가지, 리를, 순하
면, 복을, 누리코, 하느파, 사, 스름
애, 세가지, 리를, 거스르즉, 양화를,
바드미, 소연하야, 가히, 알지라, 이
제, 그덕, 리치의, 잇는복을, 구하
지 아니하고, 다만, 회복을, 리라하
부치니, 그러홀즉, 디리가 제일이,
되고, 천리와, 인리는, 다, 허스가,
딜야, 길흔, 독을, 어더, 장스하면, 조
손이, 부귀하며, 변언하고, 흉흔, 사
을, 어더, 장스하면, 조손이, 빈천하
야, 멸망하느니, 오유조- 글이더,
그러하다, 열일을, 낫낫치, 들어, 말
하거, 어려오니, 청컨디, 군대의 열
노, 말하리라, 조정, 제상, 김씨의, 선
조를, 따디애, 장스흔, 고로명물거
영이, 되기로, 이어나, 잇지, 산을
이, 조손애, 밋치미, 아니리오, 무하
유이, 리이디, 그러치, 아니하다, 김
씨의, 서씨의, 창성하야, 부귀하느
빈, 또한, 산의, 음이, 아니라, 그, 선
조의, 두백년, 음덕을, 칭하되, 음은

雜報

●大衆用費 長官 드른즉日本 國太母陛下の大衆用費は三十萬元以上いよ 五十萬元以下と又出資の量に一定を定めて

●國會議員 日本國會議員、 지난달、 북 國太母陛下의 謁見을 심을 禮하여 비 로스(賓客)할、 11월 12日、 북터 十八日에 至한、 七日스아는、 會議을 殿하고、 禮儀를 守를 지극히 하야、 十九 日되는 날에、 비로스(再議)를 開한다云云더라

大衆登程

축교를 받들고 일본 가셔 문도 하라 난니 하영씨가 어제 출성하야 길에 올 나 제물로 보려 화륜선 선터 호를 타 고 일본으로 드러갈 계교라더라

國太公族

어제 은근히 이월이 십일이인데 국태공명하하라 하마 다아 날을 당하면 뒤 군주 폐하께 오서 처사 를 파송하야 군후하더니 금년에 도 음달상간된 뒤 또 그 전례를 좇아서 행하였실 듯하더라

上院定例

이심하만하시나 그 상소하는 사람을 이다 자과 문피노 상소를 짓고 쓰서 받 치는 자가 얼마 남고 모다 다른 사람의 문필을 빌리거나 지고 상소하기를 조하 하는 사담으로 그런 폐역을 막고 저하 여석로 상소하는 규칙을 명하되 상소 가들이 오거 두면 서원방이 바다가 지 고 그 상소하는 사람을 내려서 그 사람의 로 하여금 그 상소를 읽으라 하고 쓰라 하야 서자 작자를 명하거, 든 뒤 군주 폐하께 바치고 만일 그 상소하는 사람이 차운차필이면 퇴각하기를 하엿 다더라

國會議員

●國會議員 長官과 議員은 國會議員은 다른 회교와 달나서 그 회 비와 금식과 공제하더니 수일 전 에 졸업상와 그 남은 스물은 장차 삼사월간 다시 회지할라 하되

공채할 명비가 부족하여 국호아 장차 폐할 지경이라 하나 우리는 미 지아나 노라

獄囚得放

李鍾健씨 放免이 된 것은 임의의 전보에 그 지하였으나 그 兇은 放免이 아니라 所謂 保釋이 오지금 드른즉 李氏가 再捕에 放 免을 얻어 出獄하였고 그날 갖치 兇犯 兇犯은 大隊長徐廷基씨 요니 군용씨 捕獲 犯된 자 한의 석과 및 병정에 노을사 과 김산음 두 사람이 다라

轉機美談

부튼길 상관이로 원동한일이 있어서 을을 나와서 궁 뒤 부에 소장을 명크저 한즉 광화문의 서들이 저아니 하미 할 일임시 궁 뒤 부의 신의 본력으로 차자 가서 그 문밖게 등되 하엿다가 뒤 신 사견하러 나오느길에 노영코저 하되 니그 뒤 문안으로 서사료교하나 하나 오느 뒤 위의가 거룩하지라 그 벽상을 이 궁 뒤의 신인 줄 알고 사료교하를 못 들고 소장들을 냈더니 하인들이 부지 조며 나가라 하되 그 벽상들이 원동한 사상을 말하며 중서물 나가자 하니 하 니 하인들이 신의 말을 하야서 그 벽 상들을 경무령으로 가두었다 니 궁 뒤의 신의 서 류후로 그 벽상들을 원동 한 사기를 알고 다시 경무령에 등고 하 여서 그 사람을 다방면한 후에 그 소 원으로 혼령하여 죽었는 뒤 그 벽사를 교인 중궁 뒤 부의 신의 부인인데 그 벽 상들이 신의 교자로 알고 소지를 받 드라하다가 경무령까지 구경하고 필 경일은 잘 되었스나 그 사를 하하 소치로 남여간 다는 교인을 부변치 못 하고로 세상에 서 우습거리가 되었더 라

富翁下獄

●富翁下獄 立例에 屬하는 李根義氏 가 昨春秋에 警務廳에 갓첫다가 겨우 放身하였, 단, 말은 本例에 記在하였 거니와 今例에 또 드른즉 同氏가 數 日前에 捕獲을 受하였는 뒤, 아지, 무 스, 일노, 그리 되었는 지, 저서이, 안 연후에 다시 피륙하나 노라

脫租租稅

●脫租租稅 忠誠道인더 하고 을을

가該郡에 租稅五百元을 지고 上京할 제길 에서 一人을 만나同行하 다가 兇을 무 르즉 張某라中路의 無人之境을 當하야 그 張某가 官錄의 가 진 五百元을 奪取하야 거늘 그 官錄가 警務廳에 와서 말하야 張某 의 去就를 報知하 다하더라

萬國公法義

按公法義會不得謂之爲國然教會與邦國特有交涉之事而邦國與之會議不啻兩國者往々有之 教會라 하거시, 무엇신고하나 갖치 한교를, 받드느저, 한사회 를, 일은거술, 알으되, 교회라하 느니, 부처와, 노종에, 모든교는, 교회, 있지아나하되, 오죽 야 소교 이고, 구주에, 羅馬教라, 하느저잇 스니, 또 한, 야 소교의, 일파라, 그 교도들이, 聖典을, 세워, 뒤되로, 상급하야, 주창하니, 세상에서, 일은거를, 羅馬法이라하야, 구주, 중교에, 열국이나마교, 법왕 의, 위엄과, 권제, 보기를, 가장, 중하거하야, 열국의 임금이, 다, 공구하며, 부부하야, 오죽, 교회의 명을 좇치니, 아득을 당하야, 열 국스이에, 만일, 서로 다투오미, 이스 주, 뒤지, 교회의, 제결하를, 어더, 다투나인, 교회를, 먼저하고 방 국을, 뒤에 하미오, 이제, 공법인 주그러치아나하야, 전혀, 교왕 의, 위권을, 병하하지아나하나, 이 는, 방국을, 먼저하고, 교회를, 뒤 에 하미라, 비록, 그러하나, 인하 야, 교회의, 권, 이스를, 認하고, 더브러, 立約을, 보기를, 오히려 방국이기로, 그러하미라

各國之官臣能秉公法而行者以爲現代邦國與他國性來也

만일, 구주, 인의, 그위를 일코, 公使오하러, 그職을, 銜한지언주, 능히, 이義로, 서, 뒤접지아나하 나라

邦國非因公法而設但既已成立即領公法維繫之若總則立爲國長治安公法即許之而不追其既

이, 스 두, 다, 모, 도, 엿, 스, 다, 를, 스, 리, 법, 을, 미, 라, 立國之後, 至應否, 英國, 能, 히, 제, 우, 의, 마, 정, 스, 고, 의, 임, 의, 가, 하, 물, 조, 공, 법, 의, 무, 로, 소, 비, 반, 국, 이, 로, 서, 모, 를, 스, 스, 소, 고, 하, 나, 국, 이, 나, 라, 는, 자, 에, 미, 립, 의, 아, 지, 아, 고, 남, 를, 비, 모, 로, 랫, 고, 사

모로니체 5. 10. 요. 9. 1. 몬저. 아

을극을 열었고, 슈년전에 고평도

頸聯叙病容。復變脫俗逼雅。坡仙所製因循

玄武石記
鹿峯
手葉
昌胤
千登

鹿峯望漁師曰。領孫描病勢。乃辭還无弗慳。

人の道に

州にては該 上五圓三十號 (元) 新嘉坡法に...

●我小學校の「覽會出品」 當地ある我小學校より本邦長...

●漢城銀行の創立 今般金宗漢氏頭取とて...

●當國商人會所と設けんとす 仁川の當國商人は此種...

●官金と振替 忠清道某都ては此頃其郡の租税金五...

●新年の景況 例年開き来りたる新年祝賀會は名刺交換...

●元山通信 一月十一日 仁川川丸便 會は名刺交換...

●帆船の遭難 當地ある夏目商店の所有帆船船昇神丸は...

●釜山雜記 釜山港海關にては此種釜頭に見張所を...

●釜山港南の海岸に推積しありし積米は 釜山港南の海岸に推積しありし積米は...

●釜山港南の海岸に推積しありし積米は 釜山港南の海岸に推積しありし積米は...

●用船航海期の改正

Table with shipping schedules for various destinations including 釜山, 仁川, and 大邱. Columns include ship name, departure date, and agent.

Table with shipping schedules for various destinations including 釜山, 仁川, and 大邱. Columns include ship name, departure date, and agent.

Table with shipping schedules for various destinations including 釜山, 仁川, and 大邱. Columns include ship name, departure date, and agent.

Table with shipping schedules for various destinations including 釜山, 仁川, and 大邱. Columns include ship name, departure date, and agent.

Table with shipping schedules for various destinations including 釜山, 仁川, and 大邱. Columns include ship name, departure date, and agent.

Table with shipping schedules for various destinations including 釜山, 仁川, and 大邱. Columns include ship name, departure date, and agent.

Table with shipping schedules for various destinations including 釜山, 仁川, and 大邱. Columns include ship name, departure date, and agent.

Table with shipping schedules for various destinations including 釜山, 仁川, and 大邱. Columns include ship name, departure date, and agent.

●五 續

Table with shipping schedules for various destinations including 釜山, 仁川, and 大邱. Columns include ship name, departure date, and agent.

Table with shipping schedules for various destinations including 釜山, 仁川, and 大邱. Columns include ship name, departure date, and agent.

Table with shipping schedules for various destinations including 釜山, 仁川, and 大邱. Columns include ship name, departure date, and agent.

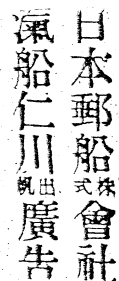
Table with shipping schedules for various destinations including 釜山, 仁川, and 大邱. Columns include ship name, departure date, and agent.

Table with shipping schedules for various destinations including 釜山, 仁川, and 大邱. Columns include ship name, departure date, and agent.

Table with shipping schedules for various destinations including 釜山, 仁川, and 大邱. Columns include ship name, departure date, and agent.

Table with shipping schedules for various destinations including 釜山, 仁川, and 大邱. Columns include ship name, departure date, and agent.

Table with shipping schedules for various destinations including 釜山, 仁川, and 大邱. Columns include ship name, departure date, and agent.



釜山 照三 神戸 大阪行

築銘從來營 館在候處各位ノ御底座ヲ
 愛ノ日ヨ月ニ繁榮仕候哉奉深謝儀隨テ
 今致客室其他 百事改良ヲ施シ御待遇ハ
 申スニ及バ 御料理等モ衛生上注意ニ
 注意ヲ加ヘ 中浴場ノ如キハ一層意ニ
 注ギ又メ宿治科ニ至ツテハ精々低廉ナ
 旨トシ概チ一ノ三等ニ區分スト云ヘル
 尚ホ如何様ニモ御相致仕候間何卒置
 替シ陸續御入宿ノ程奉願上候

上等 金壹圓
 中等 金七拾錢
 下等 金五拾錢
 下宿 金五圓
 金拾貳圓

館室内御坐見ノ上御相談ニ應ス

神戶屋
 第貳拾六號地

明治仁川各國居留地

小名義ヲ以ツテ全庭ニ於テ國業仕候間信三

明治三十年一月二十四日

泥親弟拾貳番地銀壹萬圓

四方諸君

榮四朗君、德富健一郎君序 菊池謙三著

朝鮮王國

●四六版大凡六百頁●定價五拾錢●郵稅八錢

目
○白頭の背系、白頭の西南系
○六太江
○中原
○三面
○附録
社

錄
會立
儒教
社會
歷史
都城
村落
佛

要 近世史 大統君時代 (上 下)

十一日の憂も、日露協定、東亞に於ける
胡蝶以上

發行所
東京市京橋區
日吉町四番地
民友社

廣
告

第五十八國立銀行ノ發賣ツテ公告仕
一月一日ヨリ株式會社第五十八銀行
ニ増加仕テ候テ從前ノ營業ヲ承擔シ
且ツ確實ニ銀行全致ノ業務ヲ相營ミ
被成下候テ陸續御申込被成下度候

營業科

一定期預金 二別

一當座預金

一貸附金一當

一割引手形

一代金取立

東京
大反
黃寶

東京 大隈
長崎 福岡
釜山 朴治

以上

株式會社第五

明治三十年一月

三三三

江月堂主人

Figure 1. The effect of the concentration of the *Agrobacterium* suspension on the transformation efficiency of *Agrobacterium* strains. The concentration of the *Agrobacterium* suspension was 10⁶ cells/ml (A), 10⁷ cells/ml (B), 10⁸ cells/ml (C), and 10⁹ cells/ml (D). The transformation efficiency was determined by the number of white calli formed on the medium. The data are the mean \pm SD of three independent experiments.

日
等壹
唐
津
石

京 城 泥 規

獵 獵

銃

銃

西洋新式銃

附 銃 連 二 元

着
日本村田式銃
罽

廣

告
品

溫飽蕎麥玉
五拾玉以下
壹錢

卸賣大勉強 五拾玉以上 壹錢

恐れ多くも 皇太后陛下 崩御を嘆き

雲の巻は出る月夜に郭公
雲隠れ我う猶嘆し影と聲

第二中隊兵營にて
北越 須藤 菊之助

告

テ公告仕リ置キ申通リ明治三十年
十八銀行ト稱シ本金ヲ壹百萬圓
ニ承繼シ一層御利ヲ相謀リ懇切
ニ相營ミ可申候一書ニ添シ御覽願
下度候

科目

- 一別段預金
- 一當座預金
- 一當座貸越
- 一送金 (電信送金共)
- 一荷爲替

取組先
濱 神戶 赤間關
山 仁川 名古屋

社第五十八銀行
京 城 支 店

所
五丸鹿太郎

津石炭販賣所
木村健夫支店

品
附 屬
和 泉 商 會
護 漢 履
長 履
西 洋 服 各 種
帽 子

壹錢八厘
壹錢六厘
廣 告
岩 源

一大極上白米
大勉強
平岡米店

第貳回月報和歌集
寄切本月三十日限
新 慈
漢城新報社謹
謳豐會

議會開會中一時歸朝ス
山 田 俊 次
内 藤 直 次

紙捲煙草 十本入 吸口付
ピーコック 金四錢
右入敬品切中ノ最新着仕美
泥 觀 龜 屋

東京流行新行
中山高帽子
中山打帽子
中折帽子
大黑帽子
大軍帽子
海軍帽子
小學帽子
小供帽子
新子帽子
着新子帽子

毛メリヤス
サルマタ

店商屋龜 岷泥城京

御披露
茶碗
小田卷
歌哉句
稻荷う
うどん
善哉
御調子

勉強 致三升餅
御譽 致三升餅
風呂 致三升餅
御暖 致三升餅
君 致三升餅

日本紡績本編
朝鮮人土腰帶
右品ニ朝鮮各諸君
尼現四拾貳號大系
ニ四方諸君多
を先買

慶房居
高田平太

生儀住三四十番ノ見込
部合ニテ本日突然
下度前不在中本
獨托シ有者ヲ治
申上候也

馬匹拂下廣告
拾貳頭
馬 拾貳頭

馬 拾貳頭
馬 拾貳頭

浪花藥齒磨一手販賣
煉齒磨 一大罐入
一玉子形 一函入
勸業博覽會の賞狀及び
今般製造本舖と特約
と以つて卸小賣仕
卸求りの上益々御
泥 觀 曾 我 商店

第一大隊

發行所 漢城新報

로, 잔
고, 남
니, 가
서 반
승, 전
적장,
박식
의도
서로
루빅,
장군이
야치
구원
적죽
신
가, 바
섯다,
대이
개찰
●叛民
반한
대이
●通成
●通成
은, 바
租稅外
그들
고, 한
하, 하
든지,
을, 바
지고,
로, 의
더라
●度四
되산
고중
삼이

十五日 十七日

남전, 오	●叛民氣喪	西報에, 일으되, 珍巴島
이미,	반흔군수가, 병기와, 양식을, 이여,	
●說도, 하	티이지, 못하, 군수의, 귀운이, 크	
잘모라	게찰하야, 처치, 못한다하더라	
그라이양	●通成聲援	麻尼拉, 신문에 馬德里,
가지로	訪事人이, 각의, 이십삼일에, 편지로,	
이요, 그	고하였스되, 덕국, 대우에서, 미국,	
있고, 銀貨	대우령에게, 통찰하야, 글으되, 일	
는지, 가,	조에, 화에그들이, 동흔죽, 나가, 서	
는바을	반아국을, 원하리라, 하였스니 報	
나, 銀貨	動日報記, 글은조, 써하되, 이,	
니사더	일은바, 성의이라, 하였더라	

토이기 니아성 리가 회 반목하 죽은조 되저 사름과 다른뜻은 반다서 일우는 례의 이 노것조처	고들이 서스는 부자로 보를세 우고 탁지보 상람을 의회회하여달 나하여 공 분을맛가 지고어니골 이든지 청구 하되로 되려가서 상 랍을바다가지고 무슴을건을 사 가지고을와서 탁지부에상란하 기로 의회 하여가는 스름이만타 하더라	租稅外圖 근일에 평한각 관사 인현항모 각주승복 濟度囚人 도미산이라 되사가 일전네리감니을 보고중성제 도홀일을니 치로말호죽 리감이 가온게듯고되 산되사 다려말
---	---	---

蜀師旣已成立爲國而無復可疑者按公法卽得列於諸國他邦無應接認蓋成立之後旣任有國之舉貴當顧公法以與各國交接

諸國가, 諸國은 후로, 북의, 諸國
 그나라 되며, 諸國고, 서로 교접하
 는 약교는, 각각 당국 편의을, 좇차
 諸國, 諸國은, 업사나, 그러나
 그나라 되근 유을, 알고, 諸國
 는, 도리를 삼길지라, 뒤져 공법
 이란 거선, 제국을 호의로 스귀고
 더욱 두터이, 함미라, 어느 나라
 던지, 諸國 속부로, 잇는가, 자일
 성국, 諸國, 諸國이, 그자 남한을
 달근이 아지, 아니하나, 또한 그
 나라, 되며 諸國야, 諸國고저, 諸國
 諸國은 시 사심이요, 공법은 아
 이라, 수년 전 네 북일이 만국에 諸國
 지를 들림을 서, 諸國이, 당초 요
 연방지 위국을, 諸國치안이라, 그
 후에, 맛을 諸國지, 아니 한거선, 諸
 국이, 諸國치등망하고, 諸國이, 맛
 諸國치, 아히하면, 諸國국으로
 되부러, 諸國을, 이루미라

某邦既列入諸國即不得擅行絕交以獨斷諸國亦
 不得無故屏斥而不納

新立之諸各邦不可因其興之不順得之不義而不
 認之蓋公法祇論其能成立與否而不問其根由也
 되저속국이, 자립지국하는거설,
 그시초을말할진딘무비다군병을
 발하야 본국을반하디이마약,군
 병을,발하자 아인족, 본국에, 권
 세을,베풀고,그속국으로, 미이여,
 지디말, 버서나저, 못할거시오,
 또한본국이, 필연군수를, 발하야
 그성난하말, 막고조하야, 서로
 처되, 제국역진, 지후에, 비로소
 그자주성립하페들지라또한
 하제국이그이국하사초을, 말하
 천딜, 다, 찬역하고, 정략하야, 어
 든후에, 전자전손하야, 보전하고

此國欲自立而於彼國權利有礙者彼國若無力阻止卽不得終於不認

나라는 나이에 있어서, 과강이
이름에 상한가질소함며, 법영이
형지 못함 이 법성이 업을 일코
국가, 다를 여지 이, 국력을 당하
그 속국이 등하, 과강을 발과
야, 자립하는 나라 안족, 전제상국
도 앓는, 나라이, 자주성립지국
으로, 열치아 이치 못할지라, 전자
에, 하란국이, 일국을 비반히 자립
후에 일국이 당초에 열치안코, 서스
국이, 합중국을, 세우되, 일리만
국이, 처음에, 알치아 이, 후다가
위스발리에서 약조후후에 비로
소호왕이, 두나라이, 비록, 오
리도록, 고집하나, 필명인지하

邦國之相綱大抵與公世無涉以其屬內政也某國
卿更內政與公治無所損益焉

난군이 잇서, 나라다시라는데도
잇고 난군은 업시, 백성이, 한가지
로, 다시리든, 나라도잇시며, 선
군이 잇는나라예, 또글자도잇시
며, 글擺우한자도, 잇시이, 그립국
한근본과, 정치는, 비록, 다르나,
공법으로, 볼진된, 호리도, 다르
지, 아니흔지라, 그러나일국난예
의각이잇서, 제도를관치코, 법
명을, 권화하는고로, 미양, 변역
하나, 또흔, 부득이지스치라, 공
법에도, 또흔외교하는, 도리엔,
조금도소외의업스미라

(第二卷未完)

雜報

●大衆用... 金銀 일본 국상대장 부비를... 고산릉역 사부비... 다라

●... 金銀 일본 국상대장 부비를... 고산릉역 사부비... 다라

●... 金銀 일본 국상대장 부비를... 고산릉역 사부비... 다라

●... 金銀 일본 국상대장 부비를... 고산릉역 사부비... 다라

●... 金銀 일본 국상대장 부비를... 고산릉역 사부비... 다라

●... 金銀 일본 국상대장 부비를... 고산릉역 사부비... 다라

●... 金銀 일본 국상대장 부비를... 고산릉역 사부비... 다라

●... 金銀 일본 국상대장 부비를... 고산릉역 사부비... 다라

●... 金銀 일본 국상대장 부비를... 고산릉역 사부비... 다라

●... 金銀 일본 국상대장 부비를... 고산릉역 사부비... 다라

●... 金銀 일본 국상대장 부비를... 고산릉역 사부비... 다라

●... 金銀 일본 국상대장 부비를... 고산릉역 사부비... 다라

●... 金銀 일본 국상대장 부비를... 고산릉역 사부비... 다라

●... 金銀 일본 국상대장 부비를... 고산릉역 사부비... 다라

●... 金銀 일본 국상대장 부비를... 고산릉역 사부비... 다라

に傳令したる由なれども所員には未だ到着せ
ず唯だ各人に防戩を懸念しつつあり

して地税を課し、米倉一畝百廿文、木部一畝二
圓百二十文、大豆一畝十文にして、内地人の購買

④月太魚の子魚 手綱号く距離なる針車

淡原、新瀧、百五十艘、フナダマ、七十艘、檜瀬
 二艘、新昌八十艘、蓬洲二百艘、端川、吉野

して其相違は牛魚四貫六百文、牛鯨六貫三百文内外なり但し是は新造の相違にして新昌は

大豆の相場 新昌にて一石四十文
新浦にて一石五十文、元山にては五石五錢乃

動なく先づ保合の姿を

探題 早梅 雪中竹 (續)
雪中竹 枯桐 乙二舍榮珩

雪のくれ竹雪にもまれて
全 同 漢野まはす

全 牛民洞 山出 雪助

追加之者
早梅

雪中竹

(完)

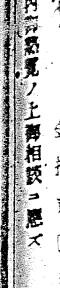
第拾貳會止風集芳聲

逸 其の意地う國の寶と白色の竹
堪忍は人の龜髪をさすものぞ
天 泥鰌神丹

罪のなき見の作りがり雪拂
母の文受し度屋も河豚の事

國史編纂卷之三
卷之三
如是我們色即是空
如是我們色即是空

[illegible]



發行所 東京市京橋區
日吉町四番地 民

明治三十一年一月

級商用品種々卸小賣

JAPANESE,
COAL,
DEALER,
大日本
壹等
唐
津
石
京
城
泥

獵

銑

荷
元西
入新
銃金

二 連銃

日本林田正金

告

五拾玉以

卸賣大勉強

多くも 皇太后陛下 崩御之嘆三み

雲の端より出る月夜に草を
雲隠れ我う寂寞し影を聲にそ

第二十五卷 菊之

漢城新報

告白

우리의... 고비루... 로이...

日報抄錄

○日報今日... 韓主高... 姑放...

○日報今日... 命奉常司提調... 命奎章閣學士...

明治二十八年三月六日... 命奎章閣學士...

命奎章閣學士 掌禮院卿... 命奎章閣學士...

命奎章閣學士 掌禮院卿... 命奎章閣學士...

命奎章閣學士 掌禮院卿... 命奎章閣學士...

황고현으로, 광수보단단조호을미
과명호, 방선이리후로
사씨의드
조이서는나

小說

니 일죽, 드르니, 김씨, 선조, 비
 예, 천금을, 싣고, 순류하여, 되려갈
 시 좇추, 목계애, 일이라, 몬들, 혼사
 림, 이, 늘근너저로, 더브러, 할가지
 물에, 빠져 죽고자, 할들보고, 급히
 다라가, 그남녀를, 붙듯고, 얻고를
 무르네, 답답야, 글아되, 다름이
 아니라, 나느, 본을, 아전으로, 포
 흘을, 만이 지고, 갑을들기이, 업서, 장
 찻, 죽기에, 일흐리, 초라리, 저쳐하
 논이만, 저지못하여, 노모로, 더브러
 물에, 더져, 죽으라하노라, 하거날,
 김공이, 그말을들듯고, 측은할마음을
 참지못하여, 천금을, 주어, 두사람의
 죽임을, 면하게, 하였스니, 그을던
 을, 구구하면, 저손의, 부귀하미, 맛
 당하고, 또, 저씨의, 선조, 장가갈
 시, 병폐를, 그초아, 치형하여, 중노
 에, 일이라, 들은죽, 신부의, 두눈이
 의산아, 조코, 또, 조호나, 피와와,
 스호나, 움으론, 잊지, 망치야니, 혼
 이스트리오, 무릇, 사름이, 바로죽, 날
 처음에, 부귀와, 빈천을, 임의, 스
 주애, 판단하였는죽, 디리, 잊지하
 히, 그, 슈를, 변하여, 그, 부귀와, 변
 전을, 음기리요, 사름이, 따, 치, 따
 질, 처음애, 슈오와, 화복이, 임의,
 마음상애, 싣였는죽, 산음이, 잊지
 능히, 그, 상을, 못치며, 그, 슈오와,
 화복을, 음기리요, 주나라, 따애, 복
 망이, 잊고, 한나라, 따애, 오릉의,
 잊서, 사름에, 죽는조, 잊스면, 무
 른부귀하고, 다, 복망과, 오릉에, 장
 스하였는죽, 이느, 따홀, 가리지, 아
 니하고, 장스하미라, 반다시, 산화
 잊서, 사름이, 다, 멸망하얏슬려
 이나, 그러하나, 주나라, 팔백국의,
 인만이, 잊섯고, 한나라, 스백년, 국
 조, 잊섯느니

し御檢分の次第を具申し

● 囚徒服役免除 定役に要すべし

1



日本郵船株式會社 船仁川廣告

越後丸

二月二日入港 三月三日出帆

肥後丸

二月四日入港 二月五日出帆

兵庫丸

二月六日入港 二月七日出帆

長門丸

二月八日入港 二月九日出帆

仙臺丸

二月十日入港 二月十一日出帆

駿河丸

二月十二日入港 二月十三日出帆

玄海丸

二月十四日入港 二月十五日出帆

日本郵船株式會社 仁川支店

南越丸

二月十六日入港 二月十七日出帆

信濃丸

二月十八日入港 二月十九日出帆

舞子丸

二月二十日入港 二月二十一日出帆

仁川荷客取扱所

大坂商船會社

朝鮮仁川各國居留地

朝鮮仁川各國居留地

神戶屋

神戶屋

金壹圓

金壹圓

金七拾錢

金七拾錢

金五拾錢

金五拾錢

金拾貳圓

金拾貳圓

金拾貳圓

金拾貳圓

金拾貳圓

金拾貳圓

金拾貳圓

金拾貳圓

金拾貳圓

金拾貳圓

金拾貳圓

金拾貳圓

金拾貳圓

金拾貳圓

榮館御泊料左ノ通り相定メ極々丁寧親切ニ

一上等 壹圓 中等 七十錢 下一等 五十錢 外下等 三十五錢

第拾三會正風集

題梅黃鳥餘寒

豐秋園瑞穂宗匠樂撰

寄張 二月五日

賞與 天位漢城新報一ヶ月分地位賞花三組

誦草 居處雅號及ビ通稱ノ明記ヲ乞フ

投込所 正風會

目下天然痘發生ノ徵有之ニ付毎日午前

第九時ヨリ十二時迄本院内ニ於テ種痘ヲ

施行ス

廣告

一生義從來丸會第八支店ニ從務罷在候處今

郡合ニ依リ全店引揚候ニ付辭任致シ更ニ

小名義ヲ以ツテ全邊ニ於テ開業仕候間諸

御愛顧或度此段廣告仕候也

明治三十年一月二十四日

泥親第拾貳番地等宣號戶

四方諸君

福山伊兵衛

朝鮮王國

總論地理部

會部

發行所

廣告

第五十八回 銀行ノ營業ツテ公告仕リ

一定期預金 一別

一當座預金 一當

一貸附金 一當

一代割金 一送

東京 大阪 橫濱 釜山

長崎 福岡 以上

明 三十年一月

洋服調進所

大日本 唐津 石炭

本等

洋新式銃

二元連銃

日本村田式銃

銃

銃

銃

銃

銃

銃

銃

銃

銃

銃

告白

六 報抄錄

刑犯者之上官以下士兵卒를 一非押上本部
 各山自軍法 이니로 檢査捕招이은즉 正罰
 明沐室所供內 에 諸北郭哨次到龜城則民有會
 竊契사야官 을不遵고 作數多端故로訓
 令軍議하고 入契本錢호야分檢在坊이은
 더니該都守 來別監行次別銀三個을檢拿

雜報

歲入歲出對照

二萬四千元

第三 第
第四 第
●福州
비록조
언설
시작
처음
상하
지못한
●吳淞
저철
향고
는다고
슈는연
●樂而大
국큰선
정신
히가르
라수변
합계
수가철
이原
름이生
은이르
곱지권
구권과
스씨가
가자라
로각
러나국
동학
진진
홀진
진진
지
이하
향고
로되
면일만
이치
정
이

●老陸見 民영익의, 뒤부분을
시무엇, 시날 치조로, 부르시미, 즉
시와서현알라, 시반이나, 할고공은
로도라가다, 며민영익이논, 지금
청국상히예안느더라

●大使羅仁 득명전권대사, 니하엿
씨가 스무사 날이며 명으로 출성하
일은 전호예 기록하야 거이와 다시드
리이, 씨가 임원파, 최금준, 두을
다리고, 그날은 천항, 서상준집에
서, 자고스무레 날일은 본관선, 선
호을 타고, 임선서 떠나, 곳일본으로
가도덕라

●南滿拓光 무산함에 잇는 일본소
 롬이, 국상을 넌휴상의 회가 되
 우리등이, 자금강국저심으
 을입고, 잇스이, 망명도니
 어기지 말고, 흥왕티후기
 분더 회을, 관히아라셔,
 여, 잇지 말고, 각각약간
 일본과 조선스 롬철십이
 상느근이와

이러운사람을 다, 전출할야, 우
라지형향된사람을, 일이포달하
자하고돈을, 할야, 일천에문서
오천의량을만, 연하여동지다지표
며,은천각을, 늘근이와, 가난하
사람더을, 분다되, 먼저문서한자
씩주고, 인월을일팔일의양으로, 돈
주되, 문서가이고오드이를, 상고하

야 준다 하여, 이 월척 팔일은, 곧 년보
한은, 나리라 나리
●參政廳
남정철리든, 관직은, 시골과 주유리
교로정월 간으로행공을, 듯하다
라그러나판, 여러번, 자직상소나
리라더라
●北客反目
아라스릉스김홍육과

김도일이며, 밋여려스 각각당을
우고셔로식고후이, 김도일르판
어섯시라, 다마다김홍흥의게, 미
을바다필명려다갈뜻하다더라

●軍器致祭 軍부덕신, 민영환이
일전에 천위덕상관, 슈심명을다
판, 홍계훈, 지영가서, 홍씨의빈

예, 차례출역예, 제물리풍성하고
위의가장하다 하며, 흥씨즉작년팔
월지변내, 한알마자줄근, 저너라
●稅軍條聞 병정을시로선바 제독
다디을미든단말을, 전호예, 다적하
건이와, 지금또드르이, 탁지부고문
관말리, 나라는가난하고, 병정은은강
한거시, 도로여, 월을남예, 다단출상,
관, 된다하고, 허락지안이하고로,
서로편성하고다디이, 아죽경지함
다더라

● 官廳誌聞
일전 시로호, 법무형
국장니 명의과, 민스국장, 급공리용과
비서관조흥석과, 주스오류명이,
일급을못타다고, 지작일배, 덕선도
병식과, 협판권지형을청축하야, 타
지에교회히써나, 여의치못히앗는
다라
● 有罪費
궁니부관이봉급의과,

정비종과 박원노로, 판임관이 한을
과세차, 삼십원씩 준다 이, 곳작년
례을 죠 쳐 더 라

● 又 政 獄 囚 ●

금번옥스피코중, 서정주등, 수삼면
방송회앗단말은, 전호예과를허
이와, 작일례, 니승익씨가방면하고
일이일간, 또일이며의, 노일듯하

다더라
●土俗下獄 부위예 도릉현씨도
도하연씨의척분이잇스되, 도하
의성결리라, 근일례동전근본집예
잇던이, 일전에법부로셔, 니근용
로충모하엿는의심하고, 순검을보
니안, 잡바다가두워셔더라
●獄決在近

일전서정유등, 수명이몽방후면, 만
무죄한지라, 그런고로, 필경그몸을
으로, 옥수가절말나고, 파세는, 안
하더라

●以免刑 감옥서장, 도색구가
죄인남형호화달 그로, 수일전네지
판야, 티일회예, 증역삼년에처

와, 또 드르이 저작 일례, 요새가 삼
종역속전과, 틈속을 밧치고, 면명

다
다
라

창성파원은 평과 공은 오와 김복여와
니영도와 니봉니등이 각각 총과 칼을
가지고 온양니진스의 산소와, 목천
박참판은 산소를 파 산처를 드러니여
히골을, 갓싸가던 안지배 감추고 돈
을 가져와, 히골을 차자가라, 칠죄도
、교형에 처하고 △살인 죄 인정범에
장승득이가 김용신과도 인척을 죽게
사이, 옥스정범이라, 법을 쓰지안이
● 獄案四則
강도죄인 김만길과니
● 妖言可
스늘가
모르코
려나, 이
원인고
이, 만가
지금판
스술야
던예을
이라하

히 싸고 하며, 동수복수라 하니 찬살
죄로, 교형에 처하고 △강도죄이니 순
오는 십여 년이 적이라, 다섯 번 잡피
여 신이, 장물리 적지아 일분더러 표
하사 강에서 장수하는 비가 잇스 되션
주혼자인 조을 알고, 비예 두어 오
르 족, 비사름이, 속병을 알거든, 아
편을 류민서 비압 풀네, 제 일을 조혼약
리 덜어 인

① 鄱陽米
 홀씨에
 더라
 ② 鄱陽米
 홀씨에
 더라
 ③ 鄱陽米
 홀씨에
 더라
 ④ 鄱陽米
 홀씨에
 더라
 ⑤ 鄱陽米
 홀씨에
 더라
 ⑥ 鄱陽米
 홀씨에
 더라
 ⑦ 鄱陽米
 홀씨에
 더라
 ⑧ 鄱陽米
 홀씨에
 더라
 ⑨ 鄱陽米
 홀씨에
 더라
 ⑩ 鄱陽米
 홀씨에
 더라
 ⑪ 鄱陽米
 홀씨에
 더라
 ⑫ 鄱陽米
 홀씨에
 더라
 ⑬ 鄱陽米
 홀씨에
 더라
 ⑭ 鄱陽米
 홀씨에
 더라
 ⑮ 鄱陽米
 홀씨에
 더라
 ⑯ 鄱陽米
 홀씨에
 더라
 ⑰ 鄱陽米
 홀씨에
 더라
 ⑱ 鄱陽米
 홀씨에
 더라
 ⑲ 鄱陽米
 홀씨에
 더라
 ⑳ 鄱陽米
 홀씨에
 더라
 ㉑ 鄱陽米
 홀씨에
 더라
 ㉒ 鄱陽米
 홀씨에
 더라
 ㉓ 鄱陽米
 홀씨에
 더라
 ㉔ 鄱陽米
 홀씨에
 더라
 ㉕ 鄱陽米
 홀씨에
 더라
 ㉖ 鄱陽米
 홀씨에
 더라
 ㉗ 鄱陽米
 홀씨에
 더라
 ㉘ 鄱陽米
 홀씨에
 더라
 ㉙ 鄱陽米
 홀씨에
 더라
 ㉚ 鄱陽米
 홀씨에
 더라
 ㉛ 鄱陽米
 홀씨에
 더라
 ㉜ 鄱陽米
 홀씨에
 더라
 ㉝ 鄱陽米
 홀씨에
 더라
 ㉞ 鄱陽米
 홀씨에
 더라
 ㉟ 鄱陽米
 홀씨에
 더라
 ㊱ 鄱陽米
 홀씨에
 더라
 ㊲ 鄱陽米
 홀씨에
 더라
 ㊳ 鄱陽米
 홀씨에
 더라
 ㊴ 鄱陽米
 홀씨에
 더라
 ㊵ 鄱陽米
 홀씨에
 더라
 ㊶ 鄱陽米
 홀씨에
 더라
 ㊷ 鄱陽米
 홀씨에
 더라
 ㊸ 鄱陽米
 홀씨에
 더라
 ㊹ 鄱陽米
 홀씨에
 더라
 ㊺ 鄱陽米
 홀씨에
 더라
 ㊻ 鄱陽米
 홀씨에
 더라
 ㊼ 鄱陽米
 홀씨에
 더라
 ㊽ 鄱陽米
 홀씨에
 더라
 ㊾ 鄱陽米
 홀씨에
 더라
 ㊿ 鄱陽米
 홀씨에
 더라

치안이후이극히작악흐지라, 역시
교형에 처흐나라
●特政懲丁 일전내, 감옥서 쇀슈,
가옥을헐고, 다라나라다가, 탈노히
단말은, 전호예, 귀저호야건이와,
다사드르이, 그일노증역되얏든, 송
충흥이, 폐교되되, 당초한결례, 수
금되이, 피로음미, 비홀곳업느저라
몰, 스
게
름이
몸에
나라
謂爲亡國
邦國以誨

우리모모가 일제이, 등심하야, 다
라나자고, 폐교하던이, 그중에도모
호, 최광일리가, 그일을고발하마,
탈노되야, 최광일리가, 풍욕니의제
교하이, 옥니가또경무청에보하고,
경무청에서난, 법무에보하되, 최광
일이그발하야만, 아를다의로고노,
니하

야, 최광일을 면피, 방송하다 더더라
스니

● 妖言可惡
일전 시정부로부터, 자
단예을이지야, 국장부바심만원
이라하는마리, 다고설리라더이,
지금판본을보고, 과연라지부로조
스승야본즉, 장년소부비가, 오만
원인고로, 오만원로, 확정하든
이, 민간종설은, 취신할것업스나그
러나, 이려케종설스름은, 충의도
모르고, 예의도모는, 돌이, 뒤져
신호가충의를모르고, 스름이예의
을모르면, 스름이라말하지못할지
라, 세상군자는, 더그충심을가지고,
예의직키며, 이익, 커, 완폐할스름
을증상할거사로다

● 都門米價 지금 세말이 되어 그러
흔지심사 일식으로 곡식값이 줄연히 고
등하여 서쌀한 외에 상마는 삼량 일리
전이 가고 하마라도 삼량이 더 깎다 하
니 막되 예륙철전이 코등하였고 담배
값도 미우비싸다 하더라

邦國以疆土人民爲重二尚存蕤形消滅亦不得謂爲亡國之據

스니, 꽃, 羅馬가, 망치아니흐므로

此國之地讓於彼國者於外交不無關係蓋地既與人其治理之權責亦即俱與之矣如中邊界果何修堤建教堂修道路清欠款此等事宜地歸某國即歸某國經營蓋此等權責隨地故也

第一萬米(一)

官たり、周紹氏が總理事となりて承辦する
こと決定し、由は過日の紙上に記せ去が
氏は愈々三名の書記生を引連れ、兩日前着
仁たりと云

●不軌一件連累者の捕縛

趙義淵氏の親ある趙義甲氏の甥謝趙能盛
氏は不軌事件に連累者の嫌疑を以て京畿道通津
に於て捕縛せられたりとの風説あり
●李承弼氏亦放免せらる
不軌事件の被害者ある同氏は去る廿七日放免
せられたる

●南廷趙氏の職

今度新に内部大臣に任
せられたる南廷趙氏は此程辭表を呈呈せしに
昨日左に復批あり無給應許あらす
今此特簡、非徒然、卿亦宜有以諒會、而
部務積滯、日晝間、亟斷來章、即爲受勅
事

●閣議

放浪客黃氏に吊す
本年正月頃に入城する都合あるやに閣議
軍部大臣閣議、氏は去る二十六日將校數十名
を率ひて故侍衛、將校洪啓憲氏の邸に至り盛
大なる祭典を行ひ洪氏の靈を吊せりと云ふ

●津陽二年度歲計

豫算の概畧

本年度歲計豫算案の議政府の諸事と上りたる
事は既に其項の表上に記載せしが當時の決議
に依りて成立したる豫算は左の通りなる由に
て目下入奏中なれば何れ還からず御裁可あら
せらるべしと云ふ

豫入歳出對照

豫入歳出對照
四、一九一、一九二
四、一九〇、四二七
七六五
豫入歳出對照
四、一九一、一九二
四、一九〇、四二七
七六五

豫入歳出對照

豫入歳出對照
四、一九一、一九二
四、一九〇、四二七
七六五
豫入歳出對照
四、一九一、一九二
四、一九〇、四二七
七六五

豫入歳出對照

豫入歳出對照
四、一九一、一九二
四、一九〇、四二七
七六五
豫入歳出對照
四、一九一、一九二
四、一九〇、四二七
七六五

豫入歳出對照

豫入歳出對照
四、一九一、一九二
四、一九〇、四二七
七六五
豫入歳出對照
四、一九一、一九二
四、一九〇、四二七
七六五

豫入歳出對照

豫入歳出對照
四、一九一、一九二
四、一九〇、四二七
七六五
豫入歳出對照
四、一九一、一九二
四、一九〇、四二七
七六五

豫入歳出對照

豫入歳出對照
四、一九一、一九二
四、一九〇、四二七
七六五
豫入歳出對照
四、一九一、一九二
四、一九〇、四二七
七六五

●前正字姜遠馨疏本

近來就と上るもの頗々して多し皆當路者と
御効、或は長官に媚て稱揚するに止り一も
治國の事に及ぶものなきを而して姜遠馨の上
疏の如きは文字稍見るに足るべきものあり
左に譯載す

伏て以て臣、遠外疎迷の跡のみ限り、第
一、恭奉、材賢者、愚劣者、當るに事を論ずる
の可なり、而して伏て、念ふに丹奏の賜
の向ひ、漆室、や國を憂ふは乃天賦人發の同
もの所也、茲に敢て愚言を、けす、柱礎の下と
冒賣す伏して惟みるに、聖明神を留め、採納せ
る、願ふに今國計艱難、時或日に、親君臣、下、遠
日を度、憂棄する處、嗚呼、人言官の疾、方
は誠、一朝遂に、醫、難、然も、以て、回生の方
を、試みずして、坐して、其の命を、待つ可ならん乎
便に、せよ、日、節儉を、尙んで、以て、財用を、阜に、せよ
日、制度を、新にして、舊制を、損益する、是のみ、急を
要ひ、況んや、用て、乙覽に、備、日、宮に、選、以て、以
て、民望を、慰むる、とは、何ぞや、古語に、曰、生る、者
は、以て、死を、諱む、むべからず、國と、有、つ、者、は、以て、亡
を、諱む、可らず、死を、諱む、者、以て、生を、圖る、可
らず、亡を、諱む、者、は、以て、存を、圖る、可らず、我國の、病
は、曾て、死を、諱む、亡を、諱む、の、説を、以て、遂成し、流
俗、以て、口實と、す、越に、甲午の、前、に、在、て、は、下、葉
術、教の人、互に、相紛、紛、或は、云ふ、新、國に、御す、れば
ば、則ち、國に、利あり、或は、云ふ、新、國に、御す、れば
則ち、國に、利あり、然れども、此皆、浮議の、類のみ
夫國の、利害、は何ぞ、御、國の新、舊を、問、せんや、甲午
より、以後、國勢、一變、窮、困、憂、を、俟、我國の、法制と
更張し、其、舊、弊の、汗、俗を、革、り、而して、這、間、緩急の
際、際、に、乘、りて、國、勢、を、挽、り、さ、る、の、機、を、發出、す、此
誠、人、臣の、言、ふ、に、忍、び、さ、る、處、聞、に、忍、び、さ、る、處
の、者、あり、舊、習、乙未、變、時、に至り、若、曼の、點、佑、黨、邪
の、効、力、彼、の、凶、逆の、徒、を、以て、既に、王、章に、伏、せし
を、而して、吾、臣、庶の、心を、して、小、し、一、萬、一、を、雪、か
ま、ひ、然る、に、丙、戌、移、駐の、後、よ、民心、未だ、定、ま、ら、ず
互、ひ、に、相、煽、動、し、日に、聖、賢の、選、詢を、望、む、或曰、
吾、臣、庶、無、説、は、疾、病、を、か、ら、ん、疾、病、の、氷、雪、の、時、に
當りて、只、憂、戚、玉、字、の、聲、に、勝、へ、ざ、る、と、恐る、而
已、應、時、臣、民の、歎、ひ、を、以て、生、ずる、所、の、者、は、惟
聖、上、に、在、り、而して、一、た、び、外、語、に、寄、寓、して、よ
う、後、今、に、迄、つて、周、旋、而して、民意、定、ま、る、な、く、國、勢
未だ、好、び、ず、曲、曲、曲、曲、未だ、熄、ま、る、もの、亦、た、未
だ、善、て、是、に、由、ら、ん、ん、の、ら、ん、る、者、あり、皆、慎、る、べ
き、者、な、ら、ん、や、當、今、の、最、急、な、る、者、は、選、詢、よ
先、ず、な、し、而して、選、詢の、後、民心、定、ま、る、べし
伏て、證、者、を、乞、ふ、曰、忠、良、と、稱、ん、で、以て、民、國
と、安、ん、ん、と、は、何、ぞや、虞、臣、に、人、を、知、る、則、能、
民、を、安、ん、ん、民、を、安、ん、ん、る、則、能、民、之、に、
と、孔子、仲、弓、に、謂、て、曰、爾、の、知、る、所、を、舉、げ、よ
爾、が、知、ら、る、所、は、人、其、其、を、會、て、ん、や、と、夫、人
と、稱、ん、の、法、は、誠、に、難、し、て、す、然る、に、陛下、聖、明
の、姿、を、以て、必、ず、試、みる、所、の、忠、良、あ、ら、ん、必、ず、
其、の、人、の、忠、良、を、受、けて、其、の、人、を、薦、引、せ、ん、あ、ら、
則、忠、良、者、は、必、ず、忠、良、の、人、を、薦、引、ん、ん、世、易、に、所
謂、賢、を、後、く、は、斯、其、其、を、以て、征、く、者、に、非、ず、や、切
に、聞、く、月、前、政府、より、地方、官、吏、吏、用、規則、を、定、め、
文、務、吏、に、於て、簡、劾、仕、補、及、び、六、品、以、上、十、年、以

上に、拘、る、の、事、國、の、事、に、
は、恐、く、は、當、る、に、此、の、如、く、する、べ、から、ん、
夫人、と、稱、ん、の、法、は、若、其、人、の、用、ふ、べ、く、ん、ば、則ち
便、ら、く、之、を、用、ふ、べ、し、其、人、の、用、ふ、可、ら、ん、ざ、れ、ば、則ち
便、ら、く、之、を、棄、つ、べ、し、何、ぞ、必、しも、世、朝、以、上、六、品、以
上、十、年、以、上、を、待、て、之、を、稱、ん、の、もの、な、ら、ん、今、夫、れ
民、庶の、類、で、以て、生、ずる、所、の、者、皆、臣、令、に、在
り、而、去、て、近、來、の、中、令、た、る、もの、は、尙、舊、習、を、持、し
或、は、暗、中、の、路、を、受、け、以て、私、謀、を、起、し、て、赤、子、の
眼、を、瞞、ち、生、じ、て、井、に、入、る、と、説、る、未、だ、乃、ち、誠、實
に、至、れ、ば、斯、ら、く、或、は、罪、する、に、懸、役、を、以て、し、或、は
處、する、に、校、死、を、以て、す、然る、に、君、君、を、知、る、と、知、ら、ず
常、に、倖、免、を、思、ふ、説、に、欺、す、べ、く、なり、是、故、に、人、を
稱、ん、の、法、必、ず、其、忠、良、者、を、登、げ、上、明、官、吏、必、ず、
犯、罪、の、習、を、民、衆、亦、井、に、入、る、の、事、な、ら、ん、伏
て、證、者、を、乞、ふ、
(未完)

●帝の御誕生日

去る二十七日、日、親、遠、
帝、陛下、の、御、誕生、日、あり、し、を、以て、當、地、親、臨、公、使
館、に、て、祭、門、を、作、り、旗、球、燈、等、を、飾、り、て、祝、意
を、表、し、韓、廷、官、吏、及、び、外、國、使、臣、之、同、公、使、館、に、赴
き、祝、賀、し、たり、と、云、ふ

●六大隊編成中止の風説

韓、廷、に、て、は、新、に
親、衛、第、六、大、隊、を、設、置、する、こと、な、り、兵、丁、集、集
に、着、手、し、居、る、由、は、已、に、本、紙、上、に、記、せ、し、が、近、日
風、説、する、所、に、依、れ、ば、右、は、擧、げ、の、都合、に、て、編、成
と、見、合、せ、たり、と、云、ふ

●運輸會社と設立す

當、國の、某、紳、士、一、萬
圓の、資本、を、以て、京、城、に、於て、運、輸、會、社、と、設、立、し
而して、米、國、より、多、くの、車、臺、を、販、賣、す、諸、君の、荷
物、の、運、搬、を、引、受、く、る、由、す、

●消防規則の發布

從、來、當、地、留、連、の、清、兵
組、規則、は、舊、りて、國、勢、な、る、もの、な、り、し、が、居、留、連
の、發、達、と、共、に、同、規則、改、正、の、必要、と、生、じ、其、新、よ
う、は、頗、る、完、全、な、る、規則、を、編、成、し、一、昨、日、を、以て
發布、せ、ら、る、(即、ち、別、版、告、白、に、在、り、聞、く、所、に、よ
れば、是、れ、は、已、に、消、火、夫、は、別、に、解、説、する、こと、な
る、其、他、引、續、き、採用、し、増、員、丈、新、規則、に、從、て、集、集
する、等、に、内、定、し、居、る、と、云、ふ)

●學校休業

京、城、内、の、各、公、立、及、び、私、立、の、學
校、は、何、れ、も、陰、曆、本、月、廿、五、日、よ、明、年、正、月、五、日
まで、休、業、す、

●京城學堂の休業

京、城、學、堂、に、て、は、陰、曆、本
月、に、際、する、と、以て、他、官、私、立、學、校、の、例、に、倣、ひ、す
六、日、より、休、業、を、す、し、來、月、六、日、より、十、校、の、等、す
り、と、聞、く

●監獄署長放免せらる

監、獄、署、長、趙、興、九、氏
が、刑、を、監、用、する、の、案、を、以て、數、日、前、答、一、百、餘、條
三、年、に、處、せ、ら、れた、る、こと、は、已、に、先、日、の、本、紙、上
に、記、せ、し、が、再、昨、日、趙、興、九、之、金、子、萬、等、裁判、所、に、對
りて、其、刑、を、免、れ、たり、と、云、ふ

●賞を懸けて罪人を求む

過、日、の、本、紙、に、記
せ、し、監、獄、署、囚、徒、の、越、獄、逃、亡、陰、謀、の、關係、者、は、未
だ、悉、く、捕、獲、の、運、び、に、至、ら、ず、る、や、に、て、此、の、關係、
者、より、は、在、監、の、囚、人、に、向、ひ、若、し、右、關係、者、を、獲
出、報告、する、もの、あら、ば、一、年、半、の、入、牢、と、輕、減、す
べし、と、傳、へ、たる、由

●密告の功に於て懸役を免かる

別、項、に、記、載
せる、如、く、法、部、監、獄、署、内、の、囚、人、に、先、頃、叛、亂、を
企、て、た、る、もの、を、獲、索、告、發、する、もの、は、一、年、半
の、入、牢、と、輕、減、する、旨、傳、へ、たる、由、を、記、せ、し、が、當、地
一、ある、者、より、密、告、せ、し、に、依、り、其、功、を、以て、同
人、は、去、る、廿、七、日、放、免、せ、ら、れた、り、而して、其、密、告
せ、ら、れ、し、もの、は、宋、春、興、と、云、ふ、もの、なり、と

